

アーツ前橋 年報No.06 2018年度（平成30年度）

# 2018年度の主な出来事

---

6月14日 「時をつなぐ：アーツ前橋収蔵作品から」開催（～9月18日）

7月 6日 「横浜美術館コレクション  
昭和の肖像：写真でたどる「昭和」の人と歴史」開催（～9月3日）

10月 5日 「岡本太郎と『今日の芸術』 絵はすべての人の創るもの」開催（～2019年1月14日）

10月12日 「つまずく石の縁 -地域に生まれるアートの現場-」開催（～11月4日）

10月24日 開館5周年を迎える

1月 8日 地域創造大賞（総務大臣賞）受賞

2月 2日 「闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s」開催（～3月24日）  
「近藤嘉男と憧れのヨーロッパ航路：アーツ前橋収蔵作品から」開催（～3月24日）

# 目 次

---

2018年度の主な出来事 .....	2
<b>I 展覧会 .....</b>	<b>5</b>
時をつなぐ：アーツ前橋の収蔵作品から .....	6
横浜美術館コレクション 昭和の肖像：写真でたどる「昭和」の人と歴史 .....	8
岡本太郎と『今日の芸術』 絵はすべての人の創るもの .....	10
闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s .....	13
近藤嘉男と憧れのヨーロッパ航路：アーツ前橋の収蔵作品から .....	16
<b>II 地域アートプロジェクト .....</b>	<b>19</b>
滞在制作事業 .....	20
ゲートゲンス・ヒルシュ .....	21
スン・テウ .....	22
羽山まり子 .....	23
尾花賢一 .....	24
つまずく石の縁 -地域に生まれるアートの現場- .....	25
<b>III ラーニング .....</b>	<b>27</b>
アーティスト・イン・スクール .....	28
中島佑太×前橋市立桃川小学校 .....	29
イルワン・アーメット&ティタ・サリナ×前橋市立桃井小学校 .....	30
住中浩史×前橋市立東中学校 .....	31
住中浩史×前橋市立わかば小学校 .....	32
住中浩史×前橋市立第六中学校 .....	33
表現の森 .....	34
石坂亥士・山賀ざくろ×清水の会えいめい .....	35
滝沢達史×アリスの広場 .....	36
中島佑太×南橋団地 .....	37
廣瀬智央・後藤朋美×のぞみの家 .....	38
実施事業一覧 .....	39

アーツナビゲーター	40
おしゃべりアートデイズ	41
あ一つひろば	42
サポートー活動記録	44
メンバーシップ	45
先生のための無料招待ウィーク／視察・インターーン	46
IV 連携事業等	47
ロビーライブ	48
前橋身体論 早春ゼミナール	49
駅家ノ木馬祭	51
前橋まちなかアーツ助成	52
V 所蔵資料	55
収蔵作品	56
購入・寄贈作品	57
修復	58
貸出実績	58
収蔵図書	58
VI 運営／各事業に関する資料	59
条例	60
運営評議会	62
収蔵品専門委員会	64
来館者統計	66
刊行物	67
職員名簿	67
展覧会出品リスト	69
関連記事	87

【凡例】・《》は、作品名を示す。〈〉は、シリーズおよびプロジェクト名を示す。  
 ・肩書き、役職などは事業実施時点のものである。  
 ・年号の表記は西暦で統一した。ただし、「VI運営／各事業に関する資料」は和暦で統一した。

I

---

# 展覽會

# I 展 覧 会

## 時をつなぐ：アーツ前橋収蔵作品から

本展覧会では、アーツ前橋所蔵作品から近現代の画家たちが生きた時代をつたえる風景や、そこに暮らす人々を描いた作品、そして今を生きるアーティストが地域の歴史を題材とした作品を紹介した。例年、この時期には新規収蔵作品を紹介する展覧会を開催していたが、前年度新規収蔵作品の多くは1、2年以内にアーツ前橋で展示していたため、「時、記憶」というテーマで作品を選定した。



【会期】2018年6月14日(木)～9月18日(火)

【日数】84日間

【開館時間】11時から19時まで(入場は18時30分まで)

【休館日】水曜日

【会場】アーツ前橋 ギャラリー1

【観覧料】無料

【運営】[主催]アーツ前橋

【出品点数】14点

【入場者数】5,115人

【印刷物】ポスターA3判 1,200部

【関連事業】あ一つひろば

親子で楽しめるものづくり体験や小学生以下の子どもを対象にしたギャラリーツアーを開催。

[日時]8月18日(土)、13時から17時

[会場]アーツ前橋 ギャラリー及び交流スペース

[参加人数]116人

学芸員によるギャラリーツアー

[日時]7月14日(土)、9月9日(日)、各回  
14時から14時30分

[会場]アーツ前橋 ギャラリー1

[参加人数]13人

おしゃべりアートデイズ

アーツナビゲーターが進行役となって来場者と作品をじっくり鑑賞。気づいたことや感じたことを自由に話した。

[日時]8月20日(月)～8月26日(日)、各回  
14時から14時30分まで

(土日は11時15分から11時45分まで)

[会場]アーツ前橋 ギャラリー1

[参加人数]62人

【担当学芸員】辻瑞生



## 横浜美術館コレクション 昭和の肖像：写真でたどる「昭和」の人と歴史

上毛かるたで「県都前橋生糸の市」と謳われるよう前に前橋はかつて生糸産業で発展した。群馬で生産された生糸は「マエバシ」と呼ばれ、横浜港を通じて海外へ出荷されていた。前橋と横浜を繋ぐ絹の道が日本の近代化を支えたといつても過言ではない。

また横浜は、幕末に西欧からもたらされた写真技術の普及の拠点として、日本の写真草創期において極めて重要な役割を担った場所でもある。その地に設立された横浜美術館は、多岐にわたる芸術分野のうち特に「写真」を大きな柱に位置づけて収集活動をおこなっている。本展では、横浜美術館の豊富な写真コレクションの中から「昭和」(1926~1989)という時代にフォーカスした300点を超える作品を一挙公開した。

本展では、第1章「人物：時代を彩った顔」と、第2章「時代と風景・風俗」の2部構成により、昭和を生きた著名人たちのポートレート、そして昭和という時代そのものを映し出した風景・風俗写真を通して、今日の日本の社会構造と生活環境の基礎を形づくったこの「激動の時代」を振り返った。



【会期】2018年7月6日(金)~9月3日(月)

【日数】52日間

【開館時間】11時から19時まで(入場は18時30分まで)

【休館日】水曜日

【会場】アーツ前橋 地下ギャラリー

【観覧料】一般 500円／学生・65歳以上・団体(10名以上)300円／高校生以下無料

※障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名は観覧無料

※街なか子どもイベント開催の8月18日(土)と「ワールドフォトグラフィーデイ」の8月19日(日)は観覧無料

※本展会期中割引…以下の条件でご来場の方は、観覧料300円

①トワイライト割：開館中の17時以降にご来場された方

②猛暑割：最高気温35度以上の日にご来場された方

③家族割：中学生以下の子様をお連れの保護者の方

【運営】[主催]アーツ前橋

[特別協力]横浜美術館

【出品点数】335点

【入場者数】3,093人

【印刷物】チラシA4判 70,000部

ポスター B2判 1,500部

目録 A3判二つ折り 4,000部

セルフガイド A5判中綴じ 4,000部

【関連事業】倉石信乃(明治大学教授・写真史) レクチャー「戦時下の写真家たち」

1988年から2007年まで横浜美術館学芸

員として勤務された倉石氏によるレクチャー。

[日時]7月28日(土)、14時から16時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]29人

#### 石内都(本展出品作家)×小泉明郎(アーティスト)対談

本展参加作家の石内都氏と小泉明郎氏の対談を行った。お二人とも群馬ゆかりの作家であり、戦争をテーマにした作品を中心にトークを展開。

[日時]8月11日(土・祝)、14時から15時30分まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]61人

#### 学芸員によるギャラリーツアー

[日時]7月22日(日)、8月18日(土)、各回14時から15時まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

[参加人数]38人

【担当学芸員】今井朋、山田歩



## アーツ前橋開館5周年記念企画展 岡本太郎と『今日の芸術』 絵はすべての人の創るもの

『太陽の塔』やTV・ラジオ出演などを通して文化的アイコンとなった岡本太郎。彼は戦後に数多くの芸術論を残し、とりわけ1954年の著作『今日の芸術』は、創造的に生きるための入門書として、美術書としては異例のベストセラーとなった。本展では、太郎が『今日の芸術』以降、戦後社会に与えたインパクトを検証した。岡本の作品・映像資料のほか、彼に刺激を受けた芸術家たちの作品を通して、今なお私たちを鼓舞する太郎の思想を読み解いた。関連イベントとして、多彩なゲストが岡本太郎を語りつくすシンポジウムや講演会のほか、広瀬川湖畔に設置された《太陽の鐘》を撞くイベントも開催された。



- 【会期】2018年10月5日(金)～2019年1月14日(月・祝)
- 【日数】82日間
- 【開館時間】11時から19時まで(入場は18時30分まで)
- 【休館日】水曜日、年末年始(12月28日(金)～1月4日(金))
- 【会場】アーツ前橋 ギャラリー
- 【観覧料】一般 600円／学生・65歳以上・団体(10名以上) 400円／高校生以下無料  
※10月5日(金)～30日(火)はアーツ前橋の開館5周年を記念して入場無料  
※1月7日(月)は太郎の命日のため入場無料  
※障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名は無料  
※以下のいずれかの条件に該当の方は、観覧料が400円  
1)トワイライト割：17時以降にご来場された方  
2)太陽の鐘割：携帯電話やカメラで《太陽の鐘》を撮影した写真を受付で提示した方
- 【運営】[主催]前橋岡本太郎展実行委員会  
[共催]アーツ前橋  
[協賛]太陽の会  
[助成]自治総合センターシンポジウム助成金  
[協力]岡本太郎記念館、川崎市岡本太郎美術館  
[後援]上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支

局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所、総務省

【出 品 点 数】 141点

【入 場 者 数】 22,863人

【印 刷 物】 図録『岡本太郎と『今日の芸術』』  
絵はすべての人の創るもの』1,500部  
チラシA4判 50,000部  
ポスターB2判 2,000部  
シンポジウムチラシA4判 30,000部  
セルフガイドA5判 5,000部

【関 連 事 業】 岡本太郎と『今日の芸術』関連シンポジウム「芸術なんて、なんでもない」  
岡本太郎を語りつくすシンポジウム。  
多彩なゲストが明らかにする彼の思想  
とその魅力を共有した。

[日時]10月7日(日)、14時から17時まで

[登壇者]山下裕二、タナカカツキ、ANI  
(スチャダラパー)、春原史寛

[会場]前橋テルサ 2階ホール

[参加人数]418人

記念講演会「岡本太郎と読む『今日の芸術』」

岡本太郎と戦後メディア文化を研究している春原史寛氏の講演会。『今日の芸術』をみんなで一緒に読み解いた。

[日時]11月11日(日)、14時から17時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]53人

前橋に太陽の鐘が鳴る

広瀬川にやってきた《太陽の鐘》を突くイベント。100名を超える市民が集まり、冬空に響く鐘の音を堪能した。

[日時]12月2日(日)、13時から14時まで

[会場]太陽の鐘

[参加人数]105名

学芸員によるギャラリーツアー

[日時]10月21日(日)、11月17日(土)、  
12月15日(土)、各回14時から15時まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー

[参加人数]93人





#### 映画館で太郎に出会う

岡本太郎自らが出演した映画『誘惑』(監督：中平康、1957年)と、劇中のキャラクターデザインを担当した『宇宙人東京に現わる』(監督：島耕二、1956年)を上映した。

[日時]12月1日(土)、12月8日(土)

[会場]前橋シネマハウス

[参加人数]22人

#### おしゃべりアートデイズ

[日時]12月3日(月)～12月9日(日)、各回14時から14時30分まで(土日は11時15分から11時45分まで)

[会場]アーツ前橋

[参加人数]62人

【担当学芸員】若山満大

#### あ一つひろば

[日時]11月10日(土)、13時から17時まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー及び交流スペース

[参加人数]79人

## 闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s

本展は、木版画の持つメディアとしての側面と1930年代から現在にかけて国や地域を超えてアジア諸国で起きた社会運動とともにあった木版画の役割を見つめ、アジア近代史の見直しを試みる展覧会として開催した。また、現代社会における諸問題を扱い、地域の人々と共に活動を行うアーティストの表現として、移民の労働問題や海洋汚染問題に目を向け、様々なプロジェクトを行なうイルワン・アーメット&ティタ・サリナ(インドネシア)を紹介した。



【会期】2019年2月2日(土)～3月24日(日)

【日数】45日間

【開館時間】11時から19時まで(入場は18時30分まで)

【休館日】水曜日

【会場】アーツ前橋 地下ギャラリー

【観覧料】一般500円／学生・65歳以上・団体(10名以上)300円／高校生以下無料

※障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は観覧無料。

※3月21日(木・祝)は、「国際人種差別撤廃デー」のため、観覧無料。

※前橋市内日本語学校(告示校・6校)に在学している外国人留学生は無料。

※トワイライト割：17時以降にご来場された方は、観覧料が300円。

※映画割：前橋シネマハウスで上映する「タクシー運転手」「1987、ある闘いの真実」の半券をご提示の方は、観覧料300円。

【運営】[主催]アーツ前橋、読売新聞社、美術館連絡協議会

[共催]福岡アジア美術館

[協賛]ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

[後援]上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所

【出品点数】427点

【入場者数】3,500人

【印刷物】チラシタブロイド判 42,000部

ポスター B2判 1,000部

目録 A3判二つ折り 8P 5,000部

図録 日本語／英語 A4判変形、256頁 1,700部

オープニング・トーク「アジア近代美術の伏流—抵抗と解放の木版画運動」  
講師：黒田雷児（福岡アジア美術館運営部長）

本企画発案者の福岡アジア美術館の黒田雷児氏をお呼びし、企画の背景や展覧会では紹介しきれなかった調査などについてお話ししいただいた。

[日時]2月2日（土）、14時から16時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]67人

オギン・コレクティヴ アーティスト・トーク

オギン・コレクティヴは、作家都合により展示を取りやめることとなったため、同イベントも中止となった。

[日時]2月3日（日）、14時から15時30分まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー2

学芸員によるギャラリーツアー

[日時]2月9日（土）、3月10日（日）、各回14時から15時まで

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー

[参加人数]50人

トーク「転換期の文化と運動：戦後初期の版画」

講師：ジャスティン・ジェスティ（ワシントン大学准教授、日本美術研究家）

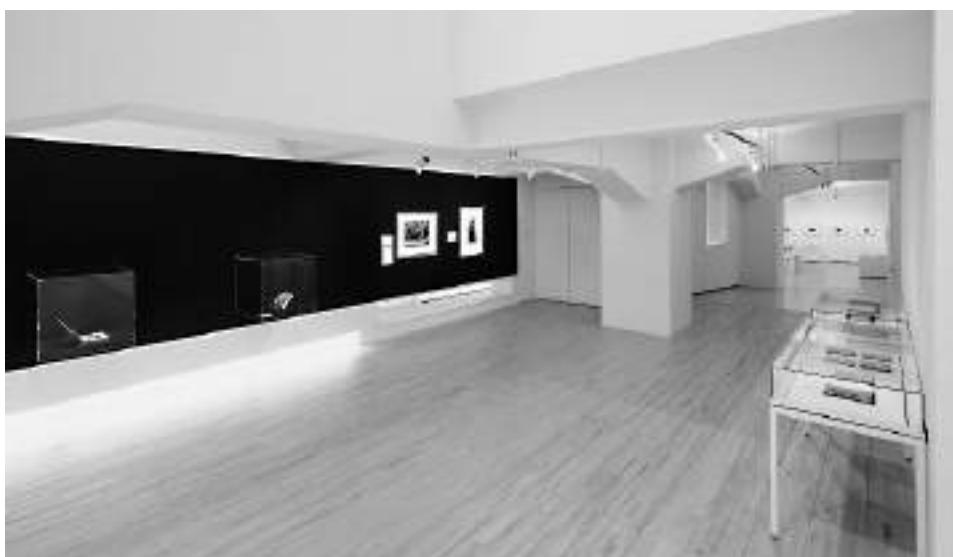
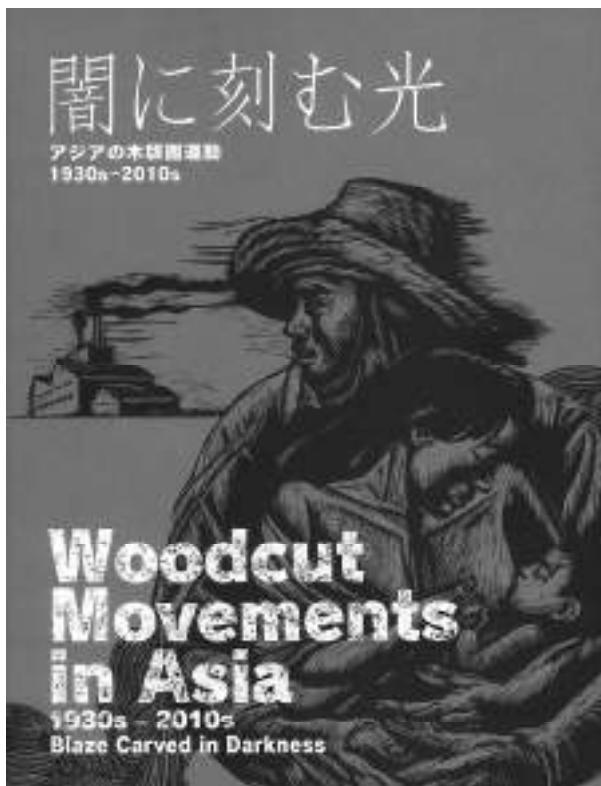
1945年から1960年にかけての戦後初期、高度経済成長が始まる前の時代の中で、版画運動やルポルタージュ絵画、創造美育などさまざまな表現が生まれた背景や、展覧会の中では拾いきれなかった版画運動の広がりをお話ししいただいた。

[日時]3月16日（土）、14時から15時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]39人

【担当学芸員】五十嵐純





## 近藤嘉男と憧れのヨーロッパ航路：アーツ前橋収蔵作品から

前橋ゆかりの画家・近藤嘉男の画業をふりかえる展覧会を開催した。前橋市が所蔵する近藤作品13点と広瀬川美術館所蔵の近藤直筆の資料を展示。生涯5度にわたる彼のヨーロッパ周遊の軌跡をたどりながら、彼の画風と思考の変遷を跡付けた。また、前橋を拠点にヨーロッパを旅した近藤と対照的な人生を歩んだ二人の画家の作品も紹介した。ヨーロッパで青年期を過ごして前橋に帰郷した南城一夫、若くしてパリやニューヨークへ渡って活動した高畠早苗もまた、異文化の中で自分自身を再構築していく体験をした。前橋と海の向こうを結ぶ3つの物語を所蔵品の鑑賞体験から知ることができた。



【会期】2019年2月2日(土)～3月24日(日)

【日数】44日間

【開館時間】11時から19時まで(入場は18時30分まで)

【休館日】水曜日

【会場】アーツ前橋 ギャラリー1

【観覧料】無料

【運営】[主催]アーツ前橋

【出品点数】29点

【入場者数】4,608人

【印刷物】ポスター A3判変型 1,000部

【関連事業】学芸員によるギャラリーツアー

[日時]2019年2月23日(土)、14時から14時30分まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー1

[参加人数]10人

おしゃべりアートデイズ

[日時]2019年3月18日(月)～3月24日(日)、14時から14時30分まで(土日は11時15分から11時45分まで)

[会場]アーツ前橋 ギャラリー1

[参加人数]21人

あ一つひろば

[日時]2019年3月23日(土)、13時から17時まで

[会場]アーツ前橋 ギャラリー及び交流スペース

[参加人数]82人





## II

---

# 地域アートプロジェクト

## II 地域アートプロジェクト

### 滞在制作事業 海外アーティスト 概要 (PP. 21 - 22)

海外在住のアーティストやキュレーターによる推薦を経て、日本国外のアーティストを招聘した。

【推薦委員】 クォン・ジン 韓国 キュレーター

照屋勇賢 日本※アメリカ在住 アーティスト

かないみき 日本※ドイツ在住 アート・ジャーナリスト

ヤップ・ソービン マレーシア キュレーター

ヤオ・ポーリーン 香港 M+ キュレーター

### 滞在制作事業 国内群馬県にゆかりのあるアーティスト 概要 (PP. 23 - 24)

4年目となった「群馬県にゆかりのあるアーティスト」を対象とした公募では、前年度同様プログラムA「群馬県にゆかりがあり、30歳以下のアーティスト」とプログラムB「年齢制限なく、群馬県にゆかりのあるアーティスト」の2つのプログラムでアーティストを公募した。審査員4名による厳正な審議を行った結果、プログラムAは「該当者なし」となったため、プログラムBから2組選出した。

【公募期間】 2018年2月23日(金)～3月31日(土)

【公募内容】 プログラムA「群馬県にゆかりがあり、30歳以下のアーティスト」  
プログラムB「年齢制限なく、群馬県にゆかりのあるアーティスト」

【応募数】 22件

【審査日時】 2018年4月19日(木)

【審査員】 岡部あおみ 美術評論家／パリ日本文化会館展示部門アーティスティックディレクター  
白川昌生 アーティスト  
田中龍也 群馬県立近代美術館 学芸員  
住友文彦 アーツ前橋 館長

## ゲートゲンス・ヒルシュ

ゲートゲンス・ヒルシュは、人間の条件に関するアーティスティックリサーチの基礎として、写真や映画制作、演劇制作、メディアアートの教育を共有し、作品の多くは静止画、動画、テキストで発表。近年では、西ベルリンのダーレム地区にある民族博物館の移設に伴う作業に同行し、8か月に及びその様子を撮影した作品などがあり、展覧会という制度や展示されるオブジェクトの歴史に目を向ける制作も行っている。滞在期間中は、前橋に生息しているもとはペットとして輸入され、のちに野生化し群れをなすインコを追いながら、自然と都市の関係を考察した。



【滞在期間】 リサーチ期間：2018年5月16日（水）～  
5月21日（月）

滞在期間：2018年7月18日（水）～  
8月30日（木）

【滞在場所】 堅町スタジオ（前橋市千代田町2-4-1）



【関連事業】 オープンスタジオ

[日時] 8月26日（日）、12時から19時まで

[会場] 堅町スタジオ

前橋に生息している野生化したインコのリサーチをはじめ、前橋の戦争の記憶、まちなかの元和菓子屋の建築など、人と自然、変化する街と環境の問題を中心に、滞在期間中に見つけたものを紹介した。

[参加人数] 60人

【コーディネーター】 福西敏宏（合同会社前橋文化計画副代表）

【担当学芸員】 五十嵐純



## スン・テウ

スン・テウは、ベトナムに生まれ、5歳でドイツに移住し、その後帰化。ロンドンを拠点にヨーロッパや東南アジアでも活動している。滞在制作では、日本とベトナムの関係を探る方法として、群馬県内に住むベトナム人留学生らへの聞き取りや、第二次大戦時に用いられた焼夷弾が後のベトナム戦争でのナパーム弾へつながったことなどから、それらの音などについてのリサーチを行った。滞在後半には、市内の学校に留学しているベトナム人学生とともにベトナム語と日本語で歌う歌を、日本人ミュージシャンと共に制作した。



**【滞 在 期 間】** リサーチ期間：2018年9月1日（土）  
～9月8日（土）

滞在期間：2018年11月13日（火）  
～2018年12月27日（木）

**【滞 在 場 所】** 竪町スタジオ

**【関 連 事 業】** オープンスタジオ

[日時] 12月16日（日）、10時から  
19時まで

[会場] 竪町スタジオ

ベトナム人留学生らと彼らの日常を歌詞にし、レコーディングを行うワークショップと、滞在の報告を行うアーティストトークを行った。

[参加人数] 47名



**【コー ディネーター】** 福西敏宏（合同会社前橋文化計画副代表）

**【担当学芸員】** 五十嵐純



## 羽山まり子

羽山まり子は、女子美術大学在学中にわたらせ渓谷鉄道沿線で行われた「Watarase ArtProject」(群馬県／栃木県)に携わり、以後東京を中心に制作活動を続けている。自身が関わった社会から集めたエレメント(要素)をラッピングや刺繡という手法によってつなぐインスタレーションや、作品を制作している。滞在期間中は、ピクニック・プロジェクトと題し、地域の人を訪問したり、アトリエに招き話を聞くことや、養蚕のプロセスに携わり、作品に使用する糸を制作した。



【滞在期間】 2018年9月12日(水)～11月7日(水)  
【滞在場所】 堅町スタジオ

【関連事業】 滞在制作 報告会  
[日時] 10月27日(土)、16時から17時まで  
[会場] 堅町スタジオ  
近年制作した作品についての説明や、滞在中に行ったピクニック・プロジェクトや養蚕のリサーチなどについて報告を行った。  
[参加人数] 100人



【コーディネーター】 NPO法人マエバシ・アート・プラクティス  
【担当学芸員】 五十嵐純



## 尾花賢一

尾花賢一は群馬県太田市出身で、現在は秋田を拠点に制作活動を行っている。絵画や立体を中心に、近年は漫画のコマ割りのような形式を用いた絵画作品の制作を行う。これまでの作品には、覆面を被った人物が幾度となく登場し、その姿を独自の視点でユーモラスに表現してきた。滞在期間中は、伝承や古墳など地域に残る歴史、任侠とヤンキーについてなど、過去から現在へと続くアウトローの文化をリサーチし、作品を制作した。



**【滞在期間】** 2019年2月7日(木)～2月12日(火)、2月17日(日)～2月24日(日)、3月9日(土)～3月18日(月)、3月22日(金)～3月30日(土)

**【滞在場所】** 堅町スタジオ

**【関連事業】** オープンスタジオ

[日時]3月17日(日)、11時から19時まで

[会場]堅町スタジオ

滞在中に行ったリサーチ・制作を報告する  
とともに、制作した作品の展示を行った。

[参加人数]45人

**【コーディネーター】** NPO法人マエバシ・アート・プラクティス

**【担当学芸員】** 五十嵐純



## アーツ前橋開館5周年記念企画展 つまずく石の縁 一地域に生まれるアートの現場—

アーツ前橋の滞在制作事業においては、作品の完成を目標とせず、滞在期間中はリサーチに多くの時間を費やすことから、作品は滞在制作終了後に完成され、国内外の様々な地域の展覧会などで展示されている。過去に滞在制作を行ったアーティストの中から10組が、前橋でのリサーチをもとに制作した作品を中心に商店街の店舗などを使って展示を行った。本展は、アーツ前橋の開館5周年にあわせ、滞在制作においてアーティストの活動拠点となる「豊町スタジオ」が立地する中心市街地の商店街協同組合と協力して開催した。



【会期】2018年10月12日(金)～14日(日)、19日(金)～21日(日)、26日(金)～28日(日)、11月2日(金)～4日(日)

【日数】12日間

【開館時間】11時から18時まで

【会場】前橋中心市街地周辺(マチナカさん、ベンテンシェアハウス、モバイル・ヤギンズ、ブックバー月に開く、武蔵屋跡、サクラヤ跡、東電跡、弁天通り、オリオン通りなど)

【観覧料】600円(ガイドブック付き／会期中何度でも入場可能)

【運営】[主催]アートによる文化交流推進実行委員会、前橋中心商店街協同組合  
[共催]アーツ前橋  
[助成]一般財団法人自治総合センター  
[後援]イスラエル大使館

【出品点数】26点

【入場者数】2,306人

【印刷物】パスポート&ブック B6判 112頁 1,000部  
チラシ A4判 40,000部  
ポスター B2判 1,500部  
目録(簡易マップ) A3二つ折り 4種(4か国語) 2,500部  
公式インスタグラム写真集(ハンドアウト) A4二つ折り 5,000部

【関連事業】アーティスト・トーク

出展作家9名によるアーティストトークを実施した。

[日時]10月12日(金)、16時から18時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]53人



### 「つまずく石の縁」ガイドツアー

街をよく知るゲストとして、建築家の橋本薰氏と、前橋工科大学講師の臼井敬太郎氏を招き、街歩きをしながら、アーツ前橋学芸員が作品を解説した。  
[日時]10月20日(土)、10月28日(日)、各回13時から14時まで  
[会場]展覧会会場  
[参加人数]62人

### 梅沢英樹ライブ

出展作家の梅沢英樹とアーティストの上村洋一氏によるパフォーマンスライブを梅沢氏の展示会場で実施した。  
[日時]11月4日(日)、13時から14時まで  
[会場]サクラヤ跡 1階  
[参加人数]35人

【担当学芸員】五十嵐純



# III

---

## ラーニング

### III ラーニング

#### 〈アーティスト・イン・スクール（A.I.S）〉全体概要

アーティストが前橋市内の学校へ出向き、ワークショップや授業を行った。アーティスト・イン・スクール3年目となる2018年度は市内小学校3校と中学校2校で実施したほか、2学期から3学期にかけてアーティストが長期的にかかわるプログラムも実施した。

【主 催】 アートによる対話を考える実行委員会、アーツ前橋

【事業コーディネート】 NPO法人まえばしプロジェクト

【助 成】 平成30年度 文化庁 地域の美術館・歴史博物館を中心とした文化クラスター形成事業

【協 力】 前橋市立第六中学校、前橋市立東中学校、前橋市立桃川小学校、前橋市立桃井小学校、前橋市立わかば小学校

【印 刷 物】 報告書 A4判 8ページ中綴じ 3,000部

## 中島佑太×前橋市立桃川小学校



2017年度からの継続事業として、アーティストの視点や考え方を活かした教員の補助や児童の支援を行った。今年度はアーティストが給食や休み時間などの、児童の日常生活に長期的に関わるプログラムを行った。対話やコミュニケーションから、学校教育の新たな展開や価値を生み出すことを目的とした。4年生1クラスと5年生の図工授業のT2（補助教員）として、担当教員と連携しながら、授業サポートを行った。また、市有バスを利用して4年生の生徒全員がアーツ前橋へ来館し、中島氏と作品鑑賞の授業を行った。

- 【日 時】 2018年10月10日(水)～2019年3月25日(月)（「図画工作」の授業時間内）  
【会 場】 前橋市立桃川小学校 教室、図工室、パソコン室、アーツ前橋  
【講 師】 中島佑太  
【対 象】 前橋市立桃川小学校 4年3組、5年生全クラス(105人)  
【コーディネーター】 梶原千恵(群馬大学大学院生)  
【担当学芸員】 今井朋



## イルワン・アーメット&ティタ・サリナ×前橋市立桃井小学校

2018年9月にインドネシア・スマラウェシ島沖で発生したM7.4の大地震を受けて、桃井小学校の2年生が絵や映像を通して、現地の子どもたちを元気にするメッセージを制作した。日本とインドネシアの地理的な共通点や、人を思いやる気持ちを学んだ。



- 【日 時】 2018年10月15日(月)、9時30分から11時30分まで（「图画工作」の授業時間内）  
【会 場】 前橋市立桃井小学校 体育館  
【講 師】 イルワン・アーメット&ティタ・サリナ(アーティスト)、通訳：油井理恵子  
【対 象】 前橋市立桃井小学校、2年生3クラス(61人)  
【コーディネーター】 梶原千恵(群馬大学大学院生)  
【担当学芸員】 山田歩、五十嵐純



---

## 住中浩史 × 前橋市立東中学校

---



先生とアーティストがアイディアを出し合いながら、生徒作品を展示できる空間を制作した。全校生徒による公募と投票により、展示空間の名称は「ずっと仮名の美術館」に決定した。3学期途中からは美術部と一緒にインスタレーションの展示を実施した。生徒の主体的で多様な学びの場として、今後活用されていく予定である。

- 【日 時】 2018年10月13日(土)～2019年3月15日(金)
- 【会 場】 前橋市立東中学校 相談室
- 【講 師】 住中浩史(アーティスト)
- 【対 象】 前橋市立東中学校教員、全校生徒(497人)
- 【コーディネーター】 小田久美子(アートコーディネーター／エデュケーター)
- 【担当学芸員】 山田歩



---

## 住中浩史 × 前橋市立わかば小学校

---



図工主任とアーティストが相談を重ね、第2図工室を展示室として利用できる「わかば美術館」を制作した。授業教材の展示や近隣中学校の生徒の作品、アーツ前橋の企画展と連動した児童作品展など、日々の学習と地域がつながる「わかば美術館」が誕生した。

- 【日 時】 2018年11月7日(水)～2019年3月14日(木)
- 【会 場】 前橋市立わかば小学校 第2図工室
- 【講 師】 住中浩史
- 【対 象】 前橋市立わかば小学校教員、全校生徒（25名）
- 【コーディネーター】 小田久美子（アートコーディネーター／エデュケーター）
- 【担当学芸員】 山田歩



---

## 住中浩史 × 前橋市立第六中学校

---



美術部の生徒とアーティストが前年度に制作した展示スペース「カオスギャラリー」を使って、美術部の展示を行った。部員がグループに分かれて、それぞれ自由な発想で展示を企画した。アーティストは定期的に部活へ通って制作のサポートを行いながら、部員との交流を深めた。

- 【日 時】 2018年10月15日(月)～2019年3月12日(火)
- 【会 場】 前橋市立第六中学校 美術室
- 【講 師】 住中浩史
- 【対 象】 前橋市立第六中学校美術部(8人)
- 【コーディネーター】 小田久美子(アートコーディネーター／エデュケーター)
- 【担当学芸員】 山田歩

---

## 〈表現の森（継続事業）〉全体概要

---

企画展「表現の森 協働としてのアート」（2016年7月22日～9月25日）をきっかけとして、アーティストと前橋市内にある施設や団体が協働するプロジェクトが始動し、以降継続して事業を展開。アートが福祉、教育、医療のような異なる現場に入りながら対話や交流を続けている。

【主 催】 アートによる対話を考える実行委員会

【助 成】 平成30年度 文化庁 地域の美術館・歴史博物館を中心とした文化クラスター形成事業

【協 力】 清水の会 えいめい 特別養護老人ホーム  
NPO法人 ぐんま若者応援ネット アリスの広場

南橋町子供育成会  
社会福祉法人 上毛愛隣社 のぞみの家

【印刷物等】 表現の森 特設サイト(<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/>)

---

## 〈表現の森〉プログラム① 石坂亥士・山賀ざくろ×清水の会えいめい

---



神楽太鼓奏者の石坂亥士とダンサーの山賀ざくろは、音や身体表現の即興ワークショップを通じて清水の会えいめいの利用者と交流を行っている。2016年度は主にデイサービスで活動を行ったが、2017年度から特別養護老人ホームに活動の場を移し、継続的に活動を行いながら、高齢者とアーティストの協働の可能性を探る。アートのワークショップと福祉のレクリエーション、それぞれが目指すことの相違点や共通点を再考した。また、本年度は施設職員との情報の共有に力を入れて取り組んだ。

【日 時】 2018年6月18日(月)～12月7日(金)の期間中に4回実施

【アーティスト】 石坂亥士(神楽太鼓奏者)、山賀ざくろ(ダンサー)

【連携先】 清水の会えいめい 特別養護老人ホーム

【コーディネーター】 木村祐子、小田久美子(アートコーディネーター／エデュケーター)

【映像記録】 岡安賢一

【参加人数】 301人

【担当学芸員】 今井朋、山田歩

---

## 〈表現の森〉プログラム② 滝沢達史×アリスの広場

---



アリスの広場は、ひきこもり経験者でもある佐藤真人によって前橋市内にオープンしたフリースペース。ひきこもりを脱しても、学校や社会へ出ることに困難を感じる若者たちが、自宅とは異なる外出先として利用している。主にフリースペースで行う「アリス美術部」と休館日のアーツ前橋を若者たちと訪れる「ゆったりアーツ」を行った。また、アリスの広場が主催し、アーツ前橋が協力という形で実施した「ゆったりアウトドア」では、赤城山でアウトドア体験を楽しむプログラムを行った。また特設サイトの活動記録を若者たちに依頼することで、普段の活動の中では、言葉の少ない若者たちの考えを引き出すことができた。

**【日 時】** 2018年4月28日(土)～2019年2月20日(水)の期間中に、アリス美術部5回、ゆったりアーツ4回、ゆったりアウトドア2回を実施

**【アーティスト】** 滝沢達史

**【連携先】** NPO法人 ぐんま若者応援ネット アリスの広場

**【参加人数】** 129人

**【担当学芸員】** 今井朋

---

### 〈表現の森〉プログラム③ 中島佑太×南橘団地

---



中島が5歳まで育った南橘団地の住人たちを対象に、プロジェクトを継続的に行っている。団地が持つ住環境の特性をワークショップや人々との交流を通じて見つめることで、団地の中に存在する「他者の視線」や「不可視の境界」、また団地の中の人の往来や美術館と南橘団地、小学校のプログラムの交流をテーマに考えた。2017年度からは、南橘団地の学区である桃川小学校にアーティスト・イン・スクールプログラムとして中島を派遣し、図工授業の補助教員として、子どもたちと交流を深めた。学校の授業と団地でのワークショップを往復しながら活動することで、アーティストが地域の中に入り込む可能性を探った。

【日 時】	2018年7月29日(日)～2019年2月11日(月・祝)の期間中に4回実施
【アーティスト】	中島佑太
【連携先】	南橘団地
【コーディネーター】	狩野未来(群馬大学大学院生)
【映像記録】	岡安賢一
【参加人数】	193人
【担当学芸員】	今井朋

---

## 〈表現の森〉プログラム④ 廣瀬智央・後藤朋美×のぞみの家

---



アーツ前橋開館前に、廣瀬智央と後藤朋美は、前橋の母子生活支援施設のぞみの家の子どもたちと、空の写真の「交換日記」を通じて、作品《空のプロジェクト：遠い空、近い空》を共に制作した。2016年度の「表現の森協働としてのアート」展では、のぞみの家の子どもたちや母親と一緒に「タイムカプセルプロジェクト」を始動させた。以降19年間継続していくアートプロジェクトとして、施設の母子とのワークショップを開始した。

【日 時】 2018年6月9日(土)～2019年3月9日(土)の期間中に8回実施

【アーティスト】 廣瀬智央、後藤朋美

【連携先】 社会福祉法人 上毛愛隣社 のぞみの家(母子生活支援施設)

【コーディネーター】 小田久美子(アートコーディネーター／エデュケーター)

【参 加 人 数】 156人

【担当学芸員】 今井朋、山田歩

## 表現の森 実施事業一覧

日付	曜日	時間	イベント名	講師	場所	参加人数
2018/4/28	土	12:00～18:00	第1回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	19
2018/5/16	水	13:00～18:00	ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋	11
2018/6/9	土	10:00～15:00	第1回 タイムカプセルプロジェクト	廣瀬智央、後藤朋美	アーツ前橋スタジオ、屋上	17
2018/6/18	月	15:00～16:00	第1回 音の玉手箱	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	64
2018/6/20	水	13:00～17:00	第2回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	13
2018/6/25	月	13:00～17:00	第2回 タイムカプセルプロジェクト	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家	11
2018/7/19	木	18:30～21:00	表現の森勉強会映画『地蔵とリビドー』上映会+トーク	笠谷圭見、山下完和	スタジオ	42
2018/7/20	金	11:00～17:30	ゆったりアウトドア	滝沢達史	赤城山	6
2018/7/29	日	12:00～19:00	中島佑太×南橋団地WS お祭り工場	中島佑太	南橋団地	70
2018/8/6	月	15:00～15:35	第2回 音の玉手箱	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	71
2018/8/18	土	10:00～16:30	中島佑太×南橋団地WS バスツアー	中島佑太	南橋団地、アーツ前橋	31
2018/9/3	月	13:00～16:00	ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋	11
2018/9/13	木	16:45～18:00	第3回 タイムカプセルプロジェクト	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家	14
2018/9/26	水	13:00～16:00	第3回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	11
2018/9/27	木	11:00～17:00	第4回 アリス美術部	滝沢達史	太田市まちかどふれあい館、太田市美術館図書館	13
2018/10/10	水	16:30～18:00	第4回 タイムカプセルプロジェクト	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家	11
2018/10/13	土	13:30～16:30	第5回 タイムカプセルプロジェクト	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家	65
2018/10/17-18	水、木	11:00～翌15:30	ゆったりアウトドア	滝沢達史	赤城山オートキャンプ場	14
2018/10/26	金	15:00～15:40	第3回 音の玉手箱	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	90
2018/10/29	月	16:30～18:00	第6回 タイムカプセルプロジェクト	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家	16
2018/11/14	水	13:30～17:00	第5回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	15
2018/12/7	金	15:00～15:40	第4回 音の玉手箱	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	76
2018/12/16	日	9:30～16:30	中島佑太×南橋団地WS クリスマス会	中島佑太	南橋団地第二集会室	41
2018/12/19	水	13:00～14:00	ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋	11
2019/1/12	土	10:30～15:15	第7回 タイムカプセルプロジェクト	後藤朋美	のぞみの家	12
2019/1/13	日	14:00～17:30	表現の森勉強会 映画『記憶との対話』上映会+ディスカッション	樺山智子、佐々木誠 長津結一郎、武藤大祐	スタジオ	63
2019/2/11	月	12:00～18:00	中島佑太×南橋団地WS 題名のないワークショップ	中島佑太	南橋公民館、南橋団地	51
2019/2/20	水	13:00～16:00	ゆったりアーツ	滝沢達史	アーツ前橋	11
2019/3/9	土	13:00～15:45	第8回 タイムカプセルプロジェクト	廣瀬智央、後藤朋美	蛇穴山古墳、宝塔山古墳、興源寺、総社公民館	10

## アーツナビゲーター研修

対話による鑑賞プログラム「おしゃべりアートデイズ」で、ファシリテーションを行うボランティア「アーツナビゲーター」を育成した。研修では、対話による作品鑑賞の意義や、ファシリテーションの方法、作品や作家情報の調べ方、ガイドプランの作成を学んだ。研修を経て、アーツナビゲーターとして来館者対応を行った。2013年度から2016年度までは団体で来館する児童を対象に対話による鑑賞プログラムを実施していたが、2017年度から展覧会会期中に一定期間を設けて、対象を広げて実施している。

本年度は、研修終了後に13人がアーツナビゲーターとして活動した。



【主 催】アーツ前橋  
【講 師】齊藤佳代(エデュケーター／コーディネーター)  
アーツ前橋学芸員  
【印 刷 物】チラシ A4 判 3,000 部  
【担当学芸員】辻瑞生、山田歩



### 【活動履歴】

日付	曜日	時間	イベント名	講師	会場	参加人数
2018/7/1	日	13:30~15:00	アーツナビゲーター説明会	辻瑞生	スタジオ	6
2018/7/15	日	10:30~16:30	基礎研修	齊藤佳代	スタジオ、ギャラリー	14
2018/8/3	金	10:30~16:30	実践研修	齊藤佳代	ギャラリー、サポートルーム	7
2018/8/4	土	10:30~16:30	実践研修	齊藤佳代	ギャラリー、サポートルーム	12
2018/9/8	土	10:30~16:30	実践研修	齊藤佳代	ギャラリー1、スタジオ	12
2018/11/16	金	10:30~15:30	実践研修	齊藤佳代	ギャラリー	8
2018/11/17	土	10:30~16:30	実践研修	齊藤佳代	ギャラリー	14
2019/3/1	金	10:30~16:30	実践研修	齊藤佳代	ギャラリー、サポートルーム	13
2019/3/2	土	10:30~16:30	実践研修	齊藤佳代	ギャラリー、サポートルーム	7

## おしゃべりアートデイズ

アーツナビゲーターと一緒に対話による作品鑑賞をおこなうプログラム。美術館を訪れた大人から子どもまでを対象とした。30分で2作品をじっくりと鑑賞し、感じたことや気づいたことなど作品の感想を共有することで、自分以外の人と一緒に鑑賞することの楽しさに気づいてもらうことを目的とした。

【主催】アーツ前橋  
【担当学芸員】辻瑞生、山田歩



### 【活動履歴】

日付	曜日	時間	展覧会	解説者	会場	参加人数
2018/8/20	月	14:00~14:30	時をつなぐ	アーツナビゲーター	ギャラリー1	10
2018/8/21	火	14:00~14:30	時をつなぐ	アーツナビゲーター	ギャラリー1	7
2018/8/23	木	14:00~14:30	時をつなぐ	アーツナビゲーター	ギャラリー1	5
2018/8/24	金	14:00~14:30	時をつなぐ	アーツナビゲーター	ギャラリー1	6
2018/8/25	土	11:15~11:45	時をつなぐ	アーツナビゲーター	ギャラリー1	5
2018/8/25	土	14:00~14:30	時をつなぐ	アーツナビゲーター	ギャラリー1	7
2018/8/26	日	14:00~14:30	時をつなぐ	アーツナビゲーター	ギャラリー1	9
2018/8/26	日	14:00~14:30	時をつなぐ	アーツナビゲーター	ギャラリー1	12
2018/12/3	月	14:00~14:30	岡本太郎展	アーツナビゲーター	ギャラリー	8
2018/12/4	火	14:00~14:30	岡本太郎展	アーツナビゲーター	ギャラリー	4
2018/12/6	木	14:00~14:30	岡本太郎展	アーツナビゲーター	ギャラリー	7
2018/12/7	金	14:00~14:30	岡本太郎展	アーツナビゲーター	ギャラリー	7
2018/12/8	土	11:15~11:45	岡本太郎展	アーツナビゲーター	ギャラリー	11
2018/12/8	土	14:00~14:30	岡本太郎展	アーツナビゲーター	ギャラリー	8
2018/12/9	日	11:15~11:45	岡本太郎展	アーツナビゲーター	ギャラリー	7
2018/12/9	日	15:00~15:30	岡本太郎展	アーツナビゲーター	ギャラリー	10
2019/3/18	月	14:00~14:30	近藤嘉男展	アーツナビゲーター	ギャラリー	6
2019/3/19	火	14:00~14:30	近藤嘉男展	アーツナビゲーター	ギャラリー	8
2019/3/21	木	14:00~14:30	近藤嘉男展	アーツナビゲーター	ギャラリー	4
2019/3/22	金	14:00~14:30	近藤嘉男展	アーツナビゲーター	ギャラリー	5
2019/3/23	土	14:00~14:30	近藤嘉男展	アーツナビゲーター	ギャラリー	9
2019/3/24	日	14:00~14:30	近藤嘉男展	アーツナビゲーター	ギャラリー	9

## あ一つひろば

アーツ前橋でアートを鑑賞したり、工作を楽しんだり、アーティストと一緒に活動したり「ひろば」のように色々な体験ができるイベントプログラム。アーティストや展覧会シーズンイベントと連動したプログラムを実施し、子どもから大人まで幅広い表現に出会う体験ができるように構成した。今年度は、展覧会と連動して2人の参加作家を講師として招聘したほか、サポーターの自主企画のプログラムも設けた。



### 【関連イベント】 第1回あ一つひろば

[日時]2018年5月12日(土)、13時から17時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ、交流スペース、ギャラリー1

[参加人数] 87人

プログラム①：サポーター祭り

[講師]アーツ前橋 サポーター

サポーターから集った企画アイデア、「アーツの窓を花で飾ろう」「親子で作ろう！紙の服アート！」「自分のすみたいまちを作ろう」の3本を交流スペースとスタジオを使って実施。それぞれのプログラムの企画から準備までをサポーターがおこなった。

プログラム②：ウマくなくてもいいスタジオ

用意された素材や材料で自由に工作ができる定例のプログラム

プログラム③：こどもアート探検

未就学児と小学生を対象としたアートツアーを実施。アーツナビゲーターがファシリテーターを務めた。

### 第2回あ一つひろば

[日時]2018年8月18日(土)、13時から17時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ、交流スペース、ギャラリー1

[参加人数]116人

プログラム①：ハンディ木馬をつくろう

[講師]アーツ前橋サポーター

秋の「駅家ノ木馬祭」へむけて、お祭り参加者が手にもって使うハンディ木馬を制作。実際のお祭りで使う際にどうすればよく見えるのか、それぞれ好きな色紙やテープを使いながら作り上げた。

プログラム②：ウマくなくてもいいスタジオ

プログラム③：こどもアート探検

### 第3回あ一つひろば

[日時]2018年11月10日(土)、13時から17時まで／11月18日(土)、13時から16時まで(プログラム①のみ)

[会場]アーツ前橋 スタジオ、交流スペース、ギャラリー1

[参加人数]89人

プログラム①：新聞紙とガムテープで塔をつくりよう

[講師]関口光太郎

「岡本太郎と『今日の芸術』絵はすべての人の創るもの」展に合わせて、出展アーティストの関口光太郎氏を講師に、参加者それぞれの「今日の塔」を作った。制作にとりかかる前に、展示されている関口氏の作品を鑑賞し、制作のイメージを膨らませた。(展示期間：11月10日-11月24日)

プログラム②：ウマくなくてもいいスタジオ

プログラム③：こどもアート探検

### 第4回あ一つひろば

[日時]2018年12月6日(木)～12月12日(水)、14時から16時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

[参加人数]20人

プログラム：ヒンメリを作ろう

毎年クリスマスの時期に行っている交流スペースの飾りつけのために、北欧の伝統的な飾り「ヒンメリ」を制作。交流スペースでの飾りつけまでをサポート者が主体となって行った。完成了した空間は来館者の目を引くものとなった(展示期間：12月13日-2019年1月15日)。

### 第5回あ一つひろば

[日時]2019年3月23日(土)、13時から17時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ、

交流スペース、ギャラリー1

[参加人数]82人

プログラム①：ものがたり「ある村のできごと」

[講師]カナイサワコ

同時期に開催中の展覧会「闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s」にちなんで、あるコミュニティの中で問題解決のために話し合うワークショップを実施。3～4人のグループワークを行った。

プログラム②：ウマくなくてもいいスタジオ

プログラム③：こどもアート探検

プログラム④：あ一つなかけら～缶バッジづくり～

【印刷物】①A4チラシ、各回1,000部

②A2ポスター、各回5部

【担当学芸員】山田歩、榎本浩子

## サポーター活動記録

日付	内容	日付	内容
4月13日(金)	アーカイヴ整備	8月24日(金)	アーカイヴ整備
4月15日(日)	講演会「横堀角次郎の魅力」サポート	9月14日(金)	アーカイヴ整備
4月19日(木)	アーカイヴ整備	9月17日(月・祝)	あ一つひろばを考える会
4月26日(木)	あ一つひろば打ち合わせ	9月27日(木)	アーカイヴ整備
4月27日(金)	アーカイヴ整備	10月19日(金)	アーカイヴ整備
4月29日(日)	菊池敏正ワークショップ サポート	10月28日(日)	Zoho Connect説明会&クリスマス飾りについての話し合い
4月30日(月・祝)	あ一つひろば打ち合わせ	11月10日(土)	あ一つひろば開催
5月 6日(日)	馬場恵ワークショップ サポート	11月11日(日)	「岡本太郎と読む『今日の芸術』」サポート
5月 9日(水)	あ一つひろば事前準備	11月15日(木)	アーカイヴ整備
5月10日(木)	あ一つひろば事前準備	11月30日(金)	アーカイヴ整備
5月12日(土)	あ一つひろば開催	12月 6日(木)	あ一つひろば ヒンメリ制作
5月19日(土)	講演会「横堀と三岸と鳥海と」サポート	12月 7日(金)	あ一つひろば ヒンメリ制作
5月20日(日)	「すてきな子どもたちによる弦楽アンサンブル演奏会」サポート	12月 9日(日)	あ一つひろば ヒンメリ制作
5月23日(水)	広報物発送作業	12月10日(月)	あ一つひろば ヒンメリ制作
5月24日(木)	広報物発送作業	12月11日(火)	あ一つひろば ヒンメリ制作
5月25日(金)	広報物発送作業	12月12日(水)	あ一つひろば ヒンメリ飾り付け
6月 8日(金)	アーカイヴ整備	12月21日(金)	アーカイヴ整備
6月14日(木)	アーカイヴ整備	1月 7日(月)	広報物発送作業
7月12日(木)	アーカイヴ整備	1月 8日(火)	広報物発送作業
7月23日(月)	広報物発送作業	1月 9日(水)	広報物発送作業
7月24日(火)	広報物発送作業	1月11日(金)	広報物発送作業
7月25日(水)	広報物発送作業	1月16日(水)	あ一つひろば ヒンメリ撤収
7月27日(金)	アーカイヴ整備	1月24日(木)	アーカイヴ整備
7月28日(土)	レクチャー「戦時下の写真家たち」サポート	2月15日(金)	アーカイヴ整備
8月 2日(木)	アーカイヴ整備	3月 6日(水)	広報物発送作業
8月 6日(月)	広報物発送作業	3月 7日(木)	広報物発送作業
8月 7日(火)	広報物発送作業	3月18日(月)	広報物発送作業
8月 8日(水)	広報物発送作業	3月19日(火)	広報物発送作業
8月11日(土)	「石内都 × 小泉明郎 対談」サポート	3月20日(水)	広報物発送作業
8月12日(日)	あ一つひろば事前準備	3月23日(土)	あ一つひろば開催
8月13日(月)	あ一つひろば事前準備		
8月18日(土)	あ一つひろば開催		

## メンバーシップ(2018年4月1日現在)

**【会員数】** 一般会員：82人(男49人、女33人／県内80人、県外2人)

- ・ペア会員：19組
- ・賛助会員：1人
- ・法人会員：21社

**【会員対象事業】** アーツ前橋開館5周年記念 オリジナル小皿進呈

開館5周年を記念して、メンバーシップ会員全員へオリジナルの小皿を進呈する企画を実施。小皿の図柄には当館コミッショナリーの一つである、山極満博の《ちいさなおとしもの》を採用した。制作は徳島のクラフト工房「器れもん」へ依頼した。



山極満博《ちいさなおとしもの》  
2013年、FRP・ウレタン塗装

**【会報】** vol.8 2018年11月発行

vol.9 2019年2月発行

**【担当学芸員】** 山田歩

## 視察・見学

日付	時間	団体名(団体解説)	鑑賞者数	日付	時間	団体名(団体解説)	鑑賞者数
4月18日(水)	15:40	前橋市新規採用職員	70	11月6日(火)	14:00	桃井小学校職場体験(実践)	6
4月23日(月)	15:00	中央公民館主催事業明寿大学絵画クラブ	42	11月6日(火)	17:00	前橋工科大学	14
4月25日(水)	14:30	一般社団法人 HEAD研究会	5	11月8日(木)	11:00	前橋工科大学	14
4月29日(日)	13:00	武藏野美術大学校友会群馬支部	13	11月11日(日)	14:00	スマイルキッズショッパーズ(職場体験)	8
5月10日(木)	14:30	関東甲信越静公民館連絡協議会	22	11月13日(火)	11:00	清心幼稚園	26
5月15日(火)	18:00	近隣法人等ギャラリーツアー	7	11月22日(木)	13:00	渋川市立北橘中学校	13
7月10日(火)	19:00	中心商店街関係者ガイドツアーア	11	12月2日(日)	13:00	群馬大学教育学部美術教育講座	3
7月15日(日)	13:00	前橋国際大学 奥田研究室(社会文化心理学)	21	12月18日(火)	13:20	警視庁・観光振興課	7
7月23日(月)	13:30	中央公民館(明寿大学)	333	1月8日(火)	14:00	前橋市議会	6
7月31日(火)	14:00	前橋市議会	12	1月10日(木)	18:00	法人メンバーシップギャラリーツアーア	3
8月24日(金)	19:00	法人メンバーシップギャラリーツアーア	3	2月19日(火)	19:00	中心商店街関係者ガイドツアーア	11
10月2日(火)	14:00	桃井小学校職場体験(事前レクチャー)	6	3月1日(金)	9:45	鳥取県立博物館	6
10月14日(日)	14:00	東北大学大学院工学研究科	5	3月5日(火)	12:00	前橋国際日本語学校	50
10月16日(火)	19:00	中心商店街関係者ガイドツアーア	13	3月5日(火)	10:50	桃川小学校4年生	42
10月17日(水)	13:30	国土交通省ほか	55	3月5日(火)	13:50	桃川小学校4年生	40
10月23日(火)	11:00	清心幼稚園	25	3月8日(金)	14:20	高崎地区更生保護女性会	29

## インターンシップ

日付	参加大学	人数
8月27日(月)～ 8月31日(金)	高崎経済大学	1
8月27日(月)～ 8月31日(金)	共愛学園前橋国際大学	2
11月27日(火)～ 1月28日(月)	共愛学園前橋国際大学	1

## 先生のための無料招待ウィーク

期間	展覧会名	参加者数
7月21日(土)～ 8月 5日(日)	横浜美術館コレクション 昭和の肖像—写真でたどる「昭和」の人と歴史	8
10月 5日(金)～10月30日(火)	岡本太郎と『今日の芸術』 絵はすべての人の創るもの	2
2月9日(土)～ 2月24日(日)	闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s	9

## 博物館実習

期間	人数
8月16日(木)～ 8月22日(水)	4

## IV

---

# 連携事業 等

## IV 連携事業等

### ロビーライブ

市内で音楽のイベントなどを企画する市民をコーディネーターとし、年3回の音楽ライブを実施した。誰でも気軽に鑑賞できるような会場をアーツ前橋の交流スペースとして、様々なジャンルの音楽を紹介した。



【主 催】 アーツ前橋

【会 場】 アーツ前橋 交流スペース

【入 場 料】 無料

【開催概要】 ロビーライブ vol. 17 ジャズ

[日時] 2018年8月19日(日) 13時から／14時30分から

[出演] 福田重男、三木俊雄

[コーディネーター] 鈴木伸一

「ジャズ」をテーマとし、前橋市出身で第一回「風のまち音楽祭」のアドバイザーでもあった福田重男氏とサックス奏者の三木俊雄氏をお呼びし、各30分ほど2ステージを行った。

[参加人数] 139人

ロビーライブ vol. 18 エレクトロニカ

[日時] 2018年12月9日(日)、14時から14時40分まで

[出演] Aalko aka Akiko Kiyama

[コーディネーター] 岡庭涼

「エレクトロニカ」をテーマに40分のパフォーマンスを行った。

[参加人数] 35人

ロビーライブ vol. 19 沖縄民謡とサーフ

[日時] 2019年3月9日(土)、14時から15時まで

[出演] Maico

[コーディネーター] 岩崎有希

「沖縄民謡とサーフ」をテーマとし、Maico氏をお呼びした。ソロの演奏のほか、コーディネーターの岩崎氏、バンド「秀吉」のドラマー神保哲也氏も参加した演奏を含み、30分程度のステージを2回行った。

[参加人数] 122人

【担当学芸員】 五十嵐純



## 前橋身体論 早春ゼミナール2019

学校に限らず社会での学びのあり方を解放する、それを「学びの民主化」と呼び、これを表現する方法として「様々な身体表現を学ぶ演劇」を考え「前橋身体論 早春ゼミナール2019」を身体の芸術推進実行委員会の企画として開催した。「闇に刻む光」展から学ぶ研修型講座の「レクチャー」、そこから講師陣それぞれのゼミに分かれて学ぶ演習型講座の「ゼミナール」の二段階構成と会期末に互いの作品や体験を振り返る「フォーラム」を行った。



【会期】2019年2月2日(土)、9日(土)～11日(月・祝)、16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)、3月3日(日)、10日(日)、15日(金)～17日(日)、21日(木・祝) 計14日間

【会場】アーツ前橋/前橋市中央公民館／前橋文学館

【主催】身体の芸術推進実行委員会

【共催】アーツ前橋

【協賛】アサカタクシー、合同会社 前橋文化計画

【協力】前橋シネマハウス、マエバシユーレー

〔構成/演出〕小出和彦

〔出演者/スタッフ〕岡庭涼(DJ)、小出和彦(劇作家・演出家)、坂川善樹(演出家)、中村ひろみ(演出家・役者)、村田峰紀(パフォーマー)、山賀ざくろ(ダンサー)、山本千愛(アーティスト)、阪中隆文(アーティスト)、新井隆人(詩人)

【開催概要】木版画制作ワークショップ「ホレホレ “スレ”」(レクチャー3)

〔日時〕2019年2月11日(月・祝)、13時から16時まで

〔会場〕アーツ前橋スタジオ  
版画制作アーティスト佐野広章氏の指導で実際に木版画を彫って刷るワークショップを行った。

〔参加人数〕25人



映画『タクシー運転手』と「闇に刻む光」展鑑賞ツアー&感想会(レクチャー4)

〔日時〕2019年2月16日(土)、10時から14時まで

〔会場〕前橋シネマハウス、アーツ前橋  
1980年韓国で起こった光州事件を扱った映画『タクシー運転手 約束は海をこえて』と「闇に刻む光」展を鑑賞し、ツアー後に感想会を開催した。

〔参加人数〕12人

**映画『1987ある闘いの真実』と「闇に刻む光」展鑑賞ツアーア&感想会(レクチャーフォーラム)**

[日時]2019年3月3日(日)、13時25分から17時30分まで

[会場]前橋シネマハウス、アーツ前橋  
1987年ソウル大学の学生が拷問致死した事件をきっかけに韓国全土で民主化闘争へと発展した出来事を描いた映画『1987 ある闘いの真実』と「闇に刻む光」展を鑑賞し、ツアーアフターセミナーを開催した。

[参加人数]10人

**岡庭ゼミ「KING OF OPUS feat. 石坂亥士 ライブパフォーマンス」**

[日時]2019年2月24日(日)、13時30分から14時30分まで

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー2  
「闇に刻む光」展にインスピライアされて「KING OF OPUS feat. 石坂亥士 ライブパフォーマンス」を開催した。

[参加人数]80人

**山賀ゼミ「ざわつく身体を探る◎版画作品鑑賞+ダンスワークショップ」**

[日時]2019年2月23日(土)、3月17日(日)、各回13時から16時30分まで

[会場]アーツ前橋 地下ギャラリー・中央公民館 スタジオ

版画に刻まれた表情や姿から発せられるメッセージを読み取り、身体の動きに移し替えてみるダンスワークショップを開催した。

[参加人数]6人

**村田ゼミ「検閲しようよ」**

[日時]2019年2月9日(土)、15時から18時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ

「検閲とは」という問いかから、実際に検閲のルールを決め行う側に立ってみることをテーマに参加者とともに話し合う場を持った。

[参加人数]20人

**中村ゼミ「戯曲で学ぶアフガニスタンとリーディング公演『修復不能』」**  
(企画協力: 公益社団法人国際演劇協会日本センター)

[日時]勉強会&戯曲読み合わせ: 2019年2月10日(日)・17日(日)・24日(日)・3月3日(日)・10日(日)、各回 11時から13時30分まで／公開リハ: 2019年3月15日(金)、18時から21時まで／リーディング公演&ラウンドテーブル: 2019年3月16日(土)、11時から19時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ、中央公民館 406スタジオ、前橋文学館 3階ホール  
「紛争地域から生まれた演劇」を声に出て読みながら行う勉強会&戯曲読み合わせを開催。参加者とともにリーディング公演を準備し、上演した。

[参加人数]70人

#### フォーラム

[日時]2019年3月21日(木・祝)、14時から16時まで

[会場]アーツ前橋 スタジオ  
各事業の参加者らとレクチャーやゼミナール、「闇に刻む光」展を含め、互いの作品や体験を振り返りながら、語り合うことで、新しい人や表現との出会いの場作りを目指した。

[参加人数]20人

**【印刷物】チラシ A3判二つ折り 2,500部**

**【担当学芸員】五十嵐純**



## うまやの 駅家ノ木馬祭

アーティストの白川昌生が企画・構想した、前橋の歴史上の人物をめぐる虚実の入り混じった物語「駅家ノ木馬物語」。その物語に出てくるお祭りを実際に前橋中心市街地で行った。7年目となる2018年は春と秋の2回開催となり、大木馬1体と小木馬4体が、参加者の踊りや太鼓の音、「木馬だ、木馬だ、だ、だ、だ」のかけ声と共に、中心市街地を練り歩いた。本年度より秋の駅家の木馬祭りの大木馬に乗る弁天様を決めるコンテストが開かれた。



### 【主 催】駅家の木馬祭り実行委員会

#### 【開催概要】春の木馬祭り

神輿を担ぎ、かけ声と共に利根川まで練り歩き、利根川にて御水取りの儀式を行った。小出和彦氏による演劇プログラムや小野田藍氏によるパフォーマンスも行われた。

[日時]2018年4月29日(日)、11時から13時まで

[会場]弁天通りから広瀬川沿いを歩き利根川まで

[参加人数]32人

#### 弁天様コンテスト

木馬祭り当日、祭りの主役となって前橋のまちなかを練り歩く大木馬に乗る“弁天様”を募集し、コンテストを開催した。

[日時]2018年9月23日(月)、13時30分から16時まで

[会場]ベンテンシェアハウス

[参加人数]15人

#### 駅家ノ木馬祭 前夜祭

秋の木馬祭りの前夜、ワラで作られた馬を燃やす前夜祭「お焚き上げ」が行われた。

[日時]2018年10月13日(土)、18時から21時まで

[会場]ヤマダグリーンドーム前橋 第

#### 5・第6駐車場

[参加人数]30人

#### 秋の木馬祭り

弁天通りの大蓮寺前で住職からのお話を聞き、前橋市中心市街地を練り歩いた。前橋まちなかアーツ助成採択団体の「トンデ空静」とのコラボレーションも行われた。

[日時]2018年10月14日(日)、11時から16時まで

[会場]弁天通り～前橋中心市街地

[参加人数]200人

#### 【担当学芸員】忠あゆみ、五十嵐純



## 前橋まちなかアーツ助成

過去4年間にわたり、前橋まちなか文化祭(通称：まちフェス)、めぶくフェス(アート部門)において、まちなかで活動している芸術文化団体への助成を実施してきた。多様な文化の担い手のまちなかにおける活動が増える環境が整いつつあるなか、今年度より、さらに芸術活動に主軸をおいて継続的に活動する団体・個人を支援する制度として「前橋まちなかアーツ助成」を開始した。10月12日(金)～11月4日(日)の期間中に、中心市街地及びその周辺で実施する芸術文化に関する企画を広く募集し、11団体が採択され事業を実施した。



【主 催】アートによる文化交流推進実行委員会

【助成事業】企画展「アリスinグンマーランド」ほか計4企画

[企画者]ギャラリーアートスープ

[日時]2018年10月5日(金)～11月30日(金)

[会場]ギャラリーアートスープ、ブックバー月に開く

[入場者数]923人

会期を分け、個展と公募展を開催した。

後藤朋美「蚕起桑食生糸紡音」、トークショー「養蚕を通して見えてきたこと」

[企画者]上州文化ラボ

[日時]2018年11月3日(土)、4日(日)

[会場]旧安田銀行担保倉庫糸蔵

[入場者数]125人

市内在住のアーティスト後藤朋美による展示とゲストを招いたトークを行った。

アート的マインドを育てるワークショップ「踊って作れる！こどもクラブパーティー」

[企画者]ちょこ工房

[日時]2018年10月21日(日)

[会場]Maebashi Works

[入場者数]30人

アーティストのカナイサワコを講師に、子供を対象に踊るときに手に持つものを作り、DJの音楽に合わせて踊るワークショップを開催した。

ハラサワコレクションvol.7 三酉会展～生誕120年の画家たち

[企画者]ハラサワコレクション

[日時]2018年10月25日(木)～10月28日(日)、11月1日(木)～11月4日(日)

[会場]旧安田銀行担保倉庫西側一階

[入場者数]200人

三酉会(横堀角次郎、磯部草丘、森村西三、北村明道)及び、関係作家の作品を展示了。

音楽舞踏劇「ダ・ポンテ」、写真展示  
企画「前橋SHOT展～体感する前橋」  
[企画者]舞踏団 トンデ空静  
[日時]2018年10月13日(土)～11月1日  
(木)、3日(土)、4日(日)  
[会場]オリオン通り全域  
[入場者数]150人  
「レクイエム」をテーマとした音楽舞踏劇と商店街を利用した写真展示を行った。



“POP HEADS!” ダンス公演  
[企画者]POP HEADS!  
[日時]2018年10月30日(火)  
[会場]前橋市芸術文化れんが蔵  
[入場者数]18人  
数名のゲストと共にダンス公演を行った。

遠藤夏香「愛の手紙の書き方／How to write a love letter」  
[企画者]map  
[日時]2018年10月20日(土)～11月4日(日)  
[会場]map前橋”市民”ギャラリー  
[入場者数]200人  
遠藤夏香による個展を開催した。

Mouthfeel of R vol. 11  
[企画者]Mouthfeel of R  
[日時]2018年11月3日(土)  
[会場]ロブソンコーヒー アーツ前橋店  
[入場者数]53人  
KING OF OPUP、HITOMI-TNP、DJを招き、ライブパフォーマンスを行った。

ya-gins vol. 30 加藤アキラ「脳内半島(remove 0 grid)」、ya-gins vol. 31  
木暮伸也「The surplus place」  
[企画者]ya-gins  
[日時]2018年9月15日(土)～10月21日(日)、11月3日(土)～12月8日(日)  
[会場]ya-gins  
[入場者数]400人  
加藤アキラによるインスタレーション作品の展示と木暮伸也による写真作品の展示を行った。

猫の詩と写真 街なか展覧会、萩原朔太郎「猫町」作品展ほか計9企画  
[企画者]芽部  
[日時]2018年10月21日(日)～11月4日(日)  
[会場]前橋中央通り商店街協力店舗、煥乎堂3階ふるほん書店、前橋こども図書館他  
[入場者数]1,520人  
商店街を使った展示、ポエトリー講座、オープンマイクなど多様なイベント開催した。

おとな遊戯2  
[企画者]山賀ざくろ企画  
[日時]2018年10月21日(日)  
[会場]前橋市 第一コミュニティセンター  
[入場者数]35人  
音楽家、ダンサーをゲストにライブセッションを開催した。

【担当学芸員】五十嵐純



V

---

## 所藏資料

## 2018年度 収蔵作品（2018年4月1日 — 2019年3月31日）

	26年度 以前	27年度	28年度	29年度	30年度				合計
					購入	寄贈	移管	小計	
絵画	449	2	23	45		9		9	528
水彩・素描・下図	62	1		1					64
版画	4			0					4
写真			38	9	10	6		16	63
彫刻・立体ほか	7	3	3	6	6			6	25
メディアアート	1	2		2	1			1	6
工芸		3		3					6
書	32			7					39
	555	11	64	73	17	15		32	735

## 2018年度 購入・寄贈作品

作家名	作品名	制作年	初出品展覧会	寸法 (縦×横×奥行) cm	材質・技法	区分
石内都	ひろしま #21 Donor: Segawa, M	2007(平成19) / 2018(平成30)	ひろしま Strings of Time (2007年、広島市現代美術館、広島)	108×74	発色現像方式印画	購入
石内都	ひろしま #43 Donor: Yamane, S	2007(平成19) / 2018(平成30)	ひろしま Strings of Time (2007年、広島市現代美術館、広島)	74×95.5	発色現像方式印画	購入
石内都	ひろしま #46 Donor: Kubotaka, S	2007(平成19) / 2018(平成30)	ひろしま Strings of Time (2007年、広島市現代美術館、広島)	108×74	発色現像方式印画	購入
石内都	ひろしま #61 Donor: Harada, A	2007(平成19) / 2018(平成30)	ひろしま Strings of Time (2007年、広島市現代美術館、広島)	33.5×23	発色現像方式印画	購入
石内都	ひろしま #98 Donor: Yokoyama, S	2007(平成19) / 2018(平成30)	アート・アーチ・ひろしま2013 (2013年、広島県立美術館、広島)	33.5×23	発色現像方式印画	購入
石内都	ひろしま #106 Donor: Hashimoto, H	2016(平成28) / 2018(平成30)	肌理と写真 (2017年、横浜美術館、神奈川)	108×74	発色現像方式印画	購入
石内都	ひろしま #52F Donor: Hara, T	2014(平成26) / 2018(平成30)	ライフワーク (2015年、広島市現代美術館、広島)	33.5×23	発色現像方式印画	寄贈
片山真理	you're mine #001	2014(平成26) / 2019(平成31)	you're mine (2014年、TRAUMARIS、東京)	106.7×163.8 (×D5)	半光沢ラムダプリント・ オリジナルフレーム	
片山真理	30 days in tatsumachi studio	2015(平成27) / 2019(平成31)	25 days in Tatsumachi Studio (2015年、ROBSON COFFEE アーツ前橋店、群馬)	89.5×57.5 (×D4.5)	半光沢ラムダプリント・ オリジナルフレーム	
片山真理	25 days in tatsumachi studio/ アツミレコード#001	2015(平成27) / 2019(平成31)	19872017 (2017年、ガトーフェスタハラダ、群馬)	22.1×29.5	半光沢ラムダプリント	寄贈
片山真理	25 days in tatsumachi studio/ 鈴木薬局眼鏡部#001	2015(平成27) / 2019(平成31)	19872017 (2017年、ガトーフェスタハラダ、群馬)	29.5×22.1	半光沢ラムダプリント	寄贈
片山真理	25 days in tatsumachi studio/ スズキストア#002	2015(平成27) / 2019(平成31)	19872017 (2017年、ガトーフェスタハラダ、群馬)	29.5×22.1	半光沢ラムダプリント	寄贈
片山真理	25 days in tatsumachi studio/ あじさい	2015(平成27) / 2019(平成31)	19872017 (2017年、ガトーフェスタハラダ、群馬)	29.5×22.1	半光沢ラムダプリント	寄贈
片山真理	25 days in tatsumachi studio/ 山都園	2015(平成27) / 2019(平成31)	19872017 (2017年、ガトーフェスタハラダ、群馬)	29.5×22.1	半光沢ラムダプリント	寄贈
鈴木ヒラク	Archetype of the City #1 A	2017(平成29)	ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所 (2017年、アーツ前橋、群馬)	230.6×170.9	反射板、木、アクリル	購入
鈴木ヒラク	Archetype of the City #1 B	2017(平成29)	ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所 (2017年、アーツ前橋、群馬)	64.7×64.7	反射板、木、アクリル	購入
鈴木ヒラク	Archetype of the City #1 E	2017(平成29)	ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所 (2017年、アーツ前橋、群馬)	208.9×119.6	反射板、木、アクリル	購入
鈴木ヒラク	Archetype of the City #1 F	2017(平成29)	ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所 (2017年、アーツ前橋、群馬)	163.6×113.2	反射板、木、アクリル	購入
長重之	視床Xb	1981(昭和56)	視床シリーズ (1985年、足利市民会館、栃木)	112×140 (×D5)	木、キャンバス、 アクリル絵具、油彩ほか	購入
平野薫	untitled-jacket-	2008(平成20)	オープnstudio (2008年、ISCP、ニューヨーク、アメリカ) imMATERIAL (2008年、BLACK AND WHITE GALLERY、 ニューヨーク、アメリカ)	サイズ可変	ジャケット	購入
やなぎみわ	無題II	2004(平成16)	少女地獄極楽老女 (2004年、丸亀市猪熊源一郎現代美術館、香川)	140×100	ゼラチンシルバープリント	購入
やなぎみわ	Wandering Dune II	2005(平成17)	マダムコメット (2005年、大原美術館有鄰館、岡山)	48×72	ゼラチンシルバープリント	購入
アンナ・ヴィット CARE		2017(平成29)	CARE (2017年、テンポラリー・アーティスト・ ユートピア・ツール、シュトゥットガルト、ドイツ)	21分16秒	HDビデオ、カラー、 サウンド	購入
塩原友子	嘉辰令月	1974(昭和49)		37×52	紙本彩色	寄贈
塩原友子	夏日影	1970(昭和45)	第30回日本画院展 (1970年、東京都美術館、東京)	37×51	紙本彩色	寄贈
塩原友子	十五夜	1970(昭和45)	第30回日本画院展 (1970年、東京都美術館、東京)	37×52	紙本彩色	寄贈
塩原友子	百合	1970(昭和45)		37×53	紙本彩色	寄贈
塩原友子	花占い	1982(昭和57)		91×73	紙本彩色	寄贈
正田譲	遠い花火	1995(平成7)	クロスセクション (断面) '95 全国モダンアート 協会作家展 (1995年、高崎シティギャラリー、群馬)	194×258	油彩、キャンバス	寄贈
正田譲	ダナエー	1998(平成10)	第48回モダンアート展 (1998年、東京都美術館、東京)	194×260	油彩、キャンバス	寄贈
正田譲	虹の空			100×80	油彩、キャンバス	寄贈
正田譲	通り雨			145.5×112	油彩、キャンバス	寄贈

## 2018年度 修復

作者名	作品名	材質・技法	修復者	修復内容	期間
金子英彦	便所	キャンバス、アクリルガッシュ	有限会社 修復研究所21	調査記録、絵具層固着強化、乾式洗浄、旧ワニス除去、裏面清掃・殺菌、仮張り変形修正、破損部接着、耳補強、新調木枠への張り込み、充填整形、TBZ防黴・殺菌ワニス塗布、補彩、殺菌両面保護ワニス塗布	2018年11月15日(木) ～2019年2月20日(水)
金子英彦	洗濯機	キャンバス、アクリルガッシュ	有限会社 修復研究所21	調査記録、乾式洗浄、固着強化、裏面・木枠清掃殺菌、仮張り変形修正、破損部接着、耳補強、新調木枠への張り込み、充填整形、TBZ防黴・殺菌ワニス塗布、補彩、画面保護ワニス塗布	2018年11月15日(木) ～2019年2月20日(水)
清水刀根	青年期	キャンバス、油彩	有限会社 修復研究所21	調査記録、乾式洗浄、固着強化、裏面・木枠清掃殺菌、仮張り変形修正、新調木枠への張り込み、充填整形、補彩、額装	2019年2月10日(日) ～3月31日(日)
中村節也	婦人像	キャンバス、油彩	有限会社 修復研究所21	調査記録、乾式洗浄、固着強化、裏面・木枠清掃殺菌、耳補強、仮張り変形修正、画面洗浄、新調木枠への張り込み、充填整形、TBZ防黴・殺菌ワニス塗布、補彩、画面保護ワニス塗布、額縁修理、額装  修理時に下層から絵画2点が発見された（それぞれ新調木枠に張り込み）	2019年1月20日(日) ～3月31日(日)

## 2018年度 貸出実績

作者名	作品名	展覧会名／会場	会期
中村節也	尾瀬の花	前橋テルサ	2018年4月1日(土)～2019年3月31日(日)
中村節也	アルハン布拉宮殿(スペイン)	前橋テルサ	2018年4月1日(土)～2019年3月31日(日)
深谷徹	赤城山夏	前橋テルサ	2018年4月1日(土)～2019年3月31日(日)
山口薰	沼のある牧場	没後50年 山口薰先生からきみたちへ／高崎市立美術館	2018年9月23日(日・祝)～12月2日(日)
鈴木ヒラク	Constellation #17 Constellation #19	アートみやぎ2019／宮城県美術館	2019年2月23日(土)～4月7日(日)

## 2018年度 収蔵図書

区分	冊数
図書	2,050
展覧会カタログ	3,279
逐次刊行物	3,955
映像資料	28
合計	9,312

# VI

---

## 運営／各事業に関する資料

## VI 運営／各事業に関する資料

### アーツ前橋条例

○アーツ前橋の設置及び管理に関する条例

平成25年6月25日

条例第35号

#### (設置)

第1条 美術を中心とした多様な表現活動を広く市民に紹介し、芸術文化を通じた交流の場を提供するとともに、質の高い芸術文化事業の運営を市民参画により実現し、もって未来へ向けた創造と魅力あるまちづくりを市民とともに推進するため、本市にアーツ前橋を設置する。

#### (名称及び位置)

第2条 アーツ前橋の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 アーツ前橋
- (2) 位置 前橋市千代田町五丁目1番16号

#### (事業)

第3条 アーツ前橋は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 芸術文化に関する作品その他芸術文化に関する資料（以下「作品等」という。）の収集、保管、展示及び閲覧に関すること。
- (2) 作品等の利用に関し、必要な助言及び指導を行うこと。
- (3) 作品等に関する調査、研究及び情報交換を行うこと。
- (4) 多様な芸術に関する展覧会、講演会、公演、研究会等を行うこと。
- (5) 芸術に関する案内書、解説書、年報、調査報告書等を作成し、及び頒布を行うこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、アーツ前橋の設置の目的を達成するために必要なこと。

#### (企画等を行う組織)

第4条 アーツ前橋に市民参画により芸術文化事業の企画、運営及び評価を行うための組織を置く。

2 前項の組織に関し必要な事項は、市長が別に定める。

#### (職員)

第5条 アーツ前橋に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

#### (観覧料)

第6条 アーツ前橋に展示されている作品等を観覧しようとする者（第8条において「観覧者」という。）は、観覧の際、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

#### (特別利用)

第7条 学術研究等のため、アーツ前橋に展示され、又は所蔵されている作品等を閲覧、撮影、模写、模造等（以下これらを「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、アーツ前橋の管理上必要があると認めるときは、前項の規定による特別利用の許可に際し、条件を付することができる。

#### (利用等の制限)

第8条 市長は、観覧者又は特別利用をする者（以下「利用者等」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、アーツ前橋の観覧若しくは特別利用を中止させ、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
  - (2) アーツ前橋の施設、附属設備（第11条において「施設等」という。）又は作品等を汚損、破損又は亡失するおそれがあると認められるとき。
  - (3) その他管理上の支障があると認められるとき。
- 2 市長は、入館者（利用者等を除く。）が前項各号のいずれかに該当するときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

（観覧料の不還付）

第9条 納付した観覧料は、還付しない。ただし、利用者等の責めに帰することができない理由により観覧することができなくなったときは、この限りでない。

（観覧料の減免）

第10条 市長は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

（損害賠償）

第11条 利用者等は、作品等や施設等を汚損し、破損し、又は亡失したときは、原状に回復しなければならない。ただし、原状に回復することができないときは、市長の認定する額を賠償しなければならない。

（委任）

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、市規則で定める。

附則

- 1 この条例は、平成25年7月1日から施行する。
- 2 アーツ前橋の観覧料は、第6条の規定にかかわらず、平成25年10月25日までの間は、無料とする。

別表（第6条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）	
	個人	団体
常設の展示を行っている場合	一般・大学生	100円
	小学生・中学生・高校生	無料
特別の企画による展示を行っている場合	1,500円以内で市長が定める額	

摘要

- 1 「一般・大学生」とは、「小学生・中学生・高校生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「小学生・中学生・高校生」とは、19歳未満の者のうち、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校若しくは特別支援学校に在学する児童若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 4 団体とは、10人以上のものをいう。

## アーツ前橋運営評議会

【委員】

	氏名（五十音順）	所 属
委 員	片 倉 正 彦	旧・前橋文化推進会議委員
委 員 長	小 島 秀 薫	前橋商工会議所組織運営委員長
委 員	佐々木 吉 晴	いわき市立美術館／宇都宮美術館館長
委 員	瀬 谷 ルミ子	国際協力NGO理事長
副委員長	友 岡 邦 之	高崎経済大学地域政策学部教授
委 員	長谷川 秀 子	旧・柏川地区地域づくり協議会食部会部会長
委 員	間々田 博	前橋市立原小学校校長
委 員	黛 若 葉	N P O 法人まえばし農学舎事務局長
委 員	水 沢 勉	神奈川県立近代美術館館長
委 員	結 城 恵	群馬大学教育基盤センター教授

平成31年3月現在

【開催記録】

回	日 程	時 間	場 所	内 容
第20回	7月23日（月）	14:30～17:30	前橋市中央公民館 504学習室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施結果について</li> <li>・事業の進捗状況について</li> <li>・平成29年度決算見込み</li> <li>・開館5年の自己評価と運営について</li> </ul>
第21回	11月26日（月）	14:00～16:30	前橋市中央公民館 502学習室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施結果について</li> <li>・事業の進捗状況について</li> <li>・平成31年度スケジュールについて</li> <li>・5年間の振り返り</li> <li>・委員懇談会（開催前）</li> </ul>
第22回	3月20日（水）	14:30～16:30	前橋市中央公民館 506学習室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施結果について</li> <li>・事業の進捗状況について</li> <li>・前橋市収蔵美術品専門委員会の結果について</li> <li>・平成31年度スケジュール、評議会年間予定について</li> </ul>

## 【設置要綱】（設置）

第1条 アーツ前橋の運営方針や事業計画について意見を聴くため、アーツ前橋運営評議会（以下「評議会」という。）を設置する。

### （組織）

第2条 評議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、識見を有する者のうちから市長が委嘱する。

### （任期）

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### （委員長及び副委員長）

第4条 評議会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総括し、評議会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

### （会議）

第5条 評議会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 評議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 評議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

### （意見の聴取等）

第6条 評議会は、必要があると認めたときは、評議会の会議に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聞くことができる。

### （庶務）

第7条 評議会の庶務は、アーツ前橋において行う。

### （その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、評議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

### 附則

この要綱は、平成25年7月1日から施行する。

この要綱は、平成27年6月16日から施行する。

## アーツ前橋収蔵美術品専門委員会

### 【委員】

氏名	所属(順不同)
染谷 滋	元富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館長
野地 耕一郎	泉屋博古館分館長
武居 利史	府中市美術館 教育普及担当主査
大越 久子	埼玉県立近代美術館 主席学芸主幹

### 【開催記録】

日程	時間	場所
2月6日(水)	13:00~17:00	アーツ前橋2階 会議室ほか

### 【設置要綱】 (設置)

第1条 前橋市の所蔵美術品等(以下「美術品」という。)を適正に取得・収蔵するため、前橋市収蔵美術品専門委員会(以下「専門委員会」という。)を置く。

#### (審議事項)

第2条 専門委員会は、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 美術品の評価に関すること。
- (2) 美術品の選定に関すること。
- (3) その他美術に係る専門的事項に関すること。

#### (組織及び委員)

第3条 専門委員会は、4人以内の委員をもって組織する。

- 2 委員は、美術に関する専門的知識を有する者とし、市長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 4 市長は、必要があるときは専門的分野の案件に関して審議するため、臨時委員を委嘱することができる。

#### (委員長)

第4条 専門委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、会務を総理し、審議の結果を市長に報告する。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

#### (会議)

第5条 会議は、必要に応じ、委員長が招集する。

#### (部会)

第6条 委員会に、必要に応じて部会を置くことができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 専門委員会の庶務は、前橋市文化スポーツ観光部文化国際課アーツ前橋において行う。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、専門委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が専門委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成19年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

## 来館者数統計

2018年度月別来館者数

アーツ前橋総来館者数 103,665

年月	来館者数 (A)	展覧会観覧者数 (C) + (D)			館外イベント 参加者数 (B)	開館日数	展覧会開催日数	
		展示室 (C)		(内) 有料展示室				
2018年 4月	6,146	1,569	1,506	1,184	63	51	26	26
5月	6,791	2,251	2,182	1,635	69	0	26	25
6月	4,175	429	429	0	0	108	26	15
7月	8,064	1,878	1,849	1,195	29	118	27	27
8月	7,569	2,148	2,087	1,483	61	131	26	26
9月	4,858	750	750	325	0	38	26	16
10月	22,919	14,397	13,979	12,995	418	517	26	23
11月	10,718	3,322	3,269	2,688	53	2,232	26	26
12月	10,395	2,368	2,241	1,869	127	3,847	23	23
2019年 1月	8,439	2,776	2,776	2,435	0	75	24	10
2月	6,024	1,984	1,917	1,353	67	382	24	23
3月	7,567	2,730	2,691	2,041	39	709	27	21
合 計	103,665	36,602	35,676	29,203	926	8,208	307	261
								229

### 展覧会別観覧者数

展覧会名	会 期	開催日数 (日)	観覧者数 (人)		
			展示室	展示室外イベント	合計
時をつなぐ アーツ前橋所蔵作品から	2018年6月14日 (木) ~ 9月18日 (火)	84	5,115		5,115
横浜美術館コレクション 昭和の肖像—写真でたどる『昭和』の人と歴史	2018年7月6日 (金) ~ 9月3日 (月)	52	3,003	90	3,093
岡本太郎と『今日の芸術』 絵はすべての人の創るもの	2018年10月5日 (金) ~ 2019年1月14日 (月)	82	22,265	598	22,863
つまずく石の縁 —地域に生まれるアートの現場—	2018年10月12日 (金) ~ 11月4日 (日) の金・土・日	12	2,306		2,306
闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s~2010s	2019年2月2日 (土) ~ 3月24日 (日)	44	3,394	106	3,500
近藤嘉男と憧れのヨーロッパ航路 アーツ前橋所蔵作品から	2019年2月2日 (土) ~ 3月24日 (日)	44	4,608		4,608
合 計			40,691	794	41,485

## 刊行物

### □&Arts アンドアーツ

- 第14号 2018年 8月発行  
A2判 変形折り (仕上がりA5判縦) 3,000部
- 第15号 2018年12月発行  
A2判 変形折り (仕上がりA5判縦) 3,500部
- 第16号 2019年 3月発行  
A1判 変形折り (仕上がりA4判縦) 3,500部

### □アーツ前橋 年報No.05 2017年度 (平成29年度)

A4判 72頁 550部

### □年間スケジュール

21×10cm 20,000部

### □アーツ前橋 ラーニング・プログラムガイド「わたしの中のアートに出会う」

A5判 20頁 2,000部 2018年10月発行

### □アーツ前橋 地域アートプロジェクト記録集 2015-2018ドキュメント

B5判 88頁 1,000部 2019年 3月発行



## 職員名簿 (平成30年4月1日から平成31年3月31日)

館長	住友 文彦
副館長	新保 正夫
副主幹	佐藤 恵司
主任	堺 大輔
主事	高山 あづさ
学芸員	辻 瑞生
学芸員	吉田 成志 (5月31日まで)
学芸員	今井 朋
学芸員	五十嵐 純
学芸員	忠 あゆみ (8月31日まで)
学芸員	山田 歩 (5月1日から)
学芸員	若山 満大 (7月30日から)
学芸員	吉田 絵美 (12月21日から)
嘱託員	榎本 浩子
嘱託員	福西 みゆき (4月17日から)



# 展覧会出品リスト

# 展覧会出品リスト

## 時をつなぐ：アーツ前橋所蔵作品から

NO.	作家名	作品名	制作年／プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
1	南城 一夫	赤城山(月光)	1979年	油彩・キャンバス	54.0×91.0	アーツ前橋
2	田村 清男	利根川	1981年	水彩・紙	79.0×99.0	アーツ前橋
3	田村 清男	老樹のある釣堀	1980年	水彩・紙	79.0×98.8	アーツ前橋
4	高橋 常雄	故郷	1957年	紙本彩色	158.0×115.9	アーツ前橋
5	福田 貂太郎	彩る雲	1980-1983年	油彩・キャンバス	37.9×45.8	アーツ前橋
6	川隅 路之助	風景・広瀬川畔	1952年	油彩・キャンバス	67.7×80.0	アーツ前橋
7	塩原 友子	橋の里	1995年	紙本彩色	162.2×130.4	アーツ前橋
8	石内 都	絹の夢 #1 桐生 2011	2014年	発色現像方式印画	111×74.0	アーツ前橋
9	石内 都	絹の夢 #4 桐生 2011	2012年	発色現像方式印画	111×74.0	アーツ前橋
10	石内 都	絹の夢 #50 桐生 2011	2012年	発色現像方式印画	74×111	アーツ前橋
11	白川 昌生	サチ子の夢	2002年	アクリル、キャンバス、ゼラチンシルバー・プリント、布、ボディ	可変	アーツ前橋
12	小泉 明郎	捕われた声	2014年	シングルレチャンネルビデオインスタレーション	可変	アーツ前橋
13	伊藤 存	みえない土地の建築物／前橋のためのドローイング	2013年	鉛筆・紙	28.0×21.0 6点、 36.4×25.7 7点	アーツ前橋
14	幸田 千依	水路はつづくよどこまでも	2014年	油彩、アクリル・キャンバス	194×324	アーツ前橋

## 横浜美術館コレクション 昭和の肖像写真でたどる「昭和」の人と歴史

NO.	作家名	作品名	制作年／プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
1	福田 勝治	明日待子	1934年	ゼラチン・シルバー・プリント	38.4×33.3	横浜美術館
2	渋谷 龍吉	原 節子	1939年	ゼラチン・シルバー・プリント	30.3×25.5	横浜美術館
3	林 忠彦	原 節子、『わが青春に悔いなし』撮影風景(右から黒沢明、中井朝一) 1946年／1993年	1946年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.5×24.7	横浜美術館
4	林 忠彦	美空 ひばり	1952年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.6×22.9	横浜美術館
5	木村 伊兵衛	高峰 秀子	1956年／1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0×19.5	横浜美術館
6	秋山 庄太郎	ジプシー・ローズ	1952年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.7×42.8	横浜美術館
7	秋山 庄太郎	岸 恵子	1958年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	42.8×30.6	横浜美術館
8	秋山 庄太郎	江波 杏子	1963年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.8×42.8	横浜美術館
9	秋山 庄太郎	加賀 まりこ	1965年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.6×42.8	横浜美術館
10	秋山 庄太郎	司 葉子	1966年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	42.7×26.4	横浜美術館
11	秋山 庄太郎	越路 吹雪	1969年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	42.7×30.5	横浜美術館
12	秋山 庄太郎	浅丘 ルリ子	1969年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	42.8×29.2	横浜美術館
13	秋山 庄太郎	吉永 小百合	1971年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	42.8×28.5	横浜美術館
14	秋山 庄太郎	いしだ あゆみ	1975年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	42.8×30.6	横浜美術館
15	秋山 庄太郎	工藤 静香	1988年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	42.8×28.6	秋山庄太郎氏寄贈 横浜美術館
16	日本工房による[NIPPON]他のためのコンタクトプリント	「芸能」ファイルより3点	1942年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.1×21.0	横浜美術館
19	福田 勝治	宇野 千代	1935年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	25.2×26.9	横浜美術館
20	木村 伊兵衛	志賀 直哉	1937年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.1×19.1	横浜美術館
21	木村 伊兵衛	長谷川 如是閑	1933年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	128.7×22.4	横浜美術館
22	木村 伊兵衛	高田 保	1933年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.7×22.4	横浜美術館
23	木村 伊兵衛	泉 鏡花と里見 弼	1938年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5×29.0	横浜美術館
24	林 忠彦	太宰 治、銀座・酒場<ルパン>	1946年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.7×21.8	横浜美術館
25	林 忠彦	坂口 安吾	1947年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	24.6×27.6	横浜美術館
26	木村 伊兵衛	与謝野夫妻	1950年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0×19.5	横浜美術館
27	木村 伊兵衛	谷崎 潤一郎	1950年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0×19.5	横浜美術館
28	木村 伊兵衛	川端 康成	1951年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.9×19.5	横浜美術館
29	木村 伊兵衛	永井 荷風	1954年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5×29.0	横浜美術館
30	アンリ・カルティエ=ブレッソン	山口 光園、京都	1965年	ゼラチン・シルバー・プリント	35.9×24.2	横浜美術館
31	林 忠彦	志賀 直哉	1948年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.7×24.5	横浜美術館
32	林 忠彦	三島 由紀夫	1951年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.4×21.3	横浜美術館
33	木村 伊兵衛	伊奈 信男	1972年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5×29.0	横浜美術館
34	秋山 庄太郎	司馬 遼太郎	1975年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	42.8×28.6	横浜美術館
35	秋山 庄太郎	松本 清張	1974年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	42.8×28.6	横浜美術館
36	堀 不佐夫	中川 一政	1930-39年	ゼラチン・シルバー・プリント	23.2×18.2	横浜美術館
37	木村 伊兵衛	鏑木 清方	1939年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0×19.5	横浜美術館

NO.	作家名	作品名	制作年／プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
38	木村 伊兵衛	鎌木 清方	1939年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5×29.0	横浜美術館
39	木村 伊兵衛	上村 松園	1939年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0×19.5	横浜美術館
40	木村 伊兵衛	上村 松園	1939年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.3×29.0	横浜美術館
41	木村 伊兵衛	川合 玉堂	1939年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.9×19.4	横浜美術館
42	木村 伊兵衛	川合 玉堂	1939年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5×29.0	横浜美術館
43	木村 伊兵衛	横山 大観	1939年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0×19.3	横浜美術館
44	木村 伊兵衛	横山 大観	1939年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5×29.0	横浜美術館
45	渋谷 龍吉	池田 永一路	1939年	ゼラチン・シルバー・プリント	25.2×30.5	横浜美術館
46	福原 路草	和田 英作画伯 彦根にて	1943年／1982年	ゼラチン・シルバー・プリント	35.0×27.7	福原信和氏寄贈 横浜美術館
47	土門 拳	藤田 瞬治	ca.1942年／1960年	ゼラチン・シルバー・プリント	35.4×27.7	横浜美術館
48	土門 拳	イサム・ノグチ	1950年／1960年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.5×21.8	横浜美術館
49	土門 拳	小林 古径	1951年／1960年	ゼラチン・シルバー・プリント	35.4×27.7	横浜美術館
50	藤本 四八	前田 青邨	1959年／不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	t39.7×54.9	横浜美術館
51	木村 伊兵衛	三岸 節子	1951年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0×19.5	横浜美術館
52	安藤 不二夫	江見 紹子	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	22.5×17.0	安藤博保氏寄贈 横浜美術館
53	安藤 不二夫	井上 良斎	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	42.1×32.6	安藤博保氏寄贈 横浜美術館
54	渋谷 龍吉	熊谷 守一	ca.1963-67	ゼラチン・シルバー・プリント	30.5×25.5	横浜美術館
55	藤本 四八	林 武	1964年／不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	55.3×45.2	横浜美術館
56	秋山 庄太郎	奥村 土牛	1975年／1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	42.8×28.6	横浜美術館
57	堀 不佐夫	ポートレイト 二人	1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	25.3×21.5	横浜美術館
58	渋谷 龍吉	銀座フォトモンタージュ	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	18.1×30.1	横浜美術館
59	渋谷 龍吉	レートクレームの広告	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント	30.3×25.3	横浜美術館
60	桑原 甲子雄	ファッショն	1934年／ca.1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	34.2×41.2	横浜美術館
61	桑原 甲子雄	カマクラ海岸	1934年／ca.1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×45.4	横浜美術館
62	桑原 甲子雄	銀座のレストラン	1936年／ca.1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	30.2×45.5	横浜美術館
63	桑原 甲子雄	街	1938年／ca.1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	30.2×45.5	横浜美術館
64	桑原 甲子雄	街	1937年／ca.1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	43.5×30.2	横浜美術館
65	木村 伊兵衛	紙芝居	1932年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	21.3×25.8	横浜美術館
66	木村 伊兵衛	洋服屋	1933年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.4×28.9	横浜美術館
67	木村 伊兵衛	帽子のクリーニング屋	1933年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.4×24.9	横浜美術館
68	木村 伊兵衛	街の芸人	1933年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.9×19.5	横浜美術館
69	師岡 宏次	東京シリーズ(2点)	1934年	ゼラチン・シルバー・プリント	20.1×29.6	師岡宏次氏寄贈 横浜美術館
70	師岡 宏次	雪の柳橋 人力車(東京隅田川シリーズ)	1937年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.9×26.6	横浜美術館
72	師岡 宏次	東京丸の内シリーズ(3点)	1937年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.7×20.2	師岡宏次氏寄贈 横浜美術館
75	師岡 宏次	東京銀座シリーズ(4点)	1937年	ゼラチン・シルバー・プリント	20.1×29.6	師岡宏次氏寄贈 横浜美術館
79	濱谷 浩	日本髪と洋髪の芸者さん、銀座、東京	1936年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.9×19.9	横浜美術館
80	濱谷 浩	花を売る少年、東京	1936年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.9×19.9	横浜美術館
81	濱谷 浩	下町のこどもたち、東京	1937年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.9×29.9	横浜美術館
82	濱谷 浩	ダンサー、フロリダダンスホール、赤坂、東京	1935年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.9×29.9	横浜美術館
83	桑原 甲子雄	東郷元帥国葬の日	1934年／ca.1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	34.1×45.5	横浜美術館
84	桑原 甲子雄	皇居前(2.26 クーデターの翌日)	1936年／ca.1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	30.2×45.5	横浜美術館
85	桑原 甲子雄	浅草六区	1937年／ca.1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	30.2×45.5	横浜美術館
86	八木 治	空の戦士	1941年／1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	31.3×24.7	横浜美術館
87	林 忠彦	整列する防空女子通信隊	ca.1942年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.4×20.0	横浜美術館
88	林 忠彦	隣組整列	ca.1941年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	21.4×32.5	横浜美術館
89	林 忠彦	整列する女子挺身隊、日本製鋼	ca.1943年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.5×21.3	横浜美術館
90	日本工房による『NIPPON』他のためのコンタクトプリント	「戦時風景」「満州」「工業」ファイルより(7点)	1937-1944年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.1×21.0	横浜美術館
97	—	『NIPPON』第13号、7 第18号、第19号、第29号(復刻版)	1937-42年／2002年	雑誌	36.2×25.6	横浜美術館 美術情報センター蔵
98	—	土門拳 撮影「ガールズ・アンド・グラайдーズ」	1938年／2002年	雑誌	36.2×25.6	横浜美術館 美術情報センター蔵
102	中川 一夫	銀座 1944.9.24	1944-47年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.0×31.9	横浜美術館
107	林 忠彦	煙草をくゆらす戦災孤児、上野	1946年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.4×24.8	横浜美術館
108	林 忠彦	倒壊したビルを家に、東京・江戸川橋	1947年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	24.8×24.6	横浜美術館
109	林 忠彦	焼け跡の母子、東京・高田馬場	1947年22 1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	24.5×24.6	横浜美術館
110	緑川 洋一	原爆ドーム	1951年26 1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	21.6×30.5	横浜美術館
111	緑川 洋一	吳海軍工廠	1951年26 1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	21.6×31.0	横浜美術館
112	緑川 洋一	引き上げられた伊号第179潜水艦	1951年26 1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	20.5×30.5	横浜美術館

NO.	作家名	作品名	制作年／プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
113	浜口 タカシ	人類初の惨禍(4点)	1966年	ゼラチン・シルバー・プリント	36.1×49.6	横浜美術館
117	土田 ヒロミ	ヒロシマ・コレクション(6点)	1979-82年／2016年	インクジェット・プリント	59.4×42.1	土田ヒロミ氏寄贈 横浜美術館
123	木村 伊兵衛	浦上天主堂(長崎)	1953年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5×28.9	横浜美術館
124	木村 伊兵衛	古い洋館(長崎)	1953年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.9×19.4	横浜美術館
125	原田 正路	長崎(6点)	1955-72年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.6×32.6	原田久美子氏寄贈 横浜美術館
131	師岡 宏次	終戦後の天皇、皇后両陛下(東京シリーズ)	1947年	ゼラチン・シルバー・プリント	20.1×29.6	師岡宏次氏寄贈 横浜美術館
132	常盤 とよ子	路上	1954年／1988年	ゼラチン・シルバー・プリント	49.8×35.8	横浜美術館
133	常盤 とよ子	流行歌の合唱	1954年／1988年	ゼラチン・シルバー・プリント	49.8×32.7	横浜美術館
134	常盤 とよ子	待合室	1956年／1988年	ゼラチン・シルバー・プリント	33.4×49.8	横浜美術館
135	常盤 とよ子	追想	1969年／1988年	ゼラチン・シルバー・プリント	33.3×49.8	横浜美術館
136	奥村 泰宏	職を求めてたむろする失業者たち	1949年／1988年	ゼラチン・シルバー・プリント	40.0×39.9	横浜美術館
137	奥村 泰宏	ベビーブーム	1950年／1988年	ゼラチン・シルバー・プリント	40.0×46.7	横浜美術館
138	奥村 泰宏	シューシャインボーイ	1950年／1988年	ゼラチン・シルバー・プリント	40.2×40.0	奥村泰宏氏寄贈 横浜美術館
139	奥村 泰宏	金へん景気	1952年／1988年	ゼラチン・シルバー・プリント	40.0×42.9	奥村泰宏氏寄贈 横浜美術館
140	奥村 泰宏	ザキ裏のこども達	1953年／1988年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.8×49.8	奥村泰宏氏寄贈 横浜美術館
141	林 忠彦	大衆化したナイロン靴下、渋谷	1954年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	21.3×32.5	横浜美術館
142	林 忠彦	職を求める人、飯田橋職業安定所	1953年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.5×21.5	横浜美術館
143	林 忠彦	日劇屋上の踊り子、有楽町	1947年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	24.5×24.5	横浜美術館
144	林 忠彦	樂屋、新宿セントラル劇場	1954年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.5×21.7	横浜美術館
145	林 忠彦	女相撲、浅草	1954年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.4×21.3	横浜美術館
146	林 忠彦	吉原、赤線区域にて	1954年／1993年	ゼラチン・シルバー・プリント	32.4×21.3	横浜美術館
147	福田 勝治	夏の女	1953年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	41.1×33.5	横浜美術館
148	緑川 洋一	薬の配達、船場	1952-53年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	25.0×17.0	緑川洋一氏寄贈 横浜美術館
149	緑川 洋一	社長と専務、船場	1952-53年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	25.1×31.0	緑川洋一氏寄贈 横浜美術館
150	—	『アサヒグラフ』1147号、1148号、1153号	1946年	雑誌	36.4×25.8	美術情報センター蔵
153	—	常盤とよ子 撮影「ヨコハマの特殊女性」「フォトアート」1956年9月号	1956年	雑誌	36.4×35.0	横浜美術館
154	木村 伊兵衛	母と子(東京)	1948年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.9×19.5	横浜美術館
155	木村 伊兵衛	江東界隈(東京)	1953年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.9×20.0	横浜美術館
156	木村 伊兵衛	渋谷	1954年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0×19.5	横浜美術館
157	木村 伊兵衛	月島(東京)	1954年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.4×28.9	横浜美術館
158	木村 伊兵衛	隅田川(東京)	1953年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.4×28.9	横浜美術館
159	木村 伊兵衛	子供たち(六郷町付近)	1952年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.9×19.5	横浜美術館
160	木村 伊兵衛	列車内	1953年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5×29.0	横浜美術館
161	木村 伊兵衛	青年(秋田市仁井田)	1952年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	20.2×29.0	横浜美術館
162	木村 伊兵衛	秋田	1953年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	28.9×19.4	横浜美術館
163	ロバート・キヤバ	東京駅	1954年／1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	30.1×21.0	コーエル・キヤバ氏寄贈 横浜美術館
164	ロバート・キヤバ	昭和通り、尼崎	1954年／1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	33.7×22.0	コーエル・キヤバ氏寄贈 横浜美術館
165	ロバート・キヤバ	浅草寺、東京	1954年／1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	33.5×22.0	コーエル・キヤバ氏寄贈 横浜美術館
166	ロバート・キヤバ	「都をどり」の鑑賞、祇園甲部歌舞練場、京都	1954年／1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	33.5×22.0	コーエル・キヤバ氏寄贈 横浜美術館
167	ロバート・キヤバ	心斎橋筋、大阪	1954年／1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	33.4×22.0	コーエル・キヤバ氏寄贈 横浜美術館
168	ロバート・キヤバ	天理教教会本部、奈良	1954年／1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	33.5×22.1	コーエル・キヤバ氏寄贈 横浜美術館
169	ロバート・キヤバ	親子連れのピクニック、大阪城内	1954年／1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.0×33.4	コーエル・キヤバ氏寄贈 横浜美術館
170	ロバート・キヤバ	写生、大阪城内	1954年／1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	22.0×33.6	コーエル・キヤバ氏寄贈 横浜美術館
171	ロバート・キヤバ	桂川の岸辺で写生する子どもたち、京都	1954年／1985年	ゼラチン・シルバー・プリント	33.5×22.1	コーエル・キヤバ氏寄贈 横浜美術館
172	—	土門 奉 撮影「連作 こども 一浅草の子一」「フォトアート」1955年1月号	1955年	雑誌	25.7×18.4	美術情報センター蔵
173	濱谷 浩	反戦ミュージカル「ヘアー」の稽古、東京	1969年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.9×29.9	横浜美術館
176	浜口 タカシ	大学紛争(3点)	1968年	ゼラチン・シルバー・プリント	36.1×49.6	横浜美術館
179	浜口 タカシ	遅れた終戦(2点)	1972年	ゼラチン・シルバー・プリント	36.1×49.6	横浜美術館
181	浜口 タカシ	成田闘争(4点)	1966-77年	ゼラチン・シルバー・プリント	36.1×49.6	横浜美術館
185	浜口 タカシ	鉄条網の内と外(6点)	1971-72年	ゼラチン・シルバー・プリント	36.1×49.6	横浜美術館
189	須田 一政	わが東京(6点)	1976-77年	ゼラチン・シルバー・プリント	21.5×21.2	横浜美術館
195	木村 伊兵衛	有楽町広場にて	1965年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5×29.0	横浜美術館
196	木村 伊兵衛	上野(東京)	1972年／ca.1984年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.5×28.9	横浜美術館
197	濱谷 浩	年始多忙につきホステスさん急募、東京	1972年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.9×29.9	横浜美術館
198	濱谷 浩	昭和女人集のキャッシャー木下千鶴、福	1976年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.9×19.9	横浜美術館
199	濱谷 浩	駒場祭の優しさいっぱいの東大生パレード、東京	1980年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.9×29.9	横浜美術館
200	濱谷 浩	日本大学三崎祭の応援団行進、東京	1983年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.9×29.9	横浜美術館

NO.	作家名	作品名	制作年／プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
201	濱谷 浩	ディスコアラビアンナイトで踊る芸妓さん、京都	1981年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.9×29.9	横浜美術館
202	濱谷 浩	科学博つくば'85アリーナホステス、茨城	1985年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	29.9×19.9	横浜美術館
203	濱谷 浩	成人の日のマハラジャ大盛況、新潟	1988年／1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	19.9×29.9	横浜美術館
204	石川 真生	沖縄ソウル -フィリピン人ダンサー(6点)	1988-89年／2010年	ゼラチン・シルバー・プリント	27.3×38.1	横浜美術館
210	土田 ヒロミ	ヒロシマ 1945-1979/2005(8点)	1977年, 2005年, 2016年	インクジェット・プリント	42.1×59.4	土田ヒロミ氏寄贈 横浜美術館
218	中平 卓馬	無題(31点)	1967-73年／2003年	ゼラチン・シルバー・プリント 発色現像方式印画	90.0×60.0 (60.0×90.0)	中平卓馬氏寄贈 横浜美術館
253	石内 都	絶唱・横須賀ストーリー(55点)	1977年	ゼラチン・シルバー・プリント	80.0×107.0	横浜美術館
308	荒木 経惟	写狂人日記 '91 1518-8-99	1992年	スライド写真投影用ホックス	120.0×180.0× 21.0	横浜美術館
309-326	金村 修	Keihin Machine Soul(2点)	1996年	ゼラチン・シルバー・プリント	(各)48.0×58.0cm, 18点	横浜美術館
333	森村 泰昌	セルフポートレート(女優) ハラ・セツコとしての私	1996年	エクタカラー・ウルトラII	300.0×250.0	森村修氏寄贈 横浜美術館
334	—	中平卓馬撮影「過激で愛嬌ある表現行為(本物)と (ニセ物)を相手とする美術家・赤瀬川原平」 『アサヒグラフ』1970年3月20日2410	1970年	雑誌	33.4×26.0	横浜美術館 美術情報センター蔵
335	—	中平 卓馬 撮影「梶包する男 クリスト」 『アサヒグラフ』1970年6月5日2423	1970年	雑誌	33.4×26.0	横浜美術館 美術情報センター蔵

## 岡本太郎と『今日の芸術』 絵はすべての人の創るもの

NO. 作者／著者	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
1	— 『今日の芸術 時代を創造するものは誰か』(叢書・考える世代とともに) 光文社	1954年	書籍	—	個人蔵
2	岡本 太郎 『今日の芸術 時代を創造するものは誰か』(カッパ・ブックス) 光文社	1955年	書籍	—	個人蔵
3	岡本 太郎 『新版 今日の芸術 生活を創造するエネルギーの源泉』(カッパ・ブックス) 光文社	1963年	書籍	—	個人蔵
4	岡本 太郎 『今日の芸術』(講談社文庫) 講談社	1954／1974年	書籍	—	個人蔵
5	岡本 太郎 『岡本太郎著作集 1 今日の芸術』講談社	1979年	書籍	—	個人蔵
6	岡本 太郎 『今日の芸術 時代を創造するものは誰か』(知恵の森文庫) 光文社	1999年	書籍	—	個人蔵
7	岡本 太郎 装飾	1954年	油彩・キャンバス	85.0×200.0	個人蔵(東京国立近代美術館寄託)
8	岡本 太郎 犬	1954年	油彩・キャンバス	81.0×117.0	川崎市岡本太郎美術館
9	岡本 太郎 双子座	1974年	油彩・キャンバス	97.0×131.0	川崎市岡本太郎美術館
10	岡本 太郎 遊ぶ子	1954年	油彩・キャンバス	91.0×116.0	川崎市岡本太郎美術館
11	岡本 太郎 赤のイコン	1961年	油彩・キャンバス	194.3×140.3	川崎市岡本太郎美術館
12	— 神吉晴夫・光文社資料	—	—	—	個人蔵
13	高桑 純夫 『哲学入門 見るものから働くものへ』(叢書・考える世代とともに1) 光文社	1953年	書籍	—	個人蔵
14	井村 恒郎 『現代病 おのれを失える人びと』(叢書・考える世代とともに2) 光文社	1953年	書籍	—	個人蔵
15	八杉 龍一 『人間生物学 化学は生命をどう見るか』(叢書・考える世代とともに3) 光文社	1953年	書籍	—	個人蔵
16	三好 十郎 『日本人および日本人 抵抗のよりどころは何か』(叢書・考える世代とともに4) 光文社	1954年	書籍	—	個人蔵
17	岡本 太郎 太陽の鐘(マケット)	2013年	—	68.0×55.0×50.0	日本通運株式会社
18	岡本 太郎 太陽の鐘	1966年	FRP	250.0×200.0×200.0	川崎市岡本太郎美術館
19	— 岡本太郎作・曹洞宗天長山久国寺梵鐘「歓喜の鐘」記録写真	1965年	—	—	川崎市岡本太郎美術館
20	藤本庄介建築設計事務所 『太陽の鐘』設置プロジェクトのための模型	2017-18年	—	—	藤本庄介建築設計事務所
21	— ドキュメント「現代の主役・太陽をつかむ岡本太郎」	1966年	映像	25分	TBS-TV(映像提供)
22	— 岡本太郎プライベートフィルム	撮影年不詳	映像	37分20秒	川崎市岡本太郎美術館
23	岡本 太郎 坐ることを拒否する椅子	1963年	陶	45.0×45.0×45.0	川崎市岡本太郎美術館
24	岡本 太郎 坐ることを拒否する椅子	1963年	陶	45.0×45.0×45.0	川崎市岡本太郎美術館
25	岡本 太郎 坐ることを拒否する椅子	1963年	陶	45.0×45.0×45.0	東京国立近代美術館
26	岡本 太郎 燃える人	1955年	油彩・キャンバス	212.5×308.5	川崎市岡本太郎美術館
27	— 講演会「人間再発見」記録音声(会場 福岡・電気ホール)	1970年7月8日	音声	27分20秒	音声
28	岡本 太郎 憂愁	1947年	油彩・キャンバス	99.0×64.3	月会(東京都現代美術館寄託)
29	岡本 太郎 足場	1952年	油彩・キャンバス	99.0×73.0	月会(東京都現代美術館寄託)
30	岡本 太郎 森の家族	1983年	油彩・キャンバス	146.0×194.0	川崎市岡本太郎美術館
31	岡本 太郎 『OKAMOTO』G.L.M.社	1937年	書籍	—	個人蔵
32	岡本 太郎 『母の手紙』婦人界社	1941年	書籍	—	個人蔵
33	岡本 太郎 『母の手紙』(改訂版) 月曜書房	1950年	書籍	—	個人蔵
34	岡本 太郎 『母の手紙』(新仮名改訂版) 千曲秀出版社	1979年	書籍	—	個人蔵
35	岡本 太郎 『一平 かの子 一心に生きる凄い父母』チクマ秀出版社	1995年	書籍	—	個人蔵
36	岡本 敏子 『岡本太郎がいる』新潮社	1999年	書籍	—	個人蔵
37	岡本 敏子 『岡本太郎に乾杯』新潮社	1997年	書籍	—	個人蔵
38	岡本 かの子 『女体開頭』中央公論社	1943年	書籍	—	個人蔵
39	岡本 かの子 『生々流転』改造社	1940年	書籍	—	個人蔵
40	岡本 太郎 『アヴァンギャルド芸術』美術出版社	1950年	書籍	—	個人蔵

NO.	作者／著者	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横・cm)	所蔵
41	武谷光男・木下順二・ほか共著	『美しい生活のために 新しい藝術鑑賞』(青年新書) 理論社	1951年	書籍	—	個人蔵
42	岡本 太郎	駄々っ子	1975年	油彩・キャンバス	82.0×100.0	川崎市岡本太郎美術館
43	岡本 太郎	マラソン	1964年	油彩・キャンバス	162.5×227.2	川崎市岡本太郎美術館
44	—	岡本太郎による高島屋ショーウィンドウ構成「群像」記録写真	1953年	—	—	川崎市岡本太郎美術館
45	—	岡本太郎による高島屋ショーウィンドウ構成「旅への誘い」記録写真	1953年	—	—	川崎市岡本太郎美術館
46	岡本 太郎	コントルボアン	1935/1954年再制作	油彩・キャンバス	97.5×145.0	東京国立近代美術館
47	岡本 太郎	夜明け	1948年	油彩・キャンバス	181.7×256.5	東京国立近代美術館
48	岡本 太郎	反世界	1964年	油彩・キャンバス	212.5×308.5	東京国立近代美術館
49	岡本 太郎	駄々っ子	1969年	FRP	90.0×160.0×85.0	川崎市岡本太郎美術館
50	岡本 太郎	手一赤	1981年	FRP	168.0×140.0×70.0	川崎市岡本太郎美術館
51	岡本 太郎	手一青	1981年	FRP	168.0×140.0×70.0	川崎市岡本太郎美術館
52	アンリ・マティス	室内・読書	1925年	リトグラフ・紙	27.0×19.4	静岡県立近代美術館
53	ジョアン・ミロ	人物と赤い太陽 I	1950年	リトグラフ・紙	57.5×42.0	静岡県立近代美術館
54	ジョアン・ミロ	森の番人 灰色	1958年	カラー・アクリチント・紙	49.5×32.0	静岡県立近代美術館
55	ジョアン・ミロ	題不詳	1930年	鉛筆・紙	46.5×63.0	静岡県立近代美術館
56	パブロ・ピカソ	海老と水差し	1948年	油彩・キャンバス	50.0×65.0	公爵財团法人大英美術館
57	パブロ・ピカソ	朝日の中の決闘「347シリーズ」224	1968年	エッヂング・紙	12.0×22.0	公爵財团法人大英美術館
58	岡本 太郎	瞬間(デッサン)	1955年	鉛筆・墨・紙	25.6×36.0	川崎市岡本太郎美術館
59	岡本 太郎	未来を覗た	1971年	油彩・キャンバス	113.0×162.0	川崎市岡本太郎美術館
60	岡本 太郎	悲しい動物	1966年	油彩・キャンバス	162.0×227.0	川崎市岡本太郎美術館
61	岡本 太郎	若い闘争	1962年	油彩・キャンバス	182.0×227.0	川崎市岡本太郎美術館
62	岡本 太郎	裂けた顔	1960年	油彩・キャンバス	162.0×130.0	川崎市岡本太郎美術館
63	岡本 太郎	噴火口	1981年	陶	30.0×34.2×32.0	川崎市岡本太郎美術館
64	岡本 太郎	うなづく	1982年	陶	18.5×16.0×40.5	川崎市岡本太郎美術館
65	—	仮面(コートジボワール・パウレ族)	20世紀中期	彩色・木	147.0×73.0×10.5	公爵財团法人大川美術館保管資料
66	—	仮面	制作年不詳	彩色・木	56.0×34.5×8.0	公爵財团法人大川美術館保管資料
67	—	仮面	制作年不詳	金属片・ビーズ・木	22.5×23.0×6.0	公爵財团法人大川美術館保管資料
68	—	仮面(コートジボワール・パウレ族)	制作年不詳	彩色・木	42.5×24.0×7.5	公爵財团法人大川美術館保管資料
69	—	仮面	制作年不詳	銅・アルミ・鉄・麻・木	74.0×19.0×22.0	公爵財团法人大川美術館保管資料
70	—	仮面(マリ共和国・バンバラ族)	制作年不詳	銅・糸・木	37.3×16.5×10.0	公爵財团法人大川美術館保管資料
71	—	仮面(マリ共和国・ドゴン族)	制作年不詳	彩色・木	36.5×16.0×9.0	公爵財团法人大川美術館保管資料
72	岡本 太郎	マスク	1970年	FRP	60.0×65.0×15.0	川崎市岡本太郎美術館
73	岡本 太郎	子供の時間	1975年	FRP	108.0×88.0×15.0	川崎市岡本太郎美術館
74	岡本 太郎	にらめっこ	1978年	油彩・キャンバス	130.0×161.0	川崎市岡本太郎美術館
75	岡本 太郎	遊ぶ	1961年	油彩・キャンバス	182.0×226.5	東京国立近代美術館
76	徳島県鳴門市撫養小学校の6年生児童	ぼくとうさぎ	1966年頃	クレヨン・水彩・紙	37.9×53.8	鳴門市(久保レクション)
77	広島県福山市立手城小学校の6年生児童	工場月景	1966年頃	インク・水彩・紙	37.8×53.8	鳴門市(久保レクション)
78	福井県越前市生武東小学校の6年生児童	工場	1966年頃	水彩・紙	36.9×41.3	鳴門市(久保レクション)
79	小山第一小学校1年生	野球	1954年頃	バステル・紙	21.0×28.9	鳴門市(久保レクション)
80	新しきの今/アリエ所属の小学校5年生児童	海水浴	1960年	水彩・紙	37.8×53.7	鳴門市(久保コレクション)
81	神奈川県立平塚高等学校の6年生児童	氷川丸	1966年	水彩・紙	39.0×54.5	鳴門市(久保コレクション)
82	6歳の児童	風景	1951年頃	水彩・紙	22.8×32.5	鳴門市(久保コレクション)
83	小学校1年生の児童	女の子	1954年頃	バステル・紙	31.2×22.2	鳴門市(久保コレクション)
84	豊田市立第四音楽小学校の6年生児童	題不詳	1960年	水彩・紙	38.3×55.4	鳴門市(久保コレクション)
85	岡本 太郎	海辺の肖像	1973年	油彩・キャンバス	130.0×162.0	川崎市岡本太郎美術館
86	岡本 太郎	縄文人	1982年	FRP	158.0×150.0×120.0	川崎市岡本太郎美術館
87	—	五代伊勢宮遺跡出土 燃町類型土器	縄文時代中期	—	13.0×25.5×25.5	前橋市文化財保護課
88	—	旭久保c遺跡出土 燃町類型土器	縄文時代中期	—	46.5×42.0×39.0	前橋市文化財保護課
89	—	旭久保c遺跡出土 燃町類型土器	縄文時代中期	—	41.0×37.0×36.0	前橋市文化財保護課
90	—	愛宕山遺跡出土 諸機b式土器	縄文時代中期	—	27.5×27.5×26.0	前橋市文化財保護課
91	—	岡本太郎の伝統論に関する書籍	—	—	—	個人蔵
92	岡本 太郎	『日本の伝統』光文社	1964年	書籍	—	個人蔵
93	岡本 太郎	『忘れられた日本』(沖縄文化論) 中央公論社	1961年	書籍	—	個人蔵
94	岡本 太郎	『神秘日本』中央公論社	1964年	書籍	—	個人蔵
95	岡本 太郎	『日本再発見 芸術風土記』	1958年	書籍	—	個人蔵
96	岡本 太郎	撮影 久高島のノロ(沖縄・久高島)	1959年	—	40.0×26.5×2.0	川崎市岡本太郎美術館
97	岡本 太郎	撮影 オシラさま(青森・八戸)	1962年	—	39.0×109.0×0.5	川崎市岡本太郎美術館
98	岡本 太郎	撮影 淡島さま(青森・孫内)	1962年	—	39.0×109.0×0.5	川崎市岡本太郎美術館
99	岡本 太郎	撮影 縄文土器(井戸尻考古館・長野県出土)	1974年	—	73.0×51.5×2.5	川崎市岡本太郎美術館
100	岡本 太郎	撮影 縄文土器(井戸尻考古館・長野県出土)	1974年	—	73.0×51.5×2.5	川崎市岡本太郎美術館
101	岡本 太郎	撮影 縄文土器(東京大学人類学教室・富山県出土)	1956年	—	73.0×51.5×2.5	川崎市岡本太郎美術館
102	岡本 太郎	撮影 土偶(東京国立博物館・群馬県出土)	1956年	—	73.0×51.5×2.5	川崎市岡本太郎美術館
103	岡本 太郎	撮影 縄文土器(東京大学人類学教室・富山県出土)	1956年	—	59.0×39.0×2.2	川崎市岡本太郎美術館
104	岡本 太郎	撮影 縄文土器・文様(国分寺町文化財保存館・北多摩出土)	1956年	—	59.0×39.0×2.2	川崎市岡本太郎美術館
105	岡本 太郎	撮影 なまはげ(秋田・男鹿半島)	1957年	—	59.0×39.0×2.2	川崎市岡本太郎美術館
106	岡本 太郎	撮影 鹿踊り(岩手・花巻温泉)	1957年	—	59.0×39.0×2.2	川崎市岡本太郎美術館
107	岡本 太郎	撮影 大御嶽(沖縄・久高島)	1959年	—	59.0×39.0×2.2	川崎市岡本太郎美術館
108	岡本 太郎	撮影 斎場御嶽(沖縄・知念村)	1959年	—	59.0×39.0×2.2	川崎市岡本太郎美術館

NO.	作者／著者	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
109	岡本 太郎 撮影	イザイホー(沖縄・久高島)	1966年	—	59.0×43.5×2.2	川崎市岡本太郎美術館
110	岡本 太郎 撮影	那智火祭(和歌山・那智勝浦)	1963年	—	59.0×43.5×2.2	川崎市岡本太郎美術館
111	岡本 太郎 撮影	土偶(東京国立博物館、山梨県出土)	1956年	—	40.0×32.5×2.5	川崎市岡本太郎美術館
112	岡本 太郎 撮影	花田植(広島・壬生)	撮影年不詳	—	60.0×90.0×2.8	川崎市岡本太郎美術館
113	岡本 太郎 撮影	縄文土器(井戸尻考古館、長野県出土)	撮影年不詳	—	90.0×60.0×3.0	川崎市岡本太郎美術館
114	尾形 光琳	紅白梅図屏風(複製)	江戸時代18世紀(原本)	紙本金地著色 二曲一双(原本)	各156.0×172.2	MOMA美術館
115	—	明日の神話(東京・渋谷マークシティ)	1969年	—	—	画像提供:川崎市岡本太郎美術館
116	—	太陽の塔(大阪・万博記念公園)	1970年	—	—	画像提供:川崎市岡本太郎美術館
117	—	こどもの樹(東京・旧国立こどもの城)	1985年	—	—	画像提供:川崎市岡本太郎美術館
118	—	マミフラー会館(東京・大田区/現存せず)	1968年	—	—	画像提供:川崎市岡本太郎美術館
119	—	若い時計台(東京・数寄屋橋公園)	1966年	—	—	画像提供:川崎市岡本太郎美術館
120	—	日立マクセルビデオカセットTVC「ピアノ編」「釣鐘編」	1981年	—	1分10秒	—
121	—	日本テレビ「今夜は最高!」	1986年5月10日放送	—	9分10秒	—
122	—	テレビ東京「人に歴史あり」	1976年8月22日放送	—	25分35秒	—
123	—	デューグ「分かれ道編」「やりたい仕事編」	2016年	—	1分00秒	—
124	—	CITIZEN EXCEED「玄関編」「創造の美編」	1986年	—	35秒	—
125	岡本 太郎	太陽の塔(1/50)	1970年	FRP	145.0×128.0×50.0	川崎市岡本太郎美術館
126	—	岡本太郎グッズコレクション	—	—	—	伊藤仁一コレクション
127	立石 大河亞	登呂井富士	1992年	油彩・キャンバス	130.3×162.0	府中市美術館
128	村上 善男	ヴァグースQ	1955年	油彩・キャンバス	91.0×65.0	萬鉄五郎記念美術館
129	高松 次郎	影	1978年	アクリル・キャンバス	97.0×130.0	練馬区立美術館
130	横尾 忠則	夜の会合	1997年	アクリル、油彩・キャンバス	100.0×100.0	川崎市岡本太郎美術館
131	横尾 忠則	岡本桃太郎	1966/2000年再制作	バブルジェットプリント	103.0×72.8	川崎市岡本太郎美術館
132	池田 龍雄	化物の系譜シリーズ 地圧	1955年	インク、鉛筆、水彩・紙	22.00×36.7	山梨県立美術館
133	池田 龍雄	化物の系譜シリーズ 紳士淑女	1955年	インク、コンテ・紙	37.2×28.5	山梨県立美術館
134	池田 龍雄	化物の系譜シリーズ 濡地帯	1956年	インク、コンテ、鉛筆・紙	37.4×28.8	山梨県立美術館
135	池田 龍雄	化物の系譜シリーズ M38X	1958年	インク、コンテ、鉛筆・紙	37.0×29.0	山梨県立美術館
136	池田 龍雄	街A	1959年	インク、コンテ・紙	28.0×36.5	山梨県立美術館
137	池田 龍雄	街B	1959年	インク、コンテ・紙	28.0×36.5	山梨県立美術館
138	池田 龍雄	鉄骨	1959年	油彩・キャンバス	65.2×53.0	アートギャラリー環
139	池田 龍雄	沈めるものたち	1952年	油彩・キャンバス	53.0×65.2	アートギャラリー環
140	池田 龍雄	海辺にて	制作年不詳	コンテ、鉛筆・紙	15.8×23.8	アートギャラリー環
141	池田 龍雄	フォルム	1951年	コラージュ	30.0×32.0	アートギャラリー環
142	赤瀬川 原平	模型千円札	1963年	活版印刷・紙	①7.4×16.1 ②7.6×17.1 ③29.3×19.3 ④7.4×16.1	府中市美術館
143	金子 英彦	「有罪?」赤瀬川原平千円札裁判	1967年	アクリル・キャンバス	80.3×65.2	アーツ前橋
144	篠原 有司男	英名二十八衆句	1965年	螢光塗料、ラッカー・合板	182.5×457.5	足利市立美術館(浅川コレクション)
145	北代 省三	少女と太陽	1948/1989年再制作	油彩・キャンバス	72.7×91.0	川崎市岡本太郎美術館
146	北代 省三	スペース・モデュレーター	1956/1992年再制作	木、和紙	32.8×100.9	川崎市岡本太郎美術館
147	ヤノベケンジ	太陽の塔乗っ取り計画	2003年	シングルチャンネルビデオ	18分30秒	作家蔵
148	篠原 有司男	オートバイ	1992年	ポリエチル樹脂・カードボード	110.0×95.0×60.0	足利市立美術館(浅川コレクション)
149	関口 光太郎	SUNTOWER 2020 / MAKET	2018年	ガムテープ、段ボール、木材	610.0×300.0×200.0	作家蔵
150	岡本 太郎	手の椅子	1967年	FRP	120.0×70.0×90.0	川崎市岡本太郎美術館
151	岡本 太郎	ひもの椅子	1967年	木、ロープ	92.0×55.0×60.0	川崎市岡本太郎美術館
152	岡本 太郎	ひもの椅子	1967年	木、ロープ	92.0×55.0×60.0	川崎市岡本太郎美術館
153	岡本 太郎	花びらの椅子	1970年	FRP	80.0×115.0×10.0	川崎市岡本太郎美術館
154	—	メキシコ・ヒガンテのアトリエにて	1968年撮影	—	51.5×72.8×2.18	川崎市岡本太郎美術館
155	—	岡本太郎ポートレイト	撮影年不詳	—	100.0×150.0×3.0	川崎市岡本太郎美術館
156	—	カメラを持つ岡本太郎	撮影年不詳	—	40.0×32.5×3.0	川崎市岡本太郎美術館
157	伊藤 整	『女性に関する十二章』中央公論社	1954年	書籍	—	—
158	エセル・ローゼンバーグ ジュリアス・ローゼンバーグ著、山田晃 訳	『愛は死を越えて 一ローゼンバーグの手紙』光文社	1953/1954年	書籍	—	—
159	三島 由紀夫	『潮験』長篇書下し叢書4 新潮社	1954年	書籍	—	—
160	伊藤 整	『火の鳥』光文社	1953/1954年	書籍	—	—
161	佐藤 弘人	『はだか隨筆』中央経済社	1954/1955年	書籍	—	—
162	安田 徳太郎	『人間の歴史(第4)光は東方から』光文社	1954年	書籍	—	—
163	伊藤 整	『文学入門』(カッパ・ブックス)光文社	1954年	書籍	—	—
164	丹羽 文雄	『小説作法』文藝春秋新社	1954年	書籍	—	—
165	笠信 太郎 他	『新聞の読み方に関する十二章』中央公論社	1954年	書籍	—	—
166	セルル・サン・ローラン著、松尾 邦之助 訳	『カローラス』講書房	1954年	書籍	—	—
167	佐藤 弘人	『はだか隨筆』中央経済社	1954/1955年	書籍	—	—
168	望月 衛	『欲望 その底にうごめく心理』(カッパ・ブックス)光文社	1955年	書籍	—	—
169	渡辺 一夫	『隨筆 うらなり抄 おへその微笑』光文社	1955年	書籍	—	—
170	石川 達三	『不安の倫理』(ミリオンブックス)講談社	1955/1961年	書籍	—	—
171	福島 慶子	『うちの宿六』(文藝春秋新社)	1955/1958年	書籍	—	—
172	安田 徳太郎	『日本人の歴史(第1)万葉集の謎』(カッパ・ブックス)光文社	1955/1960年	書籍	—	—
173	遠山茂樹・今井清一著、藤原彰	『昭和史』(岩波新書)岩波書店	1955年	書籍	—	—
174	本多 顕彰	『指導者 ここの人びとをよ』(カッパ・ブックス)光文社	1955年	書籍	—	—
175	石川 達三	『自分の穴の中で』新潮社	1955/1956年	書籍	—	—

NO.	作者／著者	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
176	占部 都美	『危ない会社 あなたのところも例外でない』(光文社カッパビジネス) 光文社	1963年	書籍	—	
177	佐藤 得二	『女のいくさ』二見書房	1963年	書籍	—	
178	山岡 庄八	『徳川家康 1 出世乱離の巻』講談社	1953/1965年	書籍	—	
179	井上 清	『日本の歴史 上巻』(岩波新書) 岩波書店	1963年	書籍	—	
180	ドストエフスキイ 著、池田健太郎 訳	『世界の文学 16 ドストエフスキイ 罪と罰』中央公論社	1963年	書籍	—	
181	猪木 正文	『数式を使わない 物理学入門 アインシュタイン以後の自然探検』(カッパ・ブックス) 光文社	1963年	書籍	—	
182	ジョイ・アダムソン 著、藤原 英司 訳	『わわたしのエルザ』文藝春秋新社	1963年	書籍	—	
183	郡司 利男	『カッパ特製 国語笑字典』光文社	1963年	書籍	—	
184	岡 潔	『春宵十話』毎日新聞社	1963年	書籍	—	
185	湯川 秀樹	『本の中の世界』(岩波新書) 岩波書店	1963年	書籍	—	
186	小松 左京	『日本沈没(上)』(カッパ・ノベルス) 光文社	1973年	書籍	—	
187	遠藤 周作	『ぐうたら人間学』講談社	1972/1973年	書籍	—	
188	渡辺 正	『にんにく健康法 なぜ効く、なに効く、どう食べる』(カッパ・ホームズ) 光文社	1973年	書籍	—	
189	山崎 豊子	『華麗なる一族 上巻』新潮社	1973年	書籍	—	
190	司馬 遼太郎	『国盗り物語 前編 一齋藤道三』新潮社	1967/1972年	書籍	—	
191	有吉 佐和子	『恍惚の人 純文学書き下ろし特別作品』新潮社	1972年	書籍	—	
192	糸山 英太郎	『怪物商法 一常識をぶち破る』ベストセラーズ	1973年	書籍	—	
193	遠藤 周作	『ぐうたら愛情学』講談社	1973年	書籍	—	
194	遠藤 周作	『ぐうたら交遊録』講談社	1973年	書籍	—	
195	渡辺 淳一	『無影燈』毎日新聞社	1972/2001年	書籍	—	
196	和泉 宗章	『算命占星術入門 一自分を知りつくす中国最高の占法』(プレイブックス) 青春出版社	1978/1979年	書籍	—	
197	和泉 宗章	『算命占星学(2) 天中殺入門』(プレイブックス) 青春出版社	1979年	書籍	—	
198	五木 寛之	『四季・奈津子 上巻』集英社	1979/1980年	書籍	—	
199	長谷川 町子	『サザエさんのうちあけ話』姉妹社	1979年	書籍	—	
200	エズラ・F・ヴォーグル 著、広中 和歌子 訳、木本 彩子 訳	『ジャパン アズ ナンバーワン アメリカへの教訓』TBSブリタニカ	1979年	書籍	—	
201	松山 千春	『足寄より 一激白23年』小学館	1979/1981年	書籍	—	
202	見延 典子	『もう頬づえはつかない』講談社	1978/1979年	書籍	—	
203	ノリス・マクブーアー 編、青木栄一 訳	『ギネスブック 世界記録辞典 79年度版』講談社	1978年	書籍	—	
204	司馬 遼太郎	『胡蝶の夢(一)』新潮社	1979年	書籍	—	
205	阿川 弘之	『米内光政 上巻』新潮社	1978年	書籍	—	
206	乙武 洋匡	『五体不満足』講談社	1998年	書籍	—	
207	大野 晋	『日本語練習帳』岩波書店	1999年	書籍	—	
208	スタジオペントスタッフ 編	『ファイナルファンタジーVIII アルティマニア』デジキューブ	1999年	書籍	—	
209	桐生 操	『本当は恐ろしいグリム童話』ベストセラーズ	1998/1999年	書籍	—	
210	大川 隆法	『繁栄の法 一未来をつくる新パラダイム』幸福の科学出版	1999年	書籍	—	
211	株式会社デジキューブ 発行	『スクウェア公式 ファイナルファンタジーVII 最速攻略本 for beginners』デジキューブ	1999年	書籍	—	
212	池田 大作	『新・人間革命 第4巻』聖教新聞社	1999年	書籍	—	
213	リチャード・カーラソン 著、小沢謙輔 訳	『小さいことにくよくよするな! 一しょせん、すべては小さなこと』サンマーク出版	1998年	書籍	—	
214	後藤 道夫	『子どもにウケる科学手品77』講談社	1998/1999年	書籍	—	
215	山崎 れい子	『節約生活のススメ』飛鳥新社	1999年	書籍	—	

## 闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s—2010s

NO.	作家名／著者名	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
1	ケーテ・コルヴィッツ	カール・リープクネヒト追悼	1919-20年	木版・紙	35.4×49.7	福岡市美術館
2	ケーテ・コルヴィッツ	寡婦I (連作『戦争』-4)	1922/23年	木版・紙	36.5×24.5	福岡市美術館
3	—	『ケーテ・コルヴィッツ画集』	1939/40年	—	22.1×19.0	個人蔵
4	—	『ケーテ・コルヴィッツ版画選集』	1936年	—	26.5×19.0	個人蔵
5	—	『北斗』創刊号 (第1巻第1期)	1931年	—	25.0×19.0	首都大学東京図書館
6	新海 覚雄	『ケーテ・コルヴィッツ その時代・人・藝術』	1950年	—	18.7×13.4	個人蔵
7	フラン・マズレール	『木刻連環図画故事 私の懺悔』	1933年	—	15.4×11.8	漫画資料室MORI
8	フラン・マズレール	『木刻連環図画故事 光明の追求』	1933年	—	15.4×11.8	漫画資料室MORI
9	フラン・マズレール	『木刻連環図画故事 文字のないお話』	1933年	—	15.5×11.8	漫画資料室MORI
10	フラン・マズレール	『木刻連環図画故事 ある人の受難』	1933年	—	15.5×11.8	漫画資料室MORI
11	カール・メッフェルト	小説『セメントの図』(木刻10点) [影印本]	1931年	—	38.4×24.2	福岡市総合図書館
12	—	『引玉集』(影印本)	1934年	—	19.6×15.5	福岡市総合図書館
13	—	『ソ連版画新集 油彩画・彫刻付き』	1936年	—	18.6×12.8	福岡市総合図書館
14	—	『ソ連版画集』	1936年	—	22.3×16.8	個人蔵
15	チェン・バオジエン (陳 蔡真)	新しい市政府での双十節	1933年	木版・紙	17.9×16.3	神奈川県立近代美術館
16	ホアン・シャンディン (黄 山定) [ホワン・リアオホワ (黄 聊華)]	厭戦兵士	1931年	木版・紙	19.5×15.5	神奈川県立近代美術館
17	チェン・ティエゴン (陳 鉄耕)	逮捕される	1931年	木版・紙	19.2×19.2	神奈川県立近代美術館
18	チェン・バオジエン (陳 蔡真)	光は頭上に	1932年	木版・紙	19.9×12.3	神奈川県立近代美術館
19	チェン・イエンチアオ (陳 煙橋)	受難者の怒れる叫び	1933年	木版・紙	17.5×19.7	神奈川県立近代美術館
20	ジャン・ワン (張 望) [ジャン・ヂーピン (張 致平)]	出口は…	1933年	木版・紙	22.4×14.1	神奈川県立近代美術館
21	ルオ・チンジェン (羅 清楨)	三人の農婦 (『清楨木刻画』第3集2)	1935年	木版・紙	16.6×13.1	町田市立国際版画美術館
22	ルオ・チンジェン (羅 清楨)	街灯の下で (『清楨木刻画』第3集19)	1935年	木版・紙	12.2×10.9	町田市立国際版画美術館
23	ルオ・チンジェン (羅 清楨)	どこへ行こうか	1933年	木版・紙	18.0×15.3	神奈川県立近代美術館
24	ジョン・ブーチン (鍾 歩清)	かまと作り	1933年	木版・紙	14.5×11.5	神奈川県立近代美術館
25	ジョン・ブーチン (鍾 歩清)	妊婦	1933年	木版・紙	19.3×13.3	神奈川県立近代美術館
26	ジョン・イエフー (鄭 野夫)	連環画『水害』1 洪水	1932年	木版・紙	13.5×17.0	神奈川県立近代美術館
27	ジョン・イエフー (鄭 野夫)	連環画『水害』4 野宿	1932年	木版・紙	13.4×17.5	神奈川県立近代美術館
28	ジョン・イエフー (鄭 野夫)	連環画『水害』7 みんなで工事を	1932年	木版・紙	13.4×17.5	神奈川県立近代美術館
29	ジョン・イエフー (鄭 野夫)	連環画『水害』8 仕事	1932年	木版・紙	14.0×17.4	神奈川県立近代美術館
30	ジョン・イエフー (鄭 野夫)	連環画『水害』11 反抗	1932年	木版・紙	13.7×17.1	神奈川県立近代美術館
31	ジョン・イエフー (鄭 野夫)	連環画『水害』12 決戦	1932年	木版・紙	13.2×17.0	神奈川県立近代美術館
32	ジョン・イエフー (鄭 野夫)	連環画『水害』15 請願	1932年	木版・紙	13.9×17.5	神奈川県立近代美術館
33	ジョン・イエフー (鄭 野夫)	連環画『水害』16 貢徹	1932年	木版・紙	13.9×17.2	神奈川県立近代美術館
34	—	『現代版画』第7集 現代版画会 (広州)	1935年	木版・紙	23.5×20.5	漫画資料室MORI
35	—	『現代版画』第10集 (料治熊太旧蔵) 現代版画会 (広州)	1935年	木版・紙	23.5×20.2	町田市立国際版画美術館
36	—	『現代版画』第10集 (小野忠重旧蔵) 現代版画会 (広州)	1935年	木版・紙	23.5×20.2	町田市立国際版画美術館
37	—	『現代版画』第9集 現代版画会 (広州)	1935年	木版・紙	23.2×20.2	町田市立国際版画美術館
38	—	『現代版画』第15集 (料治熊太旧蔵) 現代版画会 (広州)	1936年	木版・紙	28.8×24.6	町田市立国際版画美術館
39	—	『現代版画』第15集 (小野忠重旧蔵) 現代版画会 (広州)	1936年	木版・紙	28.8×24.6	町田市立国際版画美術館
40	—	『現代版画』第14集 現代版画会 (広州)	1935年	木版・紙	27.4×23.7	町田市立国際版画美術館
41	—	『現代版画』第16集 現代版画会 (広州)	1936年	木版・紙	27.8×23.1	町田市立国際版画美術館
42	—	『現代版画』第18集 現代版画会 (広州)	1936年	木版・紙	27.3×24.8	町田市立国際版画美術館
43	—	『現代創作版画研究会第2回半年展覧会図録』	1935年	—	17.8×75.6	漫画資料室MORI
44	—	『木刻界』1 現代版画会 (広州)	1936年	—	26.1×19.4	漫画資料室MORI
45	—	『木刻界』2 現代版画会 (広州)	1936年	—	26.5×19.4	漫画資料室MORI
46	—	『木刻界』3 現代版画会 (広州)	1936年	—	26.0×19.0	漫画資料室MORI
47	—	『木刻界』4 現代版画会 (広州)	1936年	—	26.5×19.4	漫画資料室MORI
48	—	『大公報』全国木刻連展特集	1935年	—	50.4×37.1	漫画資料室MORI
49	—	『第2回全国木刻流動展覧会端刊』	1936年	—	50.5×48.0	漫画資料室MORI
50	ブー・チーザオ (胡 其藻)	『現代版画連環木刻2 平凡な出来事』	1935年	—	19.2×15.0	漫画資料室MORI
51	ライ・シャオチー (賴 少麒) リン・シャオルン (林 紹倫)	『我らに自己を与える』広州青年作者美術会	1935年	—	18.8×13.3	漫画資料室MORI

NO.	作家名／著者名	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
52	ドワン・ガンチン(段 幹青)	『幹青木刻初集』	1935年	—	25.5×19.8	漫画資料室MORI
53	ワン・レンフォン(汪 刃鋒)	『刃鋒木刻集』	1936年	—	20.5×14.5	福岡市総合図書館
54	—	『鉄流版画集 第一集』上海鉄流漫画木刻研究社	1941年	—	24.8×17.5	漫画資料室MORI
55	—	『抗戦八年木刻選集』(初版) 中華全国木刻協会	1946年	—	20.0×14.0	漫画資料室MORI
56	—	『木刻芸術』1 中華全国木刻協会	1946年	—	25.0×17.7	個人蔵
57	—	『木刻芸術』2 中華全国木刻協会	1946年	—	24.9×17.9	個人蔵
58	—	『時代批評』	1958年	—	25.7×19.0	個人蔵
59	ホアン・ロンツアン(黃榮燦)	恐怖の検査(台湾二・二八事件)	1947年	木版・紙	14.0×18.3	神奈川県立近代美術館
60	—	『プロレタリア美術』日本プロレタリア美術家同盟	1931年	—	39.5×22.2	飯野農夫也画業保存会 (内山嘉吉旧蔵)
61	—	『日本プロレタリア美術集』日本プロレタリア美術家同盟	1931年	—	25.5×18.9	個人蔵
62	—	街上労働	1930年	木版・紙	33.3×39.5	飯野農夫也画業保存会 (内山嘉吉旧蔵)
63	高森 捷三	『形成画報』創刊号 形成画報社(岡田龍夫)	1928年	—	47.0×31.5	町田市立国際版画美術館
64	小野 忠重	患者控室	1932年	木版・紙	32.4×23.8	東京国立近代美術館
65	小野 忠重	生糸輸出	1932年	木版・紙	31.7×40.7	東京国立近代美術館
66	—	出棺	1930年	木版・紙	28.6×39.9	小野近士
67	—	『爆竹』7号	1930年	木版・紙	26.7×20.0	小野近士
68	—	『爆竹』7号	1930年	木版・紙	26.7×20.0	飯野農夫也画業保存会
69	勝木 貞夫	メーデー	1930年	木版・紙	19.5×27.5	小野近士
70	鈴木 賢二	青年祖国戦線に結集せよ!(『うたごえ』13号)	1950年	木版・紙	23.8×12.0	町田市立国際版画美術館
71	鈴木 賢二	「首切り全面テッカイ!」ポスター	1950年	木版・紙	54.5×37.5	町田市立国際版画美術館
72	新居 広治	高萩にて2	1950年	木版・紙	24.3×33.2	栃木県立美術館
73	新居 広治	高萩にて1	1950年	木版・紙	24.5×23.7	栃木県立美術館
74	新居 広治	流れ弾(基地農民)	1955年	木版(多色)・紙	30.3×41.6	飯野農夫也画業保存会
75	上野 誠	ケロイド症者の原水爆戦防止の訴え	1955年	木版・紙	61.0×103.0	栃木県立美術館
76	上野 誠	1932年メーデー	1948年	木版・紙	27.3×44.8	神奈川県立近代美術館
77	上野 誠	メーデー	1952年	木版・紙	15.3×21.3	神奈川県立近代美術館
78	上野 誠	ポスター「山びこ学校」	1952年	—	38.2×52.0	神奈川県立近代美術館
79	上野 誠	ポスター「平和を守る 原爆展」	1952年	—	108.6×76.5	神奈川県立近代美術館
80	飯野 農夫也	開拓地にて	1947年	木版・紙	23.2×30.3	飯野農夫也画業保存会
81	飯野 農夫也	煙草を吸う人	1948年	木版・紙	31.2×19.5	飯野農夫也画業保存会
82	飯野 農夫也	麦刈り群像	1940年	木版・紙	23.8×34.5	飯野農夫也画業保存会 (内山嘉吉旧蔵)
83	飯野 農夫也	秋と農民 村の人(裸供出)	1948年	木版・紙	17.5×24.5	飯野農夫也画業保存会
84	飯野 農夫也	濡れた稻束	1954年	木版・紙	38.1×23.4	飯野農夫也画業保存会
85	—	『刻画』1	1947年	—	28.5×21.7	飯野農夫也画業保存会
86	—	『刻画』2	1947年	—	29.8×22.5	飯野農夫也画業保存会
87	—	『刻画』2	1947年	—	29.8×22.5	飯野農夫也画業保存会
88	—	『刻画』3	1948年	—	28.6×21.5	飯野農夫也画業保存会
89	—	『刻画』3	1948年	—	28.6×21.5	飯野農夫也画業保存会
90	—	『版画運動通信』1 日本版画運動協会	1951年	—	36.4×27.0	飯野農夫也画業保存会
91	—	『版画運動通信』2 日本版画運動協会	1951年	—	38.0×27.4	飯野農夫也画業保存会
92	—	『版画運動通信』3 日本版画運動協会	1951年	—	37.1×28.5	飯野農夫也画業保存会
93	—	『日本版画新聞』8 日本版画運動協会	1952年	—	38.0×27.1	飯野農夫也画業保存会
94	—	『日本版画新聞』10 日本版画運動協会	1952年	—	38.0×27.1	漫画資料室MORI
95	—	『日本版画新聞』9 日本版画運動協会	1952年	—	38.0×27.2	漫画資料室MORI
96	—	『版画運動』創刊号 日本版画運動協会	1949年	—	25.0×17.9	漫画資料室MORI
97	—	『版画運動』第2号 日本版画運動協会	1950年	—	25.8×18.2	漫画資料室MORI
98	—	『版画運動』第26号 日本版画運動協会	1956年	—	25.3×18.3	小口一郎研究会
99	—	『版画運動』第27号 日本版画運動協会	1956年	—	24.6×17.4	小口一郎研究会
100	—	『第1回日本版画運動展』 日本版画運動協会	1950年	—	18.9×13.6	漫画資料室MORI
101	—	「新中国と日本の版画展」ポスター 日本版画運動協会	発行年不詳	—	28.0×26.1	飯野農夫也画業保存会
102	押仁太(新居 広治、滝平 二郎、牧 大介)	花岡ものがたり 中日友好協会文化部	1951年	—	18.3×12.7	個人蔵
103	—	「中華民国 初期創作版画展覧会」(神戸展) パンフレット	1947年	—	18.0×12.7	漫画資料室MORI
104	—	「中華民国 初期創作版画展覧会」(大阪展) パンフレット	1947年	—	18.6×12.9	飯野農夫也画業保存会 (内山嘉吉旧蔵)
105	—	「現代中日版画展」解説	1948年	—	18.0×12.5	飯野農夫也画業保存会
106	—	「逝世13周年 魯迅祭」プログラム	1947年	—	13.0×9.1	飯野農夫也画業保存会
107	—	「中国の木刻」チラシ(三越) 中日文化研究所	1947年	—	16.3×31.9	飯野農夫也画業保存会
108	—	「中国木版画展覧会」(中国留日同学總会ホール) チラシ	1949年	—	18.0×22.5	飯野農夫也画業保存会

NO.	作家名／著者名	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
109	—	『新しいばらき』日刊記念「中国版画展」パンフレット	1956年	—	35.2×18.4	飯野農夫也画業保存会
110	リー・ホワ(李 権)	秋	1948年	木版・紙	18.9×26.1	飯野農夫也画業保存会
111	ワン・レンフォン(汪 刃鋒)	新たなる流離	1948年	木版・紙	16.9×30.8	飯野農夫也画業保存会
112	ワン・レンフォン(汪 刃鋒)	嘉陵江の舟引き(版本)	1943年	—	25.0×17.9	漫画資料室MORI
113	—	華文『大阪毎日』	1943年	—	25.8×18.0	漫画資料室MORI
114	—	『版画文化』神戸華僑新集体版画協会	1946年	—	36.5×25.5	飯野農夫也画業保存会
115	—	中国の木刻画『サンデー毎日』	1948年	—	25.8×18.0	漫画資料室MORI
116	—	中国の木刻画『サンデー毎日』	1948年	—	25.8×18.0	福岡市総合図書館
117	—	島田政雄『嵐に立つ中國文化』	1948年	—	18.2×12.6	個人蔵
118	—	『中国資料』3	1947年	—	25.7×17.9	漫画資料室MORI
119	—	『中国資料』3	1947年	—	25.7×17.9	漫画資料室MORI
120	リー・ホワ(李 権)	木偶人(『中国木刻集』中日文化研究所)	1950年	木版・紙	18.2×14.7	個人蔵
121	—	『日本人民版画集』	1951年	—	20.5×16.5	個人蔵
122	飯島 俊一	アジアの子供たち(版画集『アジアの朝』財団法人アジア文化図書館)	1957年	木版・紙	9.0×11.9	漫画資料室MORI
123	飯島 俊一	アジア文化図書館(版画集『アジアの朝』財団法人アジア文化図書館)	1957年	—	19.3×27.2	漫画資料室MORI
124	奥村 真知子	おともだち(版画集『アジアの朝』財団法人アジア文化図書館)	1957年	—	16.6×23.8	漫画資料室MORI
125	リー・シャオイエン(李少言)、ニウ・ウェン(牛文)共作	解放を喜ぶ西藏高原の人々(財団法人アジア文化図書館 版画集)	1957年	—	14.6×22.5	漫画資料室MORI
126	チッタプロサド	オラオン族(版画集『アジアの朝』財団法人アジア文化図書館)	1957年	—	19.4×25.6	漫画資料室MORI
127	ウイダヤト	マーケットにて(版画集『アジアの朝』財団法人アジア文化図書館)	1957年	—	20.0×14.5	漫画資料室MORI
128	菊池 三郎	『働くものの美術 木刻のつくり方』全日本金属産業労働組合協議会文化部	1949年	—	18.2×12.5	飯野農夫也画業保存会
129	—	メーデーブラカードのつくり方 日本版画運動協会 表紙	1948年	—	21.3×13.4	漫画資料室MORI
130	—	メーデーブラカードのつくり方 日本版画運動協会「戦争反対」	1948年	—	17.3×13.1	漫画資料室MORI
131	—	メーデーブラカードのつくり方 日本版画運動協会「再軍備反対」	1948年	—	17.6×12.4	漫画資料室MORI
132	—	『職場版画集 手押車』第3集 八幡製鉄所美術サークル 版画グループ	1951年	—	26.7×19.2	漫画資料室MORI
133	—	『夜明けの子ら 生活版画と絵方集』恵那綴方の会(編集)	1952年	—	18.9×17.8	福岡市総合図書館
134	—	『百姓のうた アンテナの子らの版画集』山形県児童文化研究会	1955年	—	30.2×20.6	漫画資料室MORI
135	—	『版画集 第2集』京浜絵の曾版画部	1955年	—	26.2×18.3	漫画資料室MORI
136	—	『生活版画集(普及版)』京浜絵の会・南部文化集団	1955年	—	26.0×18.1	漫画資料室MORI
137	—	『ていへん詩集』15集 ていへん詩の会	1967年	—	26.0×18.0	漫画資料室MORI
138	—	『労働者の絵』No.3 関西労働者美術集団・大谷製鋼文化工作隊	1955年	—	25.6×17.9	漫画資料室MORI
139	—	『地下戦線』創刊号	1953年	—	27.1×19.1	田川市美術館
140	—	『地下戦線』第2号	1953年	—	27.3×19.0	田川市美術館
141	—	『地下戦線』第3号	1953年	—	27.2×19.1	田川市美術館
142	—	『地下戦線』第4号	1953年	木版・紙	27.2×19.0	田川市美術館
143	千田 梅二	安全灯をもつ坑夫(『地下戦線』第5号にはさみこまれた版画)	1954年	木版・紙	26.2×20.9	田川市美術館
144	千田 梅二	えばなし せんぶりせんじが笑った!(おはなし 上野英信)	1954年	—	24.3×17.6	福岡市総合図書館
145	千田 梅二、上野 英信	『レボルタージュ日本の証言7せんぶりせんじが笑った!』	1955年	—	17.7×10.5	個人蔵
146	—	『サークル村』創刊号 九州サークル研究会	1958年	木版・紙	21.3×15.2	福岡市総合図書館
147	上田 博	歓待(『月刊たかまつ』第1号 日炭高松美術文学サークル協議会)	1956年	木版・紙	24.2×38.0	福岡市総合図書館
148	上田 博	題不詳(『月刊たかまつ』第3号 日炭高松美術文学サークル協議会)	1957年	木版・紙	19.3×14.1	福岡市総合図書館
149	布川 済	坑夫像(『月刊たかまつ』第2号 日炭高松美術文学サークル協議会)	1956年	木版・紙、木パネル	13.9×9.2	福岡市総合図書館
150	栃木美術会	どちら版画小品集1	1966年	木版・紙、木パネル	36.9×91.5	小口一郎研究会
151	栃木美術会	どちら版画小品集2	1966年	—	36.5×91.4	小口一郎研究会
152	原 豊孝	花(『版画通信』1 奥久慈版画会)	1947年	—	18.0×11.8	飯野農夫也画業保存会
153	保坂 義三	人物(『版画通信』1 奥久慈版画会)	1947年	—	20.0×13.0	飯野農夫也画業保存会
154	—	『文化タイムズ』日本民主主義文化連盟	1947年	—	50.8×36.5	漫画資料室MORI
155	小口 一郎	野に叫ぶ人々 タイトル	1968年	木版・ボスター・カラー・紙	52.6×66.3	小口一郎研究会
156	小口 一郎	野に叫ぶ人々(序文)	1968年	木版・ボスター・カラー・紙、木パネルにマウント	61.0×74.0	小口一郎研究会
157	小口 一郎	野に叫ぶ人々—2 自然に恵まれた豊かな農村	1961/1968年	木版・ボスター・カラー・紙、木パネルにマウント	61.4×74.6	小口一郎研究会
158	小口 一郎	野に叫ぶ人々—9 農民代表足尾に向かう	1961/1968年	木版・ボスター・カラー・紙、木パネルにマウント	61.2×74.6	小口一郎研究会
159	小口 一郎	野に叫ぶ人々—14 請願	1961/1968年	木版・ボスター・カラー・紙、木パネルにマウント	60.9×74.2	小口一郎研究会
160	小口 一郎	野に叫ぶ人々—16 三期の毒野	1961/1968年	木版・紙	60.9×74.2	小口一郎研究会
161	小口 一郎	野に叫ぶ人々—8 鉛毒被害を調査(版画)	1961年	木版・ボスター・カラー・紙、木パネルにマウント	43.0×61.1	小口一郎研究会
162	小口 一郎	野に叫ぶ人々—8 鉛毒被害を調査(解説)	1968年	木版・ボスター・カラー・紙、木パネルにマウント	61.3×72.3	小口一郎研究会
163	小口 一郎	野に叫ぶ人々—19 演壇に立つ田中代議士	1961/1968年	木版・ボスター・カラー・紙、木パネルにマウント	61.0×74.2	小口一郎研究会
164	小口 一郎	野に叫ぶ人々—27 矢中村買収と家屋強制破壊(1)	1961/1968年	木版・ボスター・カラー・紙、木パネルにマウント	60.7×74.4	小口一郎研究会

NO.	作家名／著者名	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
165	小口 一郎	野に叫ぶ人々—20 大挙上京 請願を誓う	1961／1968年	木版・紙	61.2×74.5	小口一郎研究会
166	小口 一郎	野に叫ぶ人々—24 直訴(版画)	1961年	木版・紙 木バネルにマウント ボスターカラー・紙、	42.3×87.8	小口一郎研究会
167	小口 一郎	野に叫ぶ人々—24 直訴(解説)	1968年	木版・紙 木バネルにマウント ボスターカラー・紙、	60.9×74.3	小口一郎研究会
168	小口 一郎	野に叫ぶ人々—31 不滅の余光(版画)	1961／1968年	木版・紙 木バネルにマウント ボスターカラー・紙、	60.9×74.5	小口一郎研究会
169	小口 一郎	野に叫ぶ人々—31 不滅の余光(解説)	1968年	木版・紙	61.2×74.3	小口一郎研究会
170	小口 一郎	野に叫ぶ人々—23 川俣事件 その2(版画)	1961年	木版・紙 木バネルにマウント ボスターカラー・紙、	45.0×162.1	小口一郎研究会
171	小口 一郎	野に叫ぶ人々—22 川俣事件 その2(解説)	1968年	木版・紙 木バネルにマウント ボスターカラー・紙、	61.0×74.5	小口一郎研究会
172	小口 一郎	野に叫ぶ人々—21 川俣事件 その1	1961／1968年	—	61.0×74.3	小口一郎研究会
173	篠崎 隆	映画「野に叫ぶ人々」	1971年	DVD(28分)	—	小口一郎研究会
174	小口 一郎	『野に叫ぶ人々』展覧会ポスター	1969年	木版・紙	62.6×44.0	小口一郎研究会
175	—	『公害の原点 足尾銅山事件を彫る』(『世界画報』)	1974年	—	21.1×30.0	小口一郎研究会
176	小口 一郎	波紋	1960年	木版・紙	25.8×50.7	小口一郎研究会
177	鈴木 賢二	統一行動(大管法粉碎)	1963年	木版・紙	38.0×47.0	鈴木賢二版画館(如輪房 (梅木県立美術館寄託))
178	儀間 比呂志	日本が見える	1959年	木版・紙	39.5×25.3	個人蔵
179	ラム・キンカール・バイジ	涙	制作年不詳	リノカット・紙	12.4×18.8	福岡アジア美術館
180	ラム・キンカール・バイジ	行動せよ、さもなくば死を	1942年	リノカット・紙	22.5×15.3	福岡アジア美術館
181	ソムナット・ホール	不詳(夜の集会)	1973年	木版・紙	13.3×18.0	福岡アジア美術館
182	ソムナット・ホール	不詳(村芝居)	1973年	木版・紙	13.3×18.0	福岡アジア美術館
183	チッタプロサド	教室	制作年不詳	リノカット・紙	25.8×36.2	福岡アジア美術館
184	チッタプロサド	子どもの要求	1952年	リノカット・紙	22.3×30.4	福岡アジア美術館
185	チッタプロサド	飢餓	1952年	リノカット・紙	22.5×23.0	福岡アジア美術館
186	チッタプロサド	チッタ魚採り(洪水)	1952年	リノカット・紙	18.6×24.6	福岡アジア美術館
187	ムルタザ・バシール	流血の21日	1952／2007年	木版・紙	25.0×17.3	福岡アジア美術館
188	リー・シャオイエン(李 少言)	北への速報『木刻組画 南方来信』	1965年	—	—	個人蔵
189	鈴木賢二	雨のなかの抗議集会	1963年	木版・紙	46.0×30.0	町田市立国際版画美術館
190	タン・ティチー(陳 世集)	魚の行商	1953年	木版・紙	20.4×15.3	福岡アジア美術館
191	タン・ティチー(陳 世集)	たばこ売り	1958年	木版・紙	15.5×10.3	福岡アジア美術館
192	コー・シャーヨン(許 錫勇)	不法な商い	1957年	木版・紙	20.5×15.5	福岡アジア美術館
193	チュー・ケンクワン(朱 慶光)	炭坑夫	1956／1996年	木版・紙	20.0×31.0	福岡アジア美術館
194	リム・スイーチュン(林 瑞春)	被災地の風景	1954年	木版・紙	10.5×16.6	個人蔵
195	リム・スイーチュン(林 瑞春)	悲歌	1957年頃	木版・紙	20.5×9.0	個人蔵
196	リム・スイーチュン(林 瑞春)	工場から帰る	1953年	木版・紙	16.6×10.5	個人蔵
197	シー・チンティ(許 振第)	物乞い	1954年	木版・紙	20.0×14.0	福岡アジア美術館
198	—	『藝術研究会 美術巡廻展覧会特刊』	1953年	—	26.4×19.1	個人蔵
199	—	『シンガポール・マラヤ木刻漫画選集』	1955年	—	18.2×21.2	個人蔵
200	—	『青年画集』	1953年	—	16.0×21.1	福岡アジア美術館
201	チュー・ケンクワン(朱 慶光)	五・一三事件	1954年	木版・紙	11.8×8.7	個人蔵
202	赤道美術協会)の作家	血は白く流れない	1955年頃	木版・紙	11.8×8.7	個人蔵
203	—	『時代報』第6号	1955年	—	26.0×18.9	個人蔵
204	—	『時代報』第2期第5号	1956年	—	26.5×19.7	個人蔵
205	—	『耕耘』5号	1954年	—	17.8×19.1	個人蔵
206	—	『耕耘』7号	1954年	—	17.8×19.1	個人蔵
207	—	『耕耘』10号	1954年	—	17.8×19.0	個人蔵
208	—	『耕耘』17号	1955年	—	17.6×19.1	個人蔵
209	—	『耕耘』11号	1954年	—	17.7×19.0	個人蔵
210	—	『生活文叢』	1955年	—	26.6×19.4	個人蔵
211	—	『学文』特別号 中正中学 高中卒業班特刊	1957年	—	25.9×19.0	個人蔵
212	—	『萌芽』第3号	1958年	—	26.4×18.8	個人蔵
213	—	『文娛生活』12	1956年	—	17.3×19.3	個人蔵
214	—	『文娛生活』14	1956年	—	17.5×19.0	個人蔵
215	赤道美術協会)の作家	集会	1968年	—	46.0×53.6	個人蔵
216	—	『陳錢報』304 社会主義陣線	1968年	—	26.1×36.1	個人蔵
217	—	『陳錢報』306 社会主義陣線	1968年	—	26.2×36.2	個人蔵
218	ミアーン・イジャーズル・ハッサン	ドン!	1974年	油彩・画布	121.5×183.3	福岡アジア美術館
219	—	『木刻組画 南方来信』(表紙)	1965年	—	26.0×18.4	個人蔵
220	リン・ジュン(林 軍)	血が浸み込んだ大地(『木刻組画 南方来信』)	1965年	—	26.0×18.4	個人蔵
221	—	『建設』第16号	1970年	—	26.0×19.0	個人蔵

NO.	作家名／著者名	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
222		『建設』第18／19号	1970年	—	26.1×18.9	個人蔵
223	グエン・ダン・チエ	奴らを逃すな	1972年	木版(多色)・手漉きの紙	18.6×27.5	個人蔵
224	グエン・ダン・サン	題不詳(落ちた米軍機を運ぶ)	制作年不詳	木版(多色)・手漉きの紙	19.7×26.8	個人蔵
225	グエン・ダン・チエ	ベトナムの英雄的女性を讃える	制作年不詳	木版(多色)・手漉きの紙	16.5×27.2	個人蔵
226	グエン・ダン・チエ	ホーおじさん	1970年	木版(多色)・手漉きの紙	19.9×26.5	個人蔵
227	グエン・ダン・サン	訓練 大衆教育	制作年不詳	木版(多色)・手漉きの紙	26.8×17.9	個人蔵
228	ファム・ヴァン・ドン	ホーおじさん、村へ行く	1972年	木版(多色)・紙	34.0×46.3	福岡アジア美術館
229	ファム・ヴァン・ドン	聖人ゾン	1970年	木版(多色)・紙	34.0×46.3	福岡アジア美術館
230	ファム・ヴァン・ドン	チュン姉妹と進め	1970年	木版(多色)・紙	44.4×32.2	福岡アジア美術館
231	レオニーリョ・オルテガ・ドロリコン	待ち伏せ(市民軍2)	1987／2008年	リノカット(多色)・紙	46.4×30.8	福岡アジア美術館
232	レオニーリョ・オルテガ・ドロリコン	市民軍1	1987／2008年	リノカット(多色)・紙	46.0×31.0	福岡アジア美術館
233	レオニーリョ・オルテガ・ドロリコン	農園のなかで	2014年	リノカット・紙	45.7×45.7	福岡アジア美術館
234	レオニーリョ・オルテガ・ドロリコン	農民革命	1990／2008年	リノカット(多色)・紙	59.9×46.4	福岡アジア美術館
235	レオニーリョ・オルテガ・ドロリコン	生産の力 No.2	2014年	木版、水彩・紙	39.6×91.7	福岡アジア美術館
236	レオニーリョ・オルテガ・ドロリコン	暴力装置	1990年	リノカット・紙	61.6×45.7	福岡アジア美術館
237	レオニーリョ・オルテガ・ドロリコン	外国借款	1993／2008年	木版・紙	95.3×60.7	福岡アジア美術館
238	レオニーリョ・オルテガ・ドロリコン	民衆の殉教者	2014年	リノカット・紙	44.5×44.8	福岡アジア美術館
239	レオニーリョ・オルテガ・ドロリコン	ボニファシオの人民革命	2012年	リノカット(多色)・紙	45.0×45.5	福岡アジア美術館
240	オ・コン(吳潤)	父	1981／1997年	木版・紙	36.0×34.0	福岡アジア美術館
241	オ・コン(吳潤)	大地5	1983／1997年	木版・紙	41.3×35.3	福岡アジア美術館
242	オ・コン(吳潤)	剣歌	1985／1997年	木版(多色)・紙	32.3×25.5	福岡アジア美術館
243	キム・ボンジュン(金鳳駿)	お母さん、ただいま	1981年	シルクスクリーン・紙	21.6×18.5	福岡アジア美術館
244	キム・ボンジュン(金鳳駿)	黎明	1991年	木版・紙	43.6×55.5	福岡アジア美術館
245	キム・ボンジュン(金鳳駿)	ピコ労働者 生存権闘争図	1991年	シルクスクリーン・紙	37.9×35.9	福岡アジア美術館
246	キム・ボンジュン(金鳳駿)	四月の歌	1983年	木版、水彩・紙	25.4×34.8	福岡アジア美術館
247	キム・ボンジュン(金鳳駿)	招魂図	1985年	木版、水彩・布	43.2×120.7	福岡アジア美術館
248	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月 扉	1989年	木版・紙	7.1×11.1	福岡アジア美術館
249	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-1 馬脚	1983年	リノカット・紙	40.5×29.4	福岡アジア美術館
250	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-3 あやつり人形	1983年	木版・紙	30.5×27.0	福岡アジア美術館
251	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-2 たいまつ行進	1983年	木版・紙	25.3×43.0	福岡アジア美術館
252	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-11 血涙-6	1983年	リノカット・紙	30.6×23.0	福岡アジア美術館
253	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-4 友	1988年	リノカット・紙	27.0×20.3	福岡アジア美術館
254	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-10 血涙-5	1982年	リノカット・紙	30.4×43.1	福岡アジア美術館
255	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-9 血涙-4	1981年	リノカット・紙	26.4×39.9	福岡アジア美術館
256	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-12 血涙-7	1983年	リノカット・紙	22.7×37.5	福岡アジア美術館
257	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-6 血涙-1	1983年	木版・紙	30.2×42.8	福岡アジア美術館
258	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-8 血涙-3	1981年	リノカット・紙	21.1×31.0	福岡アジア美術館
259	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-7 血涙-2	1981年	リノカット・紙	23.0×29.5	福岡アジア美術館
260	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-32 妊婦の死	1985年	木版・紙	31.6×35.4	福岡アジア美術館
261	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-5 見物人	1981年	木版・紙	19.5×27.3	福岡アジア美術館
262	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-22 武器分配	1989年	木版・紙	42.3×30.1	福岡アジア美術館
263	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-28 飯	1987年	リノカット・紙	41.1×30.2	福岡アジア美術館
264	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-27 大字報	1988年	リノカット・紙	34.2×28.7	福岡アジア美術館
265	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-17 良洞戦闘	1983年	リノカット・紙	31.1×23.2	福岡アジア美術館
266	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-18 黄金洞戦闘	1983年	リノカット・紙	19.9×30.5	福岡アジア美術館
267	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-16 兄弟	1981年	リノカット・紙	30.1×42.7	福岡アジア美術館
268	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-29 孝川戦闘	1983年	リノカット・紙	53.6×52.2	福岡アジア美術館
269	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-23 銃、わがいのち	1987年	リノカット・紙	31.3×42.8	福岡アジア美術館
270	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-21 旗	1988年	リノカット・紙	34.7×23.2	福岡アジア美術館
271	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-24 火	1988年	リノカット・紙	42.5×31.1	福岡アジア美術館
272	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-14 闘士回報-1	1986年	リノカット・紙	42.1×29.2	福岡アジア美術館
273	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-20 闘士回報-2	1988年	木版・紙	40.9×55.0	福岡アジア美術館
274	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-15 逃亡	1989年	木版・紙	19.9×37.6	福岡アジア美術館
275	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-19 行こう、道庁へ	1988年	木版・紙	40.8×54.5	福岡アジア美術館
276	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-35 献血行進	1984年	木版・紙	30.1×42.8	福岡アジア美術館
277	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-34 献血の呼びかけ	1984年	リノカット・紙	40.0×42.7	福岡アジア美術館
278	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-26 道庁決起大会	1984年	リノカット・紙	42.7×53.8	福岡アジア美術館

NO.	作家名／著者名	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
279	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-36 大同世-2	1984年	リノカット・紙	40.9×53.5	福岡アジア美術館
280	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-25 大同世-1	1984年	木版・紙	41.8×55.5	福岡アジア美術館
281	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-30 弟のために	1983年	木版・紙	16.5×27.0	福岡アジア美術館
282	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-41 私の名前は	1981年	リノカット・紙	24.8×21.2	福岡アジア美術館
283	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-31 返さなければならぬ仇	1985年	リノカット・紙	30.2×21.8	福岡アジア美術館
284	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-13 閻埋葬	1989年	リノカット・紙	34.3×26.3	福岡アジア美術館
285	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-39 なくなった死体	1983年	リノカット・紙	30.5×42.7	福岡アジア美術館
286	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-38 夜明けの戦闘	1989年	リノカット・紙	30.0×40.5	福岡アジア美術館
287	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-33 武器回収拒否	1985年	リノカット・紙	30.3×42.7	福岡アジア美術館
288	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-40 夜明け	1988年	リノカット・紙	19.5×24.9	福岡アジア美術館
289	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-42 無等山下 萬古解冤神市民軍	1985年	リノカット・紙	42.7×56.0	福岡アジア美術館
290	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-47 四季-春	1985年	リノカット・紙	57.0×43.0	福岡アジア美術館
291	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-48 四季-夏	1985年	リノカット・紙	56.8×42.4	福岡アジア美術館
292	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-49 四季-秋	1985年	リノカット・紙	56.6×42.7	福岡アジア美術館
293	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-43 剣の舞	1985年	リノカット・紙	55.6×52.2	福岡アジア美術館
294	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-44 鐘の舞	1985年	リノカット・紙	53.6×42.8	福岡アジア美術館
295	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-46 市民軍神将図	1983年	リノカット・紙	56.0×42.7	福岡アジア美術館
296	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-50 旗の舞	1985年	リノカット・紙	55.5×42.1	福岡アジア美術館
297	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-45 ユン・サンウォン烈士図	1983年	リノカット・紙	53.3×40.8	福岡アジア美術館
298	ホン・ソンダム(洪成潭)	五月-37 流れる水よ	1986年	リノカット・紙	42.5×55.0	福岡アジア美術館
299	ホン・ソンダム(洪成潭)	洪成潭版画集 12のマダン(日本語版) 1984年カレンダー	1983年	—	47.2×23.5	稲葉真以氏蔵
300	—	韓国カトリック農民会創立20周年記念 1987年カレンダー 韓国カトリック農民会	1986年	—	54.5×30.0	稲葉真以氏蔵
301	—	1981年カレンダー 韓国キリスト労働者全南地域連盟	1980年	—	53.0×25.5	稲葉真以氏蔵
302	イ・ユニョプ(李允燁)	ケクサリ村の人びと	2003年	木版・紙	132.0×89.3	福岡アジア美術館
303	イ・ユニョプ(李允燁)	鶴頭の花畠で(龍山復活図)	2010年	木版・紙	51.2×76.1	福岡アジア美術館
304	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2012年4月撮影)	2007年-現在	APボード(ラミングプリント&UVマットラミネート)	40.0×60.0	中西あゆみ氏蔵
305	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2009年5月撮影)	2007~現在	遮光スウェード	127.5×191.0	中西あゆみ氏蔵
306	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2009年5月撮影)	2007~現在	APボード(ラミングプリント&UVマットラミネート)	40.0×60.0	中西あゆみ氏蔵
307	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2007年8月撮影)	2007~現在	APボード(ラミングプリント&UVマットラミネート)	53.0×84.0	中西あゆみ氏蔵
308	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2010年10月撮影)	2007~現在	APボード(ラミングプリント&UVマットラミネート)	40.0×60.0	中西あゆみ氏蔵
309	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2009年5月撮影)	2007~現在	APボード(ラミングプリント&UVマットラミネート)	40.0×60.0	中西あゆみ氏蔵
310	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2009年5月撮影)	2007~現在	APボード(ラミングプリント&UVマットラミネート)	40.0×60.0	中西あゆみ氏蔵
311	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2010年8月撮影)	2007~現在	遮光スウェード	127.5×191.0	中西あゆみ氏蔵
312	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2011年11月撮影)	2007~現在	APボード(ラミングプリント&UVマットラミネート)	40.0×60.0	中西あゆみ氏蔵
313	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2012年5月撮影)	2007~現在	APボード(ラミングプリント&UVマットラミネート)	40.0×60.0	中西あゆみ氏蔵
314	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2009年10月撮影)	2007~現在	遮光スウェード	127.5×191.0	中西あゆみ氏蔵
315	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2009年5月撮影)	2007~現在	遮光スウェード	127.5×191.0	中西あゆみ氏蔵
316	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2009年10月撮影)	2007~現在	APボード(ラミングプリント&UVマットラミネート)	40.0×60.0	中西あゆみ氏蔵
317	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2009年10月撮影)	2007~現在	遮光スウェード	127.5×191.0	中西あゆみ氏蔵
318	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2007年8月撮影)	2007~現在	遮光スウェード	127.5×191.0	中西あゆみ氏蔵
319	中西あゆみ	〈マージナル〉の活動記録(2013年5月撮影)	2007~現在	APボード(ラミングプリント&UVマットラミネート)	40.0×60.0	中西あゆみ氏蔵
320	マージナルマイク	黒い川	2010年	木版・紙	99.0×74.0	中西あゆみ氏蔵
321	マージナルマイク	出稼ぎ労働者	2005年	木版・紙	58.0×48.0	中西あゆみ氏蔵
322	マージナルマイク	金網でできた筋肉と鋼でできた骨	2002年	木版・紙	58.0×48.0	中西あゆみ氏蔵
323	マージナルマイク	アイデア	2010年	木版・紙	70.0×60.0	中西あゆみ氏蔵
324	マージナルマイク&ボブ	魂までは拘束されない	2012年	木版・紙	84.5×59.6	中西あゆみ氏蔵
325	マージナルマイク	考えて考えよ	2013年	木版・紙	58.0×48.0	中西あゆみ氏蔵
326	マージナルボブ	ポイコット	2004年	木版・紙	29.5×20.0	中西あゆみ氏蔵
327	マージナルボブ	私たちの傷	2004年	木版・紙	58.0×48.0	中西あゆみ氏蔵
328	マージナルマイク	平等と友愛	2013年	木版・紙	58.0×48.0	中西あゆみ氏蔵
329	マージナルマイク&ボブ	頭蓋骨-未来-	2012年	木版・紙	52.0×42.0	中西あゆみ氏蔵
330	マージナルボブ	庶民が犠牲になる	2004年	木版・紙	50.0×50.0	中西あゆみ氏蔵
331	タリン・パディ	圧力抜きで、自分を信じて、自由に選べ	2009年	木版・紙	60.5×40.4	福岡アジア美術館
332	タリン・パディ	政治は王朝にあらず	2009年	木版・紙	60.7×40.6	福岡アジア美術館
333	タリン・パディ	選ぶか選ばないか、それが選択だ	2009年	木版・紙	60.5×40.6	福岡アジア美術館
334	タリン・パディ	同じ公約、同じ証拠	2009年	木版・紙	60.8×40.6	福岡アジア美術館
335	タリン・パディ	あなたはもう平等? 女性の政治権利を!	2009年	木版・紙	60.4×40.5	福岡アジア美術館

NO.	作家名／著者名	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
336	タリン・パディ	ストライキだ!	2003年	木版・紙	45.2×28.0	福岡アジア美術館
337	タリン・パディ	お前の資本なしに私たちは栄える	2009年	木版・紙	57.6×41.0	福岡アジア美術館
338	タリン・パディ	我々はもう税金を払わない	2003年	木版・紙	44.8×28.1	福岡アジア美術館
339	タリン・パディ	民衆は一丸となつて環境を破壊する工場を拒否する	2009年	木版・紙	61.2×40.4	福岡アジア美術館
340	タリン・パディ	あらゆる採掘は生活をおびやかす	2010年	木版・綿布	89.6×259.7	福岡アジア美術館
341	タリン・パディ	環境破壊	2009年	木版・紙	58.9×41.0	福岡アジア美術館
342	タリン・パディ	生命の源、泉を守れ	2009年	木版・紙	61.1×40.4	福岡アジア美術館
343	タリン・パディ	終わることのない勇気	2007年	木版・綿布	122.3×242.4	福岡アジア美術館
344	タリン・パディ	ヌサンタラを築け、血のしづくを流さずに	1999年	木版・紙	52.0×40.1	福岡アジア美術館
345	タリン・パディ	苦しみも喜びも分からち合おう	2010年	木版・紙	42.2×29.9	福岡アジア美術館
346	タリン・パディ	明日がよりよい日になるように	2009年	木版・紙	60.5×41.1	福岡アジア美術館
347	タリン・パディ	2006年カレンダー(1~2月) : 平等の目覚め	2005年	木版・紙	58.1×50.8	福岡アジア美術館
348	タリン・パディ	2006年カレンダー(3~4月) : 独立する女性—全世界の女性は团结して動く	2005年	木版・紙	57.9×51.1	福岡アジア美術館
349	タリン・パディ	2006年カレンダー(5~6月) : 濕死の地球を見捨てるな!	2005年	木版・紙	58.1×50.8	福岡アジア美術館
350	タリン・パディ	2006年カレンダー(7~8月) : 貧困注意! 高利の借財で貧乏になる	2005年	木版・紙	58.0×50.9	福岡アジア美術館
351	タリン・パディ	2006年カレンダー(9~10月) : 農民の日にようこと	2005年	木版・紙	58.0×50.9	福岡アジア美術館
352	タリン・パディ	2006年カレンダー(11~12月) : 我々は暴力に反対する	2005年	木版・紙	58.2×50.9	福岡アジア美術館
353	パンクロック・スゥラップ	民衆の祝祭	2017年	木版・紙	48.0×38.0	個人蔵
354	パンクロック・スゥラップ	買うな、自分で作れ	2015年	木版・紙	45.5×36.0	個人蔵
355	パンクロック・スゥラップ	戦争でなく、ピーズを作れ	2014年	木版・紙	46.0×39.0	個人蔵
356	パンクロック・スゥラップ	常に伝統とともに、資本主義と闘う	2016年	木版・紙	51.0×38.5	個人蔵
357	パンクロック・スゥラップ	ボンクッド・ナマウス	2016年	木版・綿布	120.0×240.0	個人蔵
358	パンクロック・スゥラップ	文化の攻撃	2015年	木版・紙	45.5×36.0	個人蔵
359	パンクロック・スゥラップ	借金があるから私たちは働く	2013年	木版・紙	43.8×32.5	個人蔵
360	パンクロック・スゥラップ	祝労働者の日!! メーデー	2014年	木版・紙	48.5×45.5	個人蔵
361	パンクロック・スゥラップ	祭りの季節の特別料金	2016年	木版・紙	46.0×38.0	個人蔵
362	パンクロック・スゥラップ	海は命	2014年	木版・紙	46.0×36.0	個人蔵
363	パンクロック・スゥラップ	私の後ろに村人がいる、村人の後ろには私がいる	2014年	木版・紙	48.0×38.0	個人蔵
364	パンクロック・スゥラップ	この土地は私のもの	2014年	木版・紙	49.0×38.0	個人蔵
365	—	タリン・パディ活動記録 選挙のためのポスターを掲示する	2009年	映像	4分30秒	協力:モハマド・ユース(タリン・パディ)
366	—	タリン・パディ活動記録 バタンでの石炭発電反対運動	2014年	映像	5分40秒	協力:モハマド・ユース(タリン・パディ)
367	—	〈タリン・パディ〉のメンバーである〈デンダン・カンブンガン〉および〈マー—ジナル〉にも歌われた歌 文化革命の呼びかけ—美術労働者の行進曲		フリップに印刷	—	—
368	ジャン・ジアアン(張 家安)	非暴力	2014年	木版・紙	13.5×19.5	作家蔵
369	ジャン・ジアアン(張 家安)	自由・民主を守れ	2014年	木版・紙	14.5×14.8	作家蔵
370	ジャン・ジアアン(張 家安)	ブラックボックス服貿協定を拒絶	2014年	木版・紙	14.7×15.0	作家蔵
371	ジャン・ジアアン(張 家安)	人民の声を聴け	2014年	木版・紙	15.0×15.0	作家蔵
372	ジャン・ジアアン(張 家安)	愛 平和 がんばれ!	2014年	木版・紙	15.2×15.2	作家蔵
373	ウェイ・ユーティン(魏 鈺婷)	泣くな台湾	2014年	木版・紙	29.5×21.0	作家蔵
374	ジャン・ファンニン(張芳寧)	鶏の成長のための飼料になりたいのか?	2014年	木版・紙	15.0×21.5	作家蔵
375	ワン・リーウェン(王 倒文) コー・シントン(柯 辛彤) ジャン・ジアアン(張 家安) ジャン・ファンニン(張 芳寧) リアオ・シュージュエン(廖 淑娟) ライ・ルイリン(賴 睿玲) ウェイ・ユーティン(魏 鈺婷)	人民の目覚めが我々の未来を決める	2014年	木版・紙	17.0×32.0	ジャン・ジアアン氏蔵
376	イルワン・アーメット&ティタ・サリナ	アトランティスの産物	2018年-	映像	17分25秒	作家蔵
377	ティタ・サリナ	1001つ目の島—群島の中で最も持続可能な島—	2015年	映像	14分11秒	作家蔵
378	イルワン・アーメット&ティタ・サリナ	花の通貨—トンファ	2017年	2チャンネル ビデオイン スラレーショ	5分34秒、 2分29秒	作家蔵

## 近藤嘉男と憧れのヨーロッパ航路：アーツ前橋所蔵品から

NO.	作家名／編集者名	作品名	制作年／発行年	技法・材質	寸法 (縦×横:cm)	所蔵
1	近藤嘉男	作品A	1948年	油彩・キャンバス	162.1×130.4	アーツ前橋
2	近藤嘉男	作品B	1949年	油彩・キャンバス	130.0×162.0	アーツ前橋
3	近藤嘉男	港のマリア	1950年	油彩・キャンバス	130.5×162.2	アーツ前橋
4	近藤嘉男	足尾風景	1950年	水彩・紙	50.3×35.5	アーツ前橋
5	近藤嘉男	橋のある風景	1950年	水彩・紙	34.7×52.3	アーツ前橋
6	近藤嘉男	自筆年譜	1960年代	—	—	広瀬川美術館
7	近藤嘉男	ミラノ滞在時の記録写真集	1965年頃	—	—	広瀬川美術館
8	近藤嘉男	第1回滞欧時の記録日誌	1964年	—	—	広瀬川美術館
9	近藤嘉男	第1回滞欧時のスクラップブック	1964年	—	—	広瀬川美術館
10	近藤嘉男	個展「近藤嘉男滞欧洋画展」の記録写真集	1965年	—	—	広瀬川美術館
11	近藤嘉男	パルテノンの丘	1965年	水彩・紙	32.5×50.0	アーツ前橋
12	近藤嘉男	タンブル区の老婆	1965年	油彩・キャンバス	52.7×45.5	アーツ前橋
13	近藤嘉男	第1回滞欧時の記録写真	1964年	—	—	広瀬川美術館
14	近藤嘉男	カプリ島	1967年	油彩・キャンバス	100.0×72.6	アーツ前橋
15	近藤嘉男	ナポリ湾航行時のスケッチ	1964年	—	—	広瀬川美術館
16	近藤嘉男	第2回滞欧時の旅行日誌	1968年	—	—	広瀬川美術館
17	近藤嘉男	オングルール	1970年	油彩・キャンバス	91.0×116.7	アーツ前橋
18	近藤嘉男画集編集委員会編	『近藤嘉男画集』	1989年	書籍	—	アーツ前橋
19	近藤嘉男著・近藤久江編	『音と灯—近藤嘉男の遺稿—』	1981年	書籍	—	アーツ前橋
20	近藤嘉男	分有の鳥	1974年	油彩・キャンバス	181.5×259.0	アーツ前橋
21	近藤嘉男	風	1974年	油彩・キャンバス	112.6×162.1	アーツ前橋
22	近藤嘉男	巴里市内	1975年	油彩・キャンバス	31.9×40.9	アーツ前橋
23	近藤嘉男	スクラップブック	1975年	—	—	広瀬川美術館
24	近藤嘉男	ギリシア滞在時の旅行日誌	1975年	—	—	広瀬川美術館
25	近藤嘉男	サン・クルー遠望	制作年不詳	油彩・キャンバス	—	アーツ前橋
26	南城一夫	人形のある静物	1937年	油彩・キャンバス	59.0×80.1	アーツ前橋
27	南城一夫	赤城山	1961年	油彩・キャンバス	21.2×33.6	アーツ前橋
28	高畠早苗	危険と歡楽の夜	1982年	油彩・キャンバス	91×116.7	アーツ前橋
29	—	個展「Sanae Takahata」ポスター	1982年	—	—	作家蔵

## つまずく石の縁：地域に生まれるアートの現場

NO.	作家名	作品名	制作年／プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横:cm)	所蔵	展示場所
1	アンナ・ヴィット	ケア	2017	映像	17分28秒	作家蔵	ベンテンシェアハウス
2	イルワン・アーメット&ティタ・サリナ	南からのささやき	2018	埃、音楽フレーバー、 パン・ボンなど	—	作家蔵	サクラヤ跡 2階
3	イルワン・アーメット&ティタ・サリナ	再び顔を現す	2018	埃、スポットライト、鏡、など	—	作家蔵	サクラヤ跡 2階
4	イルワン・アーメット&ティタ・サリナ	大いなる申し立て	2018	ミクストメディアイン スタレーション	—	作家蔵	サクラヤ跡 2階
5	梅沢英樹	透明な積層	2018	インスタレーション	—	作家蔵	サクラヤ跡 1階
6	片山真理	25 days in tatsumachi studio/山都園	2015／2018	ポスター	72.8×103.0	作家蔵	弁天通り、オリオン通りなど
7	片山真理	25 days in tatsumachi studio/スズキストア #001	2015／2018	ポスター	72.8×103.0	作家蔵	弁天通り、オリオン通りなど
8	片山真理	25 days in tatsumachi studio/スズキストア #002	2015／2018	ポスター	72.8×103.0	作家蔵	弁天通り、オリオン通りなど
9	片山真理	25 days in tatsumachi studio/理子	2015／2018	ポスター	72.8×103.0	作家蔵	弁天通り、オリオン通りなど
10	片山真理	25 days in tatsumachi studio/鈴木菓園 眼鏡部 #001	2015／2018	ポスター	72.8×103.0	作家蔵	弁天通り、オリオン通りなど
11	片山真理	25 days in tatsumachi studio/鈴木菓園 眼鏡部 #002	2015／2018	ポスター	72.8×103.0	作家蔵	弁天通り、オリオン通りなど
12	片山真理	25 days in tatsumachi studio/あじさい	2015／2018	ポスター	72.8×103.0	作家蔵	弁天通り、オリオン通りなど
13	片山真理	25 days in tatsumachi studio/アツミレコード #001	2015／2018	ポスター	72.8×103.0	作家蔵	弁天通り、オリオン通りなど
14	木村崇人	ガリバー診療所	2018	インスタレーション	—	作家蔵	マチナカさん
15	ケレン・ベンベニスティ	ハーフライフ	2017-2018	イチヤンネルビデオ+サウンド インスタレーション	6分19秒	作家蔵	東電跡 2階
16	ケレン・ベンベニスティ	(放射能) 漂う世界の絵	2018	印刷物	20.3×25.3	作家蔵	東電跡 2階
17	衣真一郎	横たわる風景	2018	ミクストメディア	サイズ可変	作家蔵	モバイル・ヤーゲンズ
18	衣真一郎	二つの風景	2017	油彩・キャンバス	60.6×60.6	作家蔵	モバイル・ヤーゲンズ

NO.	作家名	作品名	制作年／プリント年	技法・材質	寸法 (縦×横:cm)	所蔵	展示場所
19	衣真一郎	横たわる風景	2017	油彩・キャンバス	91.0×116.0	作家蔵	モバイル・ヤーギンズ
20	衣真一郎	静物	2018	油彩・キャンバス	53.0×45.5	作家蔵	モバイル・ヤーギンズ
21	衣真一郎	古墳のある風景	2016	油彩・キャンバス	50.0×60.0	作家蔵	喫茶マルカ
22	衣真一郎	古墳とピラミッド	2011	油彩・キャンバス	112.0×162.0	作家蔵	喫茶マルカ
23	衣真一郎	静物	2018	油彩・キャンバス	72.7×53.0	作家蔵	喫茶マルカ
24	衣真一郎	古墳のある風景	2017	油彩・キャンバス	31.8×41.0	個人蔵	喫茶マルカ
25	衣真一郎	ボールと板	2013	油彩・キャンバス	72.7×60.6	作家蔵	西洋亭 市
26	衣真一郎	山と畑	2014	油彩・キャンバス	45.5×53.0	作家蔵	西洋亭 市
27	衣真一郎	Brown Landscape	2014	油彩・キャンバス	27.3×22.0	作家蔵	西洋亭 市
28	衣真一郎	昔の家	2010	油彩・キャンバス	72.7×60.6	作家蔵	西洋亭 市
29	衣真一郎	Cup	2013	油彩・キャンバス	116.7×116.7	作家蔵	喫茶マルカ
30	衣真一郎	静物	2013	油彩・キャンバス	45.5×38.0	作家蔵	喫茶マルカ
31	衣真一郎	彫刻	2017	油彩・キャンバス	45.5×45.5	作家蔵	喫茶マルカ
32	ダラ・リーヴス	ハイボール	2018	映像インスタレーション	10分5秒	作家蔵	ブックバー月に開く
33	萩原留美子	ゴースト・イン・サイレンス	2018	ビデオインスタレーション	20分	作家蔵	東電跡 1階
34	萩原留美子	水平線を見る	2016／2018	しおり	—	作家蔵	東電跡 1階
35	萩原留美子	刻まれた謝罪	2017	石鹼、台、ディスプレーテーブル、 タイトルプレート	サイズ可変	作家蔵	東電跡 1階
36	萩原留美子	沈黙のドローイング	2018	チャコール	サイズ可変	作家蔵	東電跡 1階
37	ヘヴン・ベク	湖を削るものたち	2015	映像インスタレーション	6分1秒	作家蔵	武蔵屋跡



# 関連記事

# 関連記事

## 新聞

掲載日	掲載紙	記事名	ページ数	関連事業名
2018.04.03	上毛新聞	『心で描く 横堀角次郎没後40年(上)』赤城山に深い愛情 年代ごとにタッチ変化	8	横堀角次郎展
2018.04.10	上毛新聞	『心で描く 横堀角次郎没後40年(中)』草木や石 生命見る 画風に独特のぬくもり	9	横堀角次郎展
2018.04.12	上毛新聞	三山春秋	1	横堀角次郎展
2018.04.14	上毛新聞	元衆議院議員・鈴木強平 生誕120年と50回忌 親交あつた芸術家の作品 横堀角次郎ら17点	16	横堀角次郎展
2018.04.14	毎日新聞	【アートの地平から】ラオスで考えたこと	16	アーツ前橋全般
2018.04.16	上毛新聞	横堀角次郎の半生や人柄解説 染谷さん 回顧展で「全体像表現できた」	16	横堀角次郎展
2018.04.17	上毛新聞	『心で描く 横堀角次郎没後40年(下)』多くの画家と交友 群馬にも創作、発表の場	7	横堀角次郎展
2018.04.19	朝日新聞	美術館 地域にアート「出前」前橋・南橋 芸術家と住民 協働制作	29	地域AP(表現の森継続事業)
2018.04.25	毎日新聞	評 展覧会 横堀角次郎と仲間たち展 ゆったり探求の歩み	6	横堀角次郎展
2018.05.01	上毛新聞	【ばれっと】あした 5月2日(水)何しよ! アートを愉しむ「横堀角次郎と仲間たち」展より① 横堀角次郎《切通し》岸田劉生の教え生きる	5	横堀角次郎展
2018.05.02	上毛新聞	【ばれっと】あした 5月3日(木)何しよ! アートを愉しむ「横堀角次郎と仲間たち」展より② 岸田劉生《初夏の小路》生命力表す若葉の色彩	5	横堀角次郎展
2018.05.08	読売新聞	ぎやらりいモール アーツ前橋「横堀角次郎と仲間たち」から「切通し」	7	横堀角次郎展
2018.05.11	朝日ぐんま	美術探訪「横堀角次郎と仲間たち」展 生命の本質一筆一筆を丁寧に	3	横堀角次郎展
2018.05.22	朝日新聞	前橋発「名脇役」の画業「横堀角次郎と仲間たち」展	4	横堀角次郎展
2018.05.26	読売新聞	大胡出身画家 横堀角次郎展 29日まで、アーツ前橋	7	横堀角次郎展
2018.06.09	毎日新聞	【アートの地平から】「農村」を問い合わせ直す 住友文彦	14	アーツ前橋全般
2018.06.23	読売新聞	県内モチーフの作品 アーツ前橋で企画展	32	時をつなぐ
2018.07.03	上毛新聞	アート鑑賞を支援 ナビゲーター募集	18	教育普及(アーツナビゲーター)
2018.07.06	上毛新聞	写真でたどる昭和 石内都さん、荒木経惟さん、キヤバ… 今日からアーツ	18	昭和の肖像
2018.07.12	読売新聞	所蔵品貸し借り 展示に利点 貸し手 作品活用、時館PR 借り手 新しい客層を開拓	21	昭和の肖像
2018.07.17	上毛新聞	三山春秋	1	昭和の肖像
2018.07.20	朝日ぐんま	【上州日和】73年目の夏(中島美江子)	3	昭和の肖像/時をつなぐ
2018.07.27	朝日ぐんま	【プレゼント】昭和の肖像 写真でたどる「昭和」の人と歴史 5組	3	昭和の肖像
2018.07.29	東京新聞	写真で 平和の尊さ見詰め直す アーツ前橋で「昭和の肖像」展	22	昭和の肖像
2018.08.03	上毛新聞	ラジオや警告 聞く戦争体験	18	地域AP(滞在制作)
2018.08.11	毎日新聞	【アートの地平から】内藤礼の作品世界 住友文彦	16	アーツ前橋全般
2018.08.17	朝日ぐんま	人物、風景、戦争、復興、高度経済成長—写真でたどる「昭和」 アーツ前橋で9月3日まで	3	昭和の肖像
2018.08.19	上毛新聞	滞在制作でインコ調査 独2アーティスト26日スタジオ公開	16	地域AP(滞在制作)
2018.08.21	上毛新聞	【文化】「不完全」表現の力に アーティスト 小泉明郎さん 写真家 石内都さん	8	昭和の肖像
2018.08.24	朝日ぐんま	滞在制作オープンスタジオ「サロンインコ」	3	地域AP(滞在制作)
2018.08.24	上毛新聞	アーツ前橋「おしゃべり」でアートに親しむ	21	教育普及(アーツナビゲーター)
2018.08.24	高崎ちいきしんぶん	時をつなぐ アーツ前橋収蔵作品から	2	時をつなぐ
2018.08.27	上毛新聞	独2人組がアート活動 市内滞在の成果披露	18	地域AP(滞在制作)
2018.09.14	毎日新聞	【ぐるっと首都圏 アートを歩く】地域とつながる美術館 アーツ前橋	23	アーツ前橋全般
2018.09.17	教育家庭新聞	【美術館・博物館・体験施設情報】 岡本太郎の思想を読み解き、世界を体感 アーツ前橋	4	岡本太郎展
2018.09.23	上毛新聞	【広告】岡本太郎と『今日の芸術』、シンポジウム「芸術なんて、なんでもない。」	19	岡本太郎展
2018.10.05	上毛新聞	圧巻の岡本芸術 アーツ前橋	1, 21	岡本太郎展
2018.10.06	上毛新聞	【ばれっと 講演会】シンポジウム「芸術なんて、なんでもない。」	6	岡本太郎展
2018.10.06	読売新聞	爆発 岡本太郎の世界 前橋で企画展「燃える人」など140点	30	岡本太郎展
2018.10.08	上毛新聞	それぞれの岡本太郎熱く アーツ前橋がシンポ	19	岡本太郎展
2018.10.11	日本経済新聞	岡本太郎展、141点展示 開館5周年 10月中は入場無料	35	岡本太郎展
2018.10.12	朝日ぐんま	アーティストの創造祭「駅家ノ木馬祭り」前橋中心街で14日	2	地域AP
2018.10.13	上毛新聞	国内外の作家、街をアートに	18	つまづく石の縁
2018.10.13	東京新聞	商店街で生まれ溶け込むアート 前橋27作品展示	22	つまづく石の縁
2018.10.13	毎日新聞	【アートの地平から】過去の記憶と向き合う 住友文彦	14	アーツ前橋全般
2018.10.16	埼玉新聞	【関東美術展案内】アーツ前橋	8	岡本太郎展
2018.10.17	毎日新聞	岡本太郎の熱 体感 初期から晩年 計141点 前橋で企画展 来年1月まで	25	岡本太郎展
2018.10.17	毎日新聞	「太陽の塔」再び脚光	24	岡本太郎展
2018.10.18	産経新聞	岡本太郎の思い 現代に伝える アーツ前橋で展覧会 開館5周年 今月中は無料	23	岡本太郎展
2018.10.18	東京新聞	岡本太郎の芸術が爆発だ! 前橋で県内の大規模展 初期の代表作など141点 言葉も散りばめ	22	岡本太郎展
2018.10.19	朝日ぐんま	地域との対話、交流重ね アーツ前橋開館5周年	2	岡本太郎展/つまづく石の縁
2018.10.22	上毛新聞	映画「太陽の塔」出演 春原准教授 岡本太郎の魅力存分に	—	岡本太郎展
2018.10.22	東京新聞	岡本太郎の思いは? 前橋でドキュメンタリー上映	18	岡本太郎展
2018.10.23	読売新聞	前橋の街歩けばアートにあたる? アーティストが滞在し着想	30	つまづく石の縁

掲載日	掲載紙	記事名	ページ数	関連事業名
2018.10.26	朝日ぐんま	【文化紀行】「つまづく石の縁-地域に生まれるアートの現場」アーツ前橋学芸員 五十嵐純さん	3	つまづく石の縁
2018.11.01	朝日新聞	岡本太郎のメッセージ読み解く 作品・映像資料など アーツ前橋で企画展	20	岡本太郎展
2018.11.02	上毛新聞	アーツ前橋に美術書籍贈る 前橋西ロータリー	17	アーツ前橋全般
2018.11.06	上毛新聞	アーツ前橋 5周年 地域と学び合う美術館 独創性と生命力 岡本太郎と「今日の芸術」展	6	アーツ前橋全般
2018.11.06	上毛新聞	アーツ前橋 5周年 独創性と生命力 岡本太郎と「今日の芸術」展	6	岡本太郎展
2018.11.07	産経新聞	「アーツ前橋」5周年 住友館長に聞く 地域密着 美術品にこだわり	23	アーツ前橋全般
2018.12.03	上毛新聞	「太陽の鐘」鳴った 岡本太郎展イベント広瀬河畔100人突く	18	岡本太郎展
2018.12.08	毎日新聞	【アートの地平から】感性に形を与える 住友文彦	12	つまづく石の縁
2018.12.21	朝日ぐんま	アーツ前橋が地域創造大賞	1	アーツ前橋全般
2018.12.25	上毛新聞	【回顧2018 美術】集客増 アート身近に	9	岡本太郎展
2018.12.30	桐生タイムス 夕刊	アジアの木版画を紹介 アーツ前橋で2月から	14	闇に刻む光
2018.12.30	上毛新聞	アーツ前橋が地域創造大賞 県内2カ所目	20	アーツ前橋全般
2019.01.12	上毛新聞	県女大生、アーツで映画上映や討論会	14	地域AP(表現の森継続事業)
2019.01.18	ちいきしんぶん	—	—	闇に刻む光
2019.01.18	東洋経済日報	韓国民主化に貢献した木版画運動	8	闇に刻む光
2019.01.19	上毛新聞	アーツ前橋に栄誉 都内 地域創造大賞の表彰式	1	アーツ前橋全般
2019.01.21	産経新聞	県内で美術との出会い 楽しみ(太田市美術館・図書館学芸員 小金沢智)	22	アーツ前橋全般
2019.01.21	上毛新聞	【プレゼンター】役割増す地方美術館 アーツ前橋館長 住友文彦氏	1	アーツ前橋全般
2019.01.21	上毛新聞	【プレゼンター】(1面から続く)群馬から文化創ろう	28	アーツ前橋全般
2019.01.22	埼玉新聞	【主な企画展 22日～2月4日】アーツ前橋 闇に刻む光	8	闇に刻む光
2019.01.29	朝日新聞夕刊マリオン	—	—	闇に刻む光
2019.01.31	上毛新聞	36年ぶり米から里帰り 画家・高畠さんの油彩画 2日からアーツ前橋で公開	20	近藤嘉男展
2019.02.02	読売新聞	近現代アジア木版画400点 反戦、反権力「エネルギー感じて」	32	闇に刻む光
2019.02.03	東京新聞	木版画で見るアジア民主化 来月24日まで アーツ前橋で企画展	—	闇に刻む光
2019.02.08	東京新聞	【文化 美術評】紙一重の早業「闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s」展 横木野衣 夕刊7	闇に刻む光	闇に刻む光
2019.02.09	毎日新聞	【アートの地平から】アジアの木版画の訴求力 住友文彦	13	闇に刻む光
2019.02.15	朝日ぐんま	展示について学び進歩で表現しよう「アーツ」企画展連動企画 前橋で3月21日まで	2	地域AP
2019.02.15	しんぶん赤旗	【美術】闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s	9	闇に刻む光
2019.02.19	上毛新聞	時代の声映す アジア木版画 アーツ前橋	20	闇に刻む光
2019.02.20	読売新聞	「闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s」-上 表現主義 若き作家に影響(アーツ前橋学芸員 五十嵐純)	28	闇に刻む光
2019.02.21	読売新聞	「闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s」-中 警官との衝突 銛い線で(アーツ前橋学芸員 五十嵐純)	30	闇に刻む光
2019.02.22	朝日ぐんま	【文化紀行】SNSの先駆け、メディアとしての木版画にスポット	3	闇に刻む光
2019.02.22	朝日ぐんま	【文化紀行】「闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s」SNSの先駆け、メディアとしての木版画にスポット アーツ前橋学芸員 五十嵐純さん	3	闇に刻む光
2019.02.23	読売新聞	「闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s」-下 閉ざされた場の希望描く(アーツ前橋学芸員 五十嵐純)	32	闇に刻む光
2019.03.01	朝日ぐんま	前橋出身のアーティスト 高橋畠早苗さん アーツ前橋で油彩画「危険と歡楽の夜」が公開中	6	近藤嘉男展
2019.03.01	信濃毎日新聞	【いざない】民衆の悲憤映す白と黒 長野出身 上野誠の作品も	11	闇に刻む光
2019.03.03	しんぶん赤旗 日曜版	【文化】圧政に抗う意思示す 美術展「闇に刻む光アジアの木版画運動」	29	闇に刻む光
2019.03.04	日本経済新聞	やなぎみわ10年ぶり個展一機械が演じる生と死	夕刊14	やなぎみわ展
2019.03.06	朝日新聞	闇に刻んだ 木版画運動 前橋で展示 田中正造の直訴描いた作品も	25	闇に刻む光
2019.03.08	産経新聞	社会運動支えた木版画紹介 SNSの「ルーツ」アーツ前橋で企画展	23	闇に刻む光
2019.03.12	しんぶん赤旗	【学問 文化】民衆のたたかう武器の変遷(アライ=ヒロユキ)	10	闇に刻む光
2019.03.14	上毛新聞	【三山春秋】	1	近藤嘉男展
2019.03.14	東京新聞	外遊の影響示す 近藤嘉男企画展 アーツ前橋	24	近藤嘉男展
2019.03.18	産経新聞	【ぐんまアート散歩】地元の作家の実像 広く伝える	20	近藤嘉男展
2019.03.18	毎日新聞	激動の20世紀 アジアの木版画 情報拡散 役割担う 前橋で企画展	24	闇に刻む光
2019.03.30	上毛新聞	アーツにウッドデッキ 前橋市とYKK AP	24	アーツ前橋全般

## 雑誌・冊子

掲載日	掲載紙	記事名	ページ数	関連事業名
2018.04.01	キャリア教育に生きる!仕事ファイル 第10巻 住まいの仕事	芸術と暮らしをつなぐコミュニケーション	—	教育普及(アーティスト・イン・スクール)
2018.06.21	一枚の繪	【見なおし こんな画家がいた!日本近代絵画】第41回 横堀角次郎 泥土を磨き上げ宝珠になった画家	44	横堀角次郎展
2018.06.25	月刊raifu 2018.7月号 Vol.152	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	—	昭和の肖像
2018.06.25	月刊raifu 2018.7月号 Vol.152	時をつなぐ アーツ前橋収蔵作品から	—	時をつなぐ
2018.06.28	帰ってきた!高崎・前橋本 最新版	街を豊かにする ARTS&MUSIC	84	アーツ前橋全般
2018.07.09	るるぶ群馬 草津 伊香保 富岡'19	芸術文化の発信拠点	—	アーツ前橋全般
2018.07.25	月刊raifu 2018. 8月号 Vol.153	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	—	昭和の肖像
2018.07.25	月刊raifu 2018. 8月号 Vol.153	時をつなぐ アーツ前橋収蔵作品から	—	時をつなぐ
2018.07.27	ビバ!アミーゴ	【アミーゴプレゼント】アーツ前橋企画展「横浜美術館コレクション 昭和の肖像-写真でたどる『昭和』の人と歴史」	8	昭和の肖像
2018.08.01	前橋商工会議所会報 糸都	平成30年度の展覧会予定	22	昭和の肖像
2018.08.01	前橋商工会議所会報 糸都	平成30年度の展覧会予定	22	時をつなぐ
2018.08.01	前橋商工会議所会報 糸都	平成30年度の展覧会予定	22	岡本太郎展
2018.08.01	ランドスケープデザイン	インフォメーション	—	昭和の肖像
2018.08.25	月刊raifu 2018. 9月号 Vol.154	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	—	昭和の肖像
2018.08.25	月刊raifu 2018. 9月号 Vol.154	時をつなぐ アーツ前橋収蔵作品から	—	時をつなぐ
2018.09.25	地域創造レター 10月号 №282	【今月の情報 (特集 アートプロジェクト)】アーツ前橋開館5周年記念 つまずく石の縁-地域に生まれるアートの現場	11	つまずく石の縁
2018.09.29	タウンわたらせ	上毛電気鉄道で前橋へ 中央前橋駅から、前橋ぶらり歩き	2	岡本太郎展
2018.10.19	ビバ!アミーゴ	【アミーゴプレゼント】アーツ前橋企画展「岡本太郎と『今日の芸術』絵はすべての人の創るもの」招待券	8	岡本太郎展
2018.10.26	ふりべっこ11月号 2018/vol.70	【Headline】アーツ前橋で芸術家・岡本太郎の企画展を開催中 (プレゼント招待券 P70)	6	岡本太郎展
2018.11.01	中央公民館だより 2018年11月	開館5周年記念のアーツ前橋へ行こう 帰りのマイバスが無料	1	アーツ前橋全般
2018.11.01	プレーン11月号 700号 Nov.2018	【セレクト10】岡本太郎と『今日の芸術』	169	岡本太郎展
2018.11.20	Me&You 2018.12月号	【お出かけインフォメーション】岡本太郎と『今日の芸術』絵はすべての人の創るもの	19	岡本太郎展
2019.01.25	ビバ!アミーゴ	—	—	闇に刻む光
2019.02.18	前衛 3月号	文化の話題 日本とアジアつなぐ草の根の木版画運動	158	闇に刻む光
2019.02.26	月刊中国ニュース	—	—	闇に刻む光
2019.03.25	芸術新潮	成相肇のやっかいもつかい てんらんかい「ほる、する、つながる」	140	闇に刻む光
2019.03.25	芸術新潮 2019年4月号	PICK UP EXHIBITION	141	やなぎみわ展

## ウェブサイト

掲載日	掲載サイト	記事名	関連事業名
2018.06.12	ARTNAVIEK	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.06.14	デザインノート ON THE WEB	時をつなぐ アーツ前橋収蔵作品から	時をつなぐ
2018.06.14	東京アートビート	時をつなぐ アーツ前橋収蔵作品から	時をつなぐ
2018.06.15	旬な沿線観光情報	【前橋駅】アーツ前橋	アーツ前橋全般
2018.07.06	artgene	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	artscape	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	アート版びあ	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	いこーよ	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	イベントまえばし igoo	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	webDICE	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	ぐんラボ	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	ShareArt	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	旅楽.jp DOKOIKU	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	デザインノート ON THE WEB	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	東京アートビート	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	ネットTAM	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	マイ広報誌	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.06	MusCa	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2018.07.09	web版美術手帳 EXHIBITIONS	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	昭和の肖像
2019.01.18	ART iT	イベント情報	闇に刻む光
2019.01.19	WEBDICE	展覧会情報	闇に刻む光
2019.01.29	Web版美術手帳 EXHIBITIONS	イベント情報	闇に刻む光
2019.02.01	アートスケープ	キュレーターズノート 闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s／アーツ前橋、5年間の実践を経て	闇に刻む光
2019.02.02	読売新聞オンライン	近現代アジア木版画400点 反戦、反権力「エネルギー感じて」	闇に刻む光
2019.02.03	東京新聞ウェブ	木版画で見るアジア民主化 来月24日まで アーツ前橋で企画展	闇に刻む光
2019.02.04	赤利根	闇に刻む光。	闇に刻む光
2019.02.19	internet museum	闇に刻む光 アジアの木版画運動 1920s-2010s	闇に刻む光
2019.02.26	朝日新聞デジタル	アジアの木版画、力強き歩み-展覧会、群馬と神奈川で	闇に刻む光
2019.03.08	産経新聞 THE SANKEI NEWS	社会運動支えた木版画紹介-SNSの「レーツ」…アーツ前橋で企画展	闇に刻む光
2019.03.22	artlogue	やなぎみわ展 神話機械	やなぎみわ展

## テレビ・ラジオ

掲載日	放送局	番組名	記事名	区分	関連事業名
2018.07.05	群馬テレビ	ニュースジャスト6	昭和の肖像-写真でたどる「昭和」の人と歴史	テレビ	昭和の肖像
2019.03.14	NHK	NHK 首都圏ニュース	社会運動のメディア 木版画展	テレビ	闇に刻む光
2019.03.16	まえばしCITYエフエム	まえばしCITYエフエム	アーツなラジオ 展覧会紹介	ラジオ	闇に刻む光

アーツ前橋年報 No. 6

2019年1月発行

発行者 アーツ前橋

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16

TEL 027-230-1144

MAIL artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

URL <http://artsmaebashi.jp>

フォトクレジット

©KIGURE Shinya p. 7、9、11、12、14、15、17、21-24（中下段）、26、29、31、32、33、37、45右、51左

©Masahige Inagaki p. 49